

第3次さぬき市男女共同参画プラン 男女共同参画につながる取組状況調査



この資料は、『第3次さぬき市男女共同参画プラン』に定めた男女共同参画社会の実現につながる施策の着実な推進を目指し、計画期間全体（令和6～10年度）の主な取組についての進捗状況の定期的な点検・評価・改善に取り組むことを目的に作成したものです。

令和7年 月

香川県さぬき市

目次

基本目標 1	誰もが認め合えるまちづくり	1
基本目標 2	誰もがあらゆる分野で活躍できるまちづくり . .	16
基本目標 3	誰もが安心して暮らせるまちづくり	43
数値目標と実績		70

【基本目標 1】 誰もが認め合えるまちづくり

【基本方針 1】 男女共同参画の意識づくり

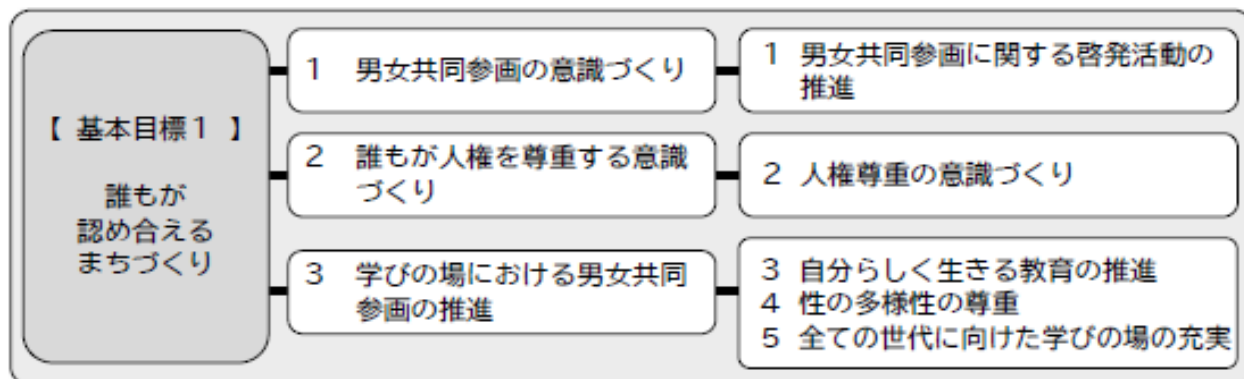
【主要施策 1 男女共同参画に関する啓発活動の推進】

取組名	取組内容	担当課
男女共同参画についての広報・啓発	固定的な性別役割分担意識を解消し、男女平等意識を育む啓発に向けた広報の充実を図るとともに、催事等の企画の立案に取り組みます。	人権推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画週間等の機会を利用した啓発 ○ 市の広報媒体等を活用した情報発信 ○ 国内外の動向、関連法令制度の情報収集 	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 男女共同参画週間セミナー(6/22 参加者51人)、男女共同参画週間パネル展(6/22～6/28 参加者148人)、高齢者学級男女共同参画講演会(9/5 37人)、図書館たんていイベント(9/29 21人)市民文化祭出展(寒川祭、大川祭)、男女共同参画パネル展(11/15～12/26 公文書館)、ホームページ・広報紙・文字放送等市広報媒体を活用した啓発	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 参加者アンケートで把握した男女共同参画の行事に初めて参加した人の割合は、全体の約45%で、男女共同参画活動における参加者の流動化に一定の効果があったものと思われる。特に高齢者向け、男性向けの催しにおいて、初参加の人の割合が高かったことから、同対象に向けた取組は効果が高いと考えられる。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">低い</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: -5px;">←</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: -5px;">→</div> <div style="position: absolute; left: 10%; top: -5px;">1</div> <div style="position: absolute; left: 40%; top: -5px;">2</div> <div style="position: absolute; left: 60%; top: -5px;">3</div> <div style="position: absolute; left: 80%; top: -5px;">4</div> <div style="position: absolute; right: 10%; top: -5px;">5</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: -5px;">高い</div> </div> <div style="margin-left: 100px;">取組の評価</div> </div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 協議会での意見を踏まえ、主に若い世代を対象に、女性活躍推進をテーマにセミナーを開催した。大学やPTA等への周知や事前アンケートなどを行い、若い世代に向けセミナーへの関心を高める試みを行ったが、20～30代の人の参加は少なかった。市民の男女共同参画意識の向上を図るため、どの世代にどういった内容の事業を行うか、今後も協議会等の意見を参考に様々な試みを実施したい。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 市の広報媒体を活用した周知啓発を継続するとともに、セミナーのテーマ選定を工夫し、一人でも多くの市民が男女共同参画に興味を持ち、男女平等意識を育めるような企画・アプローチに取組む。	

【参考】 体系図（基本目標 1）

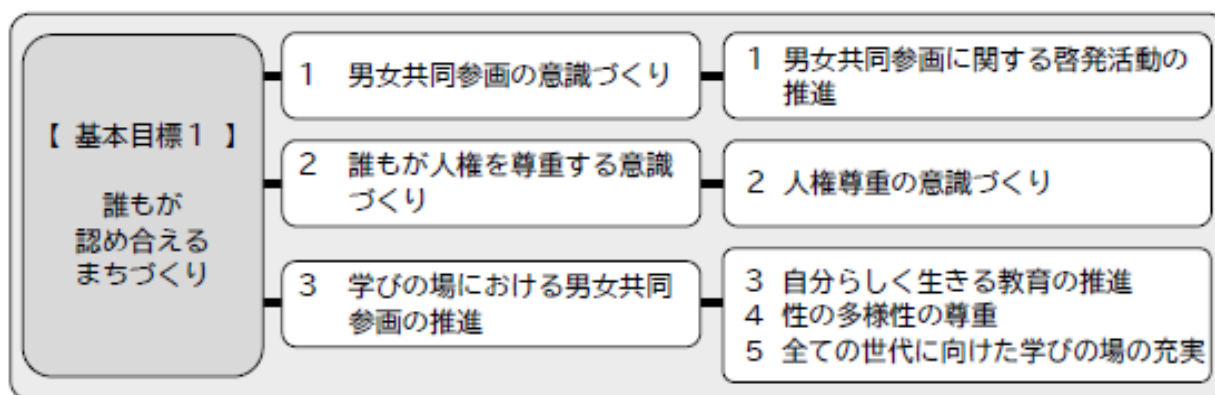
【基本方針】

【基本施策】



取組名		取組内容	担当課
固定概念にとらわれない広報の推進		職員が多様な立場の市民の視点を意識するよう周知するとともに、固定的な性別役割分担意識にとらわれない広報物の作成に取り組みます。	秘書広報課
主な取組	○「伝わる広報紙の手引き」の周知活用 ○市の広報媒体における男女共同参画の視点に立った表現方法の実践		
R6年度			
2	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 独自に作成したユニバーサルデザインに配慮する項目を盛り込んだ「伝わる広報紙の手引き」を、4月～11月の計8回、広報記事提出依頼の際に合わせて添付し、周知を実施した。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 各課から提出される記事内容から、職員間で性別に基づく固定概念にとらわれない男女の多様なイメージが一定程度は浸透していることが分かる。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 低い ← 取組の評価 → 高い </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 </div>	
2	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 12月以降は伝わりやすい広報紙の作成の周知に注力していたため、再度、「伝わる広報紙の手引き」周知を行う。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) これまで以上に職員一人ひとりが多様な立場の読者の観点を意識できるように周知を行い、読みやすい広報紙を作成する。	

【基本施策】



【基本方針 2】誰もが人権を尊重する意識づくり

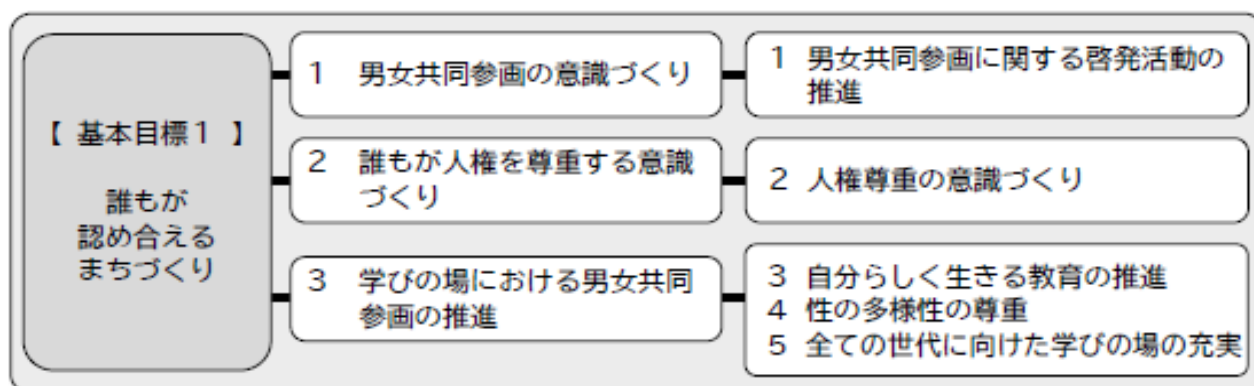
【主要施策 2 人権尊重の意識づくり】

3	取組名	取組内容	担当課
	人権尊重についての広報・啓発	あらゆる差別意識や偏見、不平等をなくすため、多様な媒体を積極的に活用した周知、啓発活動に努めます。	人権推進課
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権週間等の機会を活用した周知啓発 ○ 市の広報媒体等を活用した情報発信 ○ 市民や職員等を対象とした各種研修の実施 	
	※関連指針：さぬき市人権教育及び人権啓発に関する基本指針		
	R6年度		
	実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題啓発強調月間(8月) 市内事業所、公共施設でのホスター掲示、チラシ配架、ホームページへの掲載、CATVでの文字放送・CM放映、市民ホールでのパネル掲示、DVDの放映等 ・人権週間(12月) 市内事業所、公共施設でのポスター掲示、チラシ配架、CATVでの文字放送、ホームページへの掲載、図書館に周知コーナーの設置 ・広報誌への掲載(12か月)・市長、中学生との意見交換会の実施状況のCATVでの放映 ・階層別職員研修7回(延べ18回)385人参加 	
	成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>市長と中学生との意見交換会は、令和5年度に続いて2回目の実施だったが、子どもたちが学校で学んでいることを、CATV等を通して市民に伝えることで、大人に対する啓発の取組のひとつとなったのではないかと考える。</p> <p>低い ← 取組の評価 → 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
	課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>ポスターや広報誌、チラシ等紙媒体を使った啓発も行いつつ、新たな啓発方法として、市の公式LINEやCATV等の更なる活用も検討し、効果的な啓発方法を考えていきたい。</p>	
	次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>市民講座や出前講座など市民の方に直接啓発できる場面では、紙媒体等を活用した啓発を行いつつ、CATV等を活用した啓発方法についてCATVの担当者とも相談し考えてきたい。</p>	

【参考】体系図（基本目標 1）

【基本方針】

【基本施策】



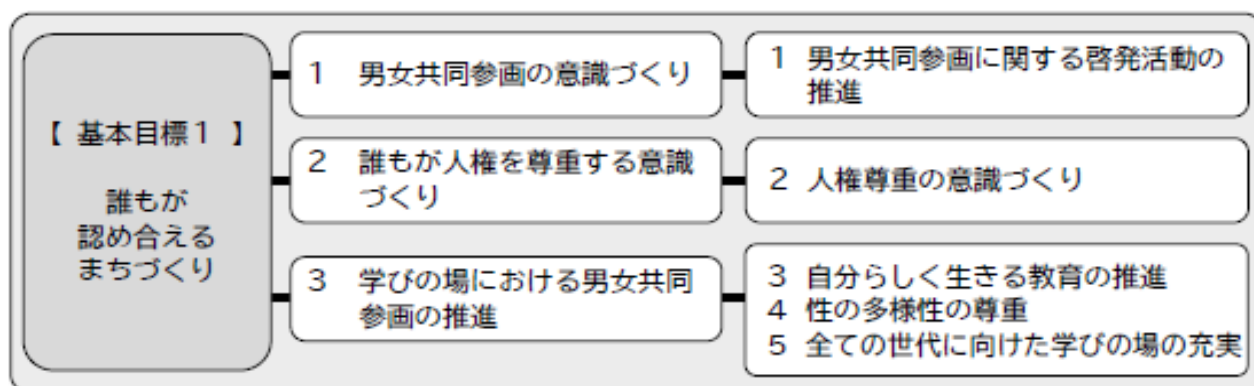
【主要施策2 人権尊重の意識づくり】

取組名	取組内容	担当課
人権相談の充実	人権に関する市民の多様な相談に対応できるよう、関係機関と連携した人権相談を実施するとともに、相談窓口の周知充実に努めます。	人権推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市の広報媒体等を活用した相談窓口の周知 ○ 人権擁護委員による人権相談の実施 ○ 辛立文化センターでの人権相談の実施 ○ 相談技術向上研修への参加 	
	※関連指針：さぬき市人権教育及び人権啓発に関する基本指針	
	R6年度	
実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報誌に相談窓口の周知(毎月掲載) ・人権擁護委員による人権相談を実施(24回実施) ・辛立文化センターでの人権相談件数(一般相談32件、専門相談0件、保健師相談427件) ・県が実施している人権・同和教育指導者養成講座、隣保館職員相談援助研修等に参加 	
成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>人権擁護委員、辛立文化センター等それぞれの立場、場所で相談を受け付けているが、人権推進課の職員が相談を受け付けることも多く、内容に応じて必要な担当課に相談者を案内している。相談者がたらいまわしとならないよう、課内で情報共有した対応が行えている。</p> <p>低い ← 取組の評価 → 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>令和5年度に実施した人権・同和教育意識調査の結果では、「人権侵害を受けた時にどうしたか」という問いに対し、「市や県の行政に相談した」が4.5%であった。一方で「誰にも相談せずに我慢した」は、38.3%であった。このことから、市の相談窓口の周知とともに、信頼できる相談場所となるよう相談を受ける職員の資質向上を図っていきたい。</p>	
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>市の公式LINEや相談箇所を掲載した啓発物品の配布等、様々な機会を通じて相談窓口を周知するとともに、職員の資質向上を図るため様々な機関が実施している相談支援業務研修に積極的に参加する。</p>	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



【主要施策2 人権尊重の意識づくり】

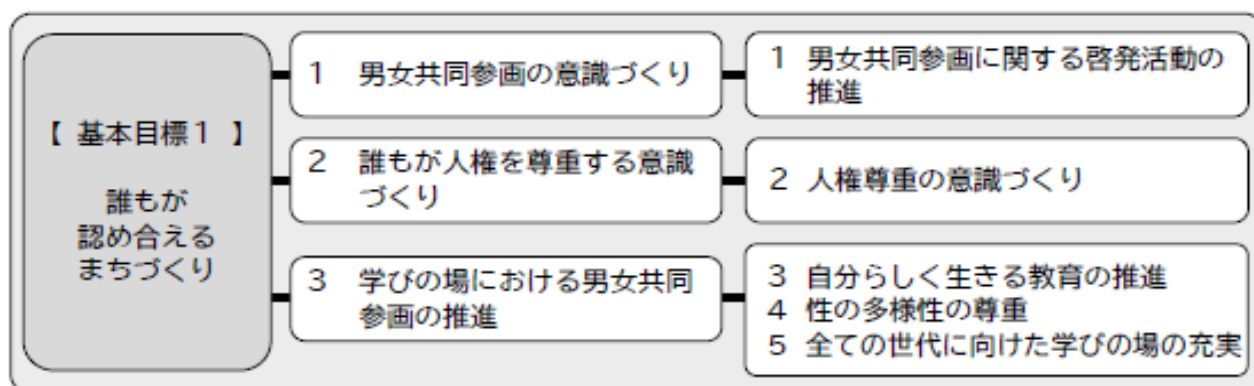
5

取組名		取組内容	担当課
多様性についての理解促進		LGBT(セクシュアルマイノリティ)等、性に関する偏見により困難な立場にある人が安心して暮らせる社会に向けた啓発活動に取り組みます。	人権推進課
主な取組		○「さぬき市パートナーシップ宣誓制度」の周知、運用 ○ 男女共同参画週間等の機会を利用した啓発の実施 ○ 多様な性についての理解の促進を図るための研修等の開催 ○ 市の広報媒体等を活用した多様な性を認める視点に立った情報の発信 ※関連指針:さぬき市人権教育及び人権啓発に関する基本指針	
R6年度			
実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・パートナーシップ宣誓制度の利用者 1件 ・啓発チラシの作成(2000枚 研修、人権出前講座等で配布) ・男女共同参画週間でのパネル掲示(6/22～6/28) ・まなび講座でのLGBT当事者による講演会の実施	
成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 当事者の講演を聞いた参加者から、「性的指向や性自認を公表したくない、そっとしておいて欲しいと思っている人も多いことを知りました」という意見があり、誰もがカミングアウトしたい訳ではないという状況を理解してもらうことができ、多様な思いを持った当事者がいることに気づくことが、きっかけとなった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 パートナーシップ宣誓制度の申請があり、当事者の方にどのような制度の充実が必要かについて意見を聞くことができ、更なる制度充実に向けた取組の必要性を考えている。	
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ファミリーシップ宣誓制度の導入に向けた課題整理とともに、啓発チラシを活用したLGBT理解増進法の周知を図っていく。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



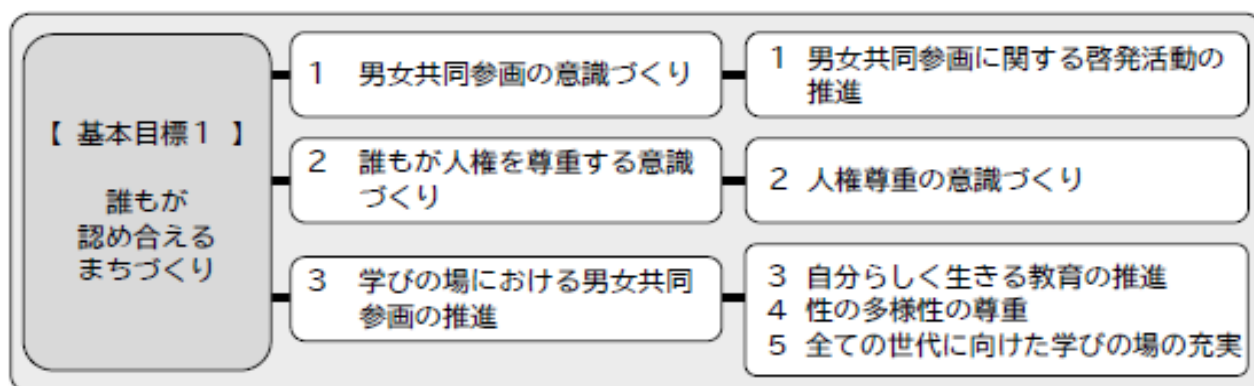
[主要施策2 人権尊重の意識づくり]

	取組名		取組内容	担当課
	多文化共生への理解促進		国籍等の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域で共に暮らすことができる多文化共生社会の理解の促進に取り組めます。	人権推進課
	主な取組	○ 多文化共生への理解を深めるための啓発行事の実施 ○ 外国人住民相談支援窓口の周知 ○ 市の広報媒体等を活用した情報発信		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ALTといっしょにEaster Party! (4/13 56人)、外国人住民と一緒にTシャツアートづくり(8/4 18名)、外国人住民のための防災訓練(2/16 19人)、日本語ボランティア養成講座(前半計4回開催 のべ109人)、転入時に相談窓口や生活情報等を掲載したリーフレットを配布、ホームページ・広報紙・文字放送等市広報媒体を活用した啓発		
6	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 日本人住民と外国人住民の交流事業を実施するとともに、両者が地域で共に円滑に生活することを目的に外国人住民と地域をつなぐ一つの拠点として令和7年度に開設する地域日本語教室に参画するボランティア養成講座を実施し、想定を上回る30名を超える人から応募があった。多文化共生への市民の関心が高いことが伺える。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 さぬき市の外国人住民の約6～7割を占める技能実習生の中には日本人住民との接点を持たないまま数年で母国に帰る人も多いと考えられる。令和6年12月末現在で市内に約700人いる外国人住民は今後増加の一途を辿ることが予想され、日本人住民及び外国人住民が互いの文化を認め合う多文化共生社会構築の必要性及び重要性はますます高まっていくと思われる。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 日本語ボランティア養成講座(後半)を開催し、受講生や外国人住民の参加しやすい地域日本語教室を運営する。		

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



【基本方針 3】 学びの場における男女共同参画の推進

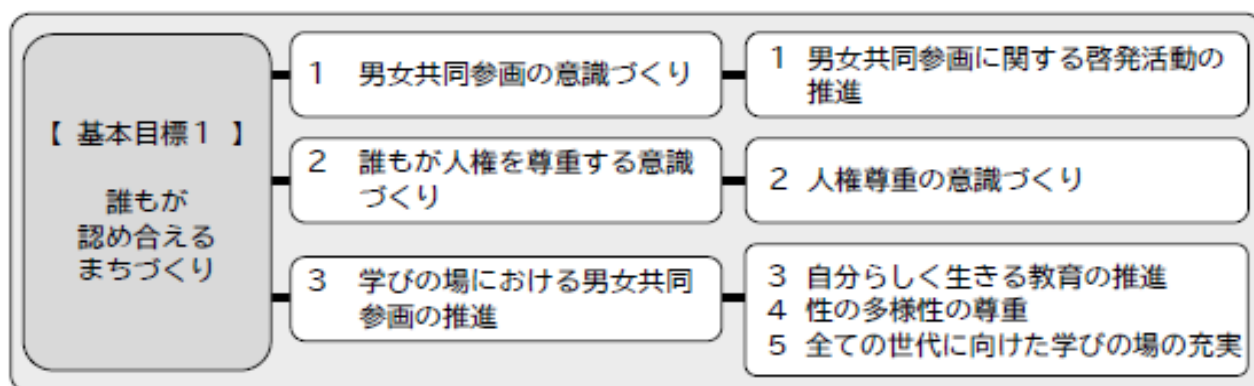
【主要施策 3 自分らしく生きる教育の推進】

取組名		取組内容	担当課
男女平等意識を育む教育(1)		子どもや保護者の男女平等に対する意識を育むとともに、発達段階に応じた男女平等教育を推進します。	学校教育課
主な取組	○ 男女共同参画に関する情報の正しい見方や発信方法に関する教育の実施 ○ 男女共同参画にかかる学習の機会の提供 ○ 男女平等意識を育む教育の実施 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 小・中学校においては、社会科、家庭科、道徳、および特別活動で、男女共同参画にかかる学習を実践した。		
7 成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 男女共同参画にかかる学習を行うことで、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに基づく言動がないか等を振り返り、性別に関わりなく互いの個性や能力を尊重できるようしていこうとする意識が高まった。		
	低い ← 1 2 3 4 5 → 高い 取組の評価		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 各校の実態に応じた取り組みが行われているが、保護者に対する啓発が十分だとは言えない。お便り等を通じて保護者に対して事前に授業のねらいや内容について伝えたり、事後もその様子を伝えたりする等、啓発方法を考えていく必要がある。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 各教科等の授業のみならず、学校での教育課程内外の様々な活動を通じて男女平等意識を育んでいけるよう、更なる充実を図る。		

【参考】 体系図（基本目標 1）

【基本方針】

【基本施策】



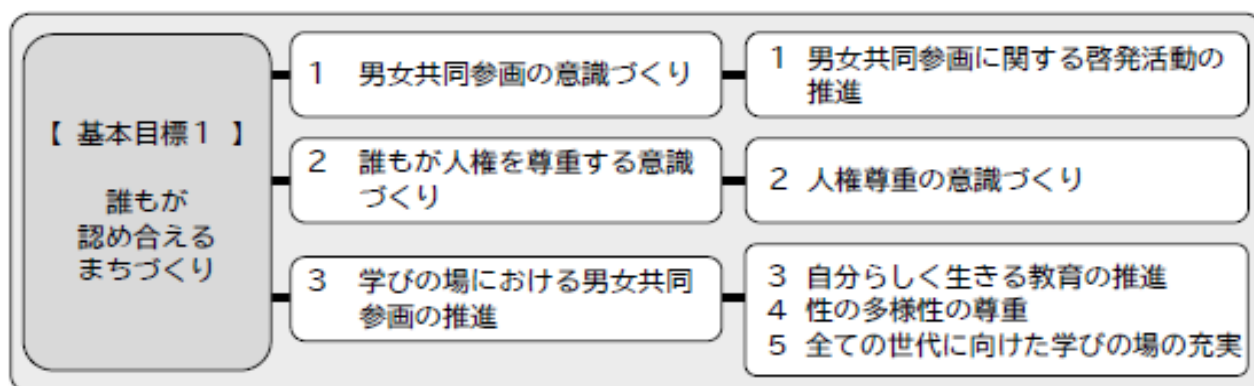
[主要施策3 自分らしく生きる教育の推進]

取組名	取組内容	担当課
男女平等意識を育む教育(2)	子どもや保護者の男女平等に対する意識を育むとともに、発達段階に応じた男女平等教育を推進します。	生涯学習課
主な取組	○ 家庭教育における男女共同参画意識を育む広報啓発 ○ 保護者を対象とした講演、研修等の実施 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・家庭教育力向上応援講座(全9回、保護者240名参加) 市内保育園・幼稚園の家庭教育学級、小学校の入学説明会等の保護者が集まる機会を捉え講演会を開催し、子どもと親の関わり方や家事育児の分担など、子育て家庭の現状や課題から男女平等について考えてもらう機会として開催した。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 男女共同参画や家庭教育に造詣の深い講師を招き、保護者が家庭における男女平等についての認識を深めることにつながったと考える。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 学校・園によっては、行事の中で家庭教育に関する講演会の時間を確保するのが難しく、また短い講演時間の中では男女平等教育に関する多くのことを伝えきれない場合もある。講演会に限らず、家庭における男女平等の重要性を、効率的に保護者に訴える方法を検討していく必要があると考える。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 家庭における男女平等について、より専門的・具体的に講話できる講師の選定を行うとともに、学校・園に対して本事業の積極的な利用を働きかけていく。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



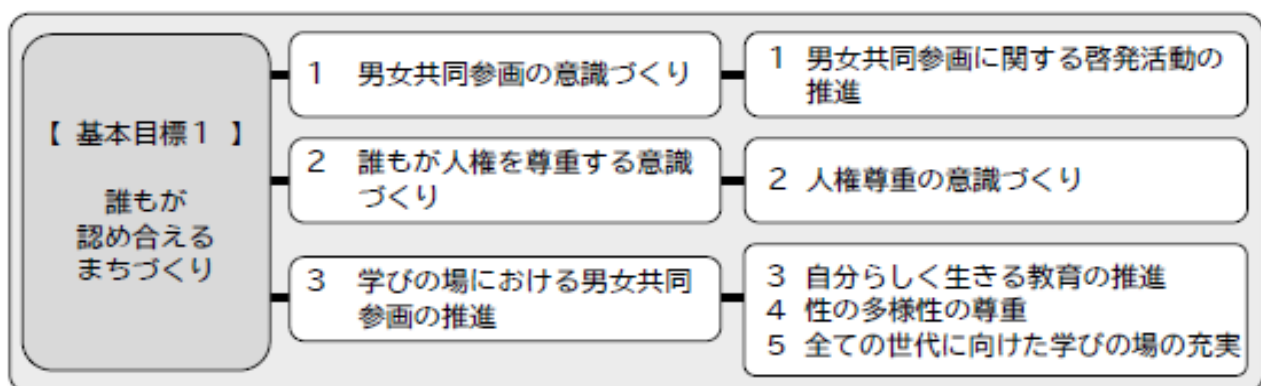
[主要施策3 自分らしく生きる教育の推進]

取組名	取組内容	担当課
男女平等意識を育む教育(3)	子どもや保護者の男女平等に対する意識を育むとともに、発達段階に応じた男女平等教育を推進します。	幼保こども園課
主な取組	○ 保護者に対する男女平等に関する研修等への参加促進 ○ 男女平等意識を育む保育の実施 ○ 男女平等に関する広報啓発	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 すべての園(所)の行事において、男女の固定観念より色や形、柄などを決めてしまうことなく、個の意思を尊重した。また、人権啓発のおたより等を保護者に配布し、男女平等について、家庭にも知らせる機会とした。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 園での掲示物やおたよりを利用して、子どもの活動の様子を保護者に知らせることで、子どもや保護者への男女平等の意識付けにつながっていると考える。	
	低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 日常の何気ない場面の中で、男女の固定観念が生まれることがあるため、職員一人一人が男女平等の意識をもてるよう職員間で声を掛け合ったり、職員研修として取り組んだりしていく。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き、発達段階に応じた男女平等教育に取り組んでいきたい。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



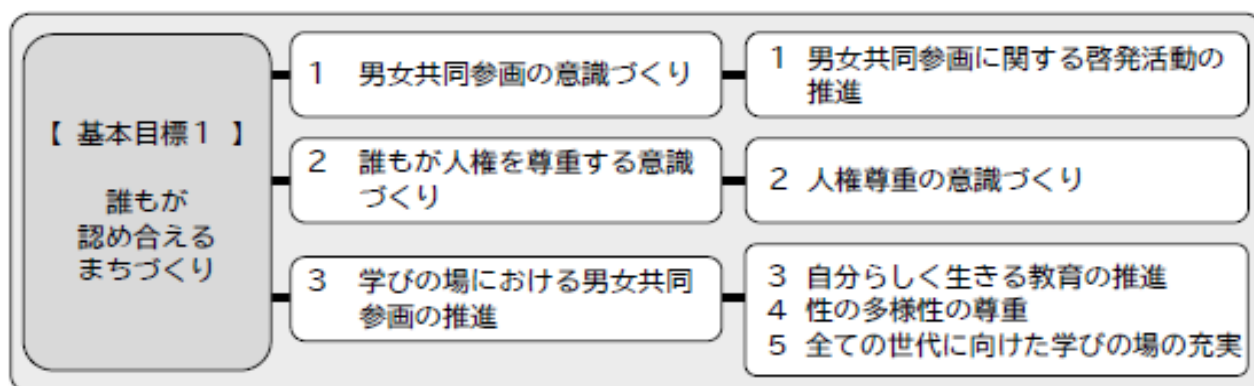
[主要施策3 自分らしく生きる教育の推進]

取組名	取組内容	担当課
教職員等への啓発(1)	教職員が人権問題、男女共同参画について正しい知識を持てるよう取り組みます。	学校教育課
主な取組	○ 教職員の人権尊重や男女共同参画に関する研修会等への参加促進 ○ 人権・同和教育指導者の資質向上 ○ 市内の高校に研修等への参加呼びかけ ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 市内人権・同和教育担当者研修会において、人権問題、男女共同参画に関わる研修を行った。(実施5/24、6/27、7/24、10/4、2/21)また、この研修会の趣旨の賛同を得て、市内3校の県立学校が参加することとなった。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 市内人権・同和教育担当者研修会は、人権・同和教育担当者の人権問題、男女共同参画に関する正しい認識につながった。また、県立学校3校の参加によって、異校種間の連携をより図ることができるようになった。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">低い</div> <div style="flex-grow: 1; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: -5px;">←</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: -5px;">→</div> <div style="position: absolute; left: 10%; top: -5px;">1</div> <div style="position: absolute; left: 40%; top: -5px;">2</div> <div style="position: absolute; left: 55%; top: -5px;">3</div> <div style="position: absolute; left: 75%; top: -5px;">4</div> <div style="position: absolute; right: 10%; top: -5px;">5</div> <div style="position: absolute; left: 50%; top: -10px;">取組の評価</div> </div> <div style="text-align: center;">高い</div> </div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 人権・同和教育担当者のさらなる資質向上を目指して、研修方法を工夫していく必要がある。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 参加体験型の研修を多く取り入れ、主体的に考えることができるようにする。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



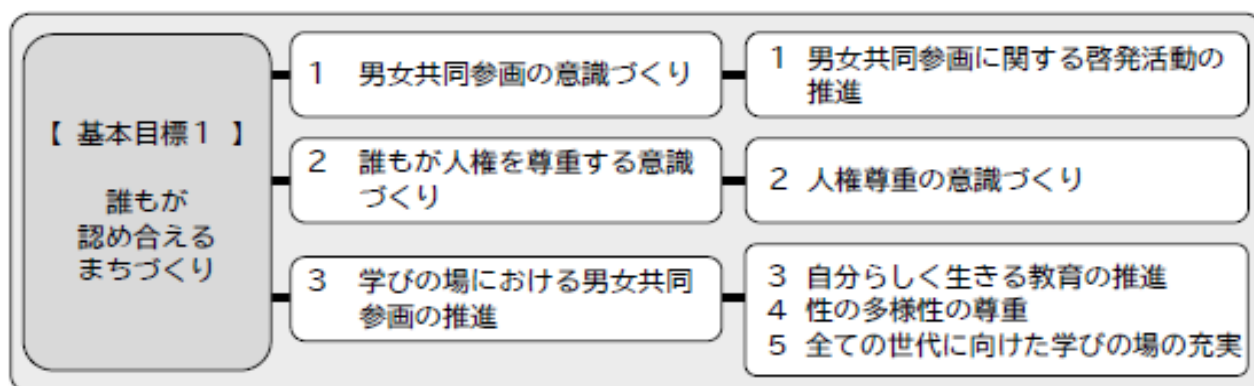
[主要施策3 自分らしく生きる教育の推進]

取組名	取組内容	担当課
教職員等への啓発(2)	教職員が人権問題、男女共同参画について正しい知識を持てるよう取り組みます。	幼保こども園課
主な取組	○ 教職員等の人権尊重や男女共同参画に関する研修会等への参加促進 ○ 男女平等を意識した行事運営等の実施	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
	県教育主催の人権・同和教育指導者研修会への参加や、市教委主催の人権同和教育担当者研修会に定期的に参加するなどし、職員の人権意識を高めた。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
	業務の都合により全ての職員が参加することは難しいが、参加職員が自園の他の職員にも報告し、全職員の学びにつなげた。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 低い ← 取組の評価 → 高い </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 </div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
	業務の関係で全ての職員が参加できるのが難しいが、毎年違う職員が参加できるようにし、人権意識を高めていく。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)	
	引き続き、研修会参加後の報告等により、全教職員等の人権啓発に取り組んでいく。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



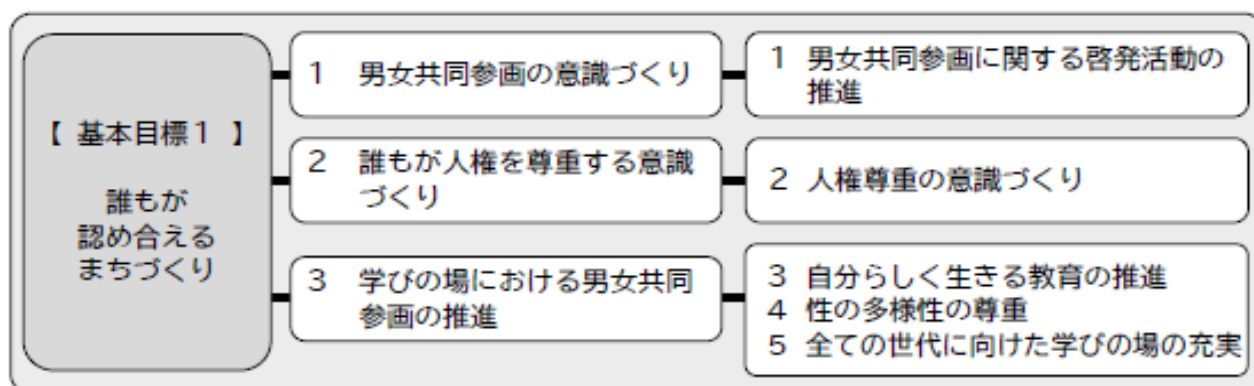
[主要施策 4 性の多様性の尊重]

取組名	取組内容	担当課
性の多様性の尊重(1)	教育現場において、LGBT(セクシュアルマイノリティ)等、多様な性に対する理解を深め、一人一人が尊重されるよう、教育を推進します。	学校教育課
主な取組	○ 教科書に基づいた性の多様性にかかる学習の実践 ○ 相談しやすい環境の整備 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・中学校社会科、保健体育、美術、道徳、および、小学校社会科で、性の多様性にかかる学習を実践した。 ・人権・同和教育に関する学習の時間を特設し、性の多様性にかかる学習を実践した。 ・各校で定期的に教育相談期間を設け、児童・生徒が相談しやすい体制づくりを行った。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 参観日を利用した人権・同和教育に係る授業の公開、LGBT等に造詣が深い講師を招いてた演会の実施等、各校の実態に応じた工夫した取り組みが行われた。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 小学校で性の多様性に係る授業を実践することが難しいため実践例が極めて少ない。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き、現相談体制の継続を図るとともに、性の多様性に係る授業を積極的に実践するよう啓発する。	

【参考】体系図（基本目標 1）

【基本方針】

【基本施策】



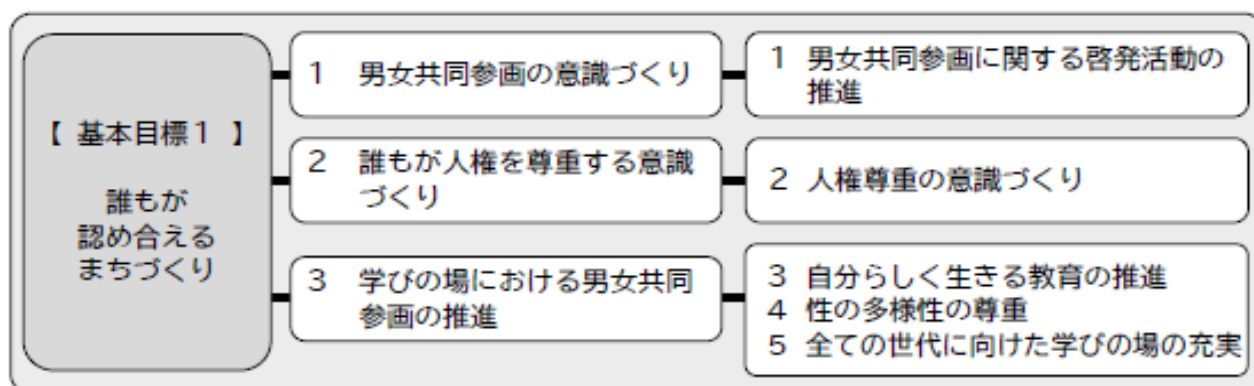
[主要施策 4 性の多様性の尊重]

取組名	取組内容	担当課
性の多様性の尊重(2)	教育現場において、LGBT(セクシュアルマイノリティ)等、多様な性に対する理解を深め、一人一人が尊重されるよう、教育を推進します。	幼保こども園課
主な取組	○ 保護者に対する多様な性に関する研修等への参加促進 ○ 性の多様性を意識した保育の実施 ○ 性の多様性に関する知識や理解につながる広報啓発	
R6年度		
9	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 全ての園(所)の行事、ごっこ遊びなどの保育の中で、性別にかかわらず自由に衣装を選んだり、役割を演じたりすることで、性の多様性を自然に学べる環境を考えた。
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 園での掲示物やおたよりを利用して、子どもの活動の様子を保護者に知らせることで、子どもや保護者への性の多様性に対する理解を深めている。
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 幼児期から、一人一人違うということ伝えていくとともに、子どもの気持ちに寄り添い、尊重することが大事である。
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 子どもの年齢や発達段階に合わせて、性の多様性を意識した保育に取り組んでいきたい。

【参考】体系図（基本目標 1）

【基本方針】

【基本施策】



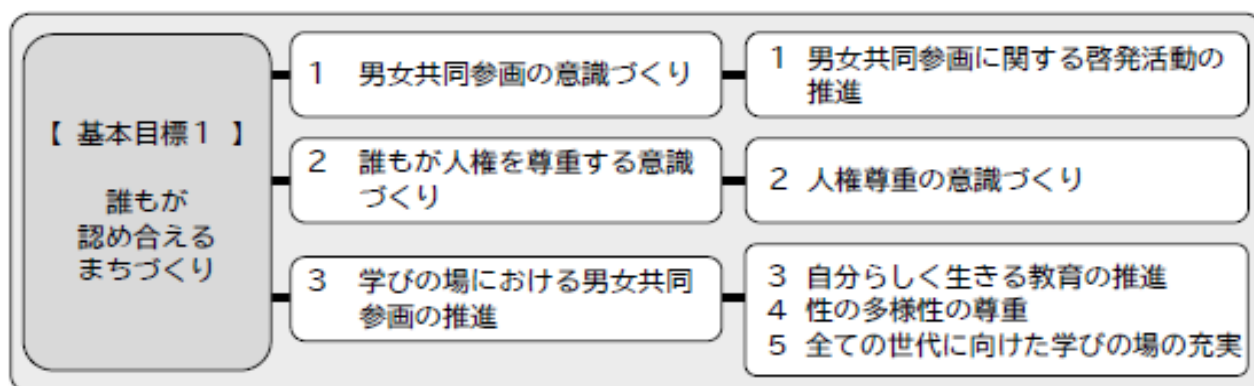
[主要施策5 全ての世代に向けた学びの場の充実]

取組名	取組内容	担当課
生涯学習の機会を生かした啓発	男女共同参画に関する社会教育活動の機会を生かした広報啓発活動を推進します。	生涯学習課
主な取組	○ 家庭教育支援の充実 ○ 公民館等における男女共同参画に関する講座の実施 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・市広報紙への記事掲載 (4月「子育てを楽しんでいますか」 7月「7月・8月は家庭教育啓発月間です」 12月「家庭での役割」 2月「SDGs」) ・オリジナル啓発チラシ「育ちのツボ」(8月「大切な性のはなし」)	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 多くの市民の目に留まる市広報紙へ記事を掲載したり、オリジナル啓発チラシを公民館等の公共施設へ配置、また市内保育園・幼稚園全ての保護者・教職員へ配布したりすることで、家庭教育×男女共同参画に関する啓発を効率的に実施できた。実際に目を通した保護者・教職員からはとても良い内容であったという評価をいただいている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 必要に応じて福祉部局との連携を図り、共働き、核家族、三世帯、ひとり親家庭等、様々な家庭の実態や在り方に寄り添った内容にする必要があると考える。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 6月「男女共同参画週間」や、7～8月「家庭教育啓発月間」に合わせて記事を作成し、読者が、男女の役割分担に対し固定的でない家庭であることを意識できるよう啓発活動を行う。	

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



[主要施策5 全ての世代に向けた学びの場の充実]

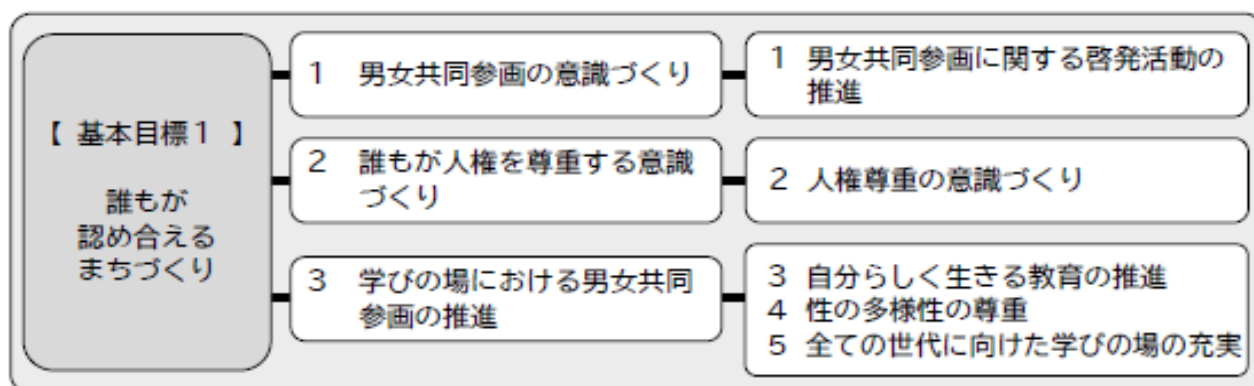
11

取組名		取組内容	担当課
図書館活動の充実		図書館利用者に男女共同参画について考える機会を提供し、意識の向上に努めます。	生涯学習課
主な取組	<div>○ 男女共同参画意識を高める図書の充実</div> <div>○ 図書館を活用した行事等の実施</div> <div>○ 男女共同参画に関する広報啓発</div> <div>※関連計画:さぬき市教育振興基本計画</div>		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 <div>令和6年9月29日(日)に、志度図書館内で子育て中の父親の育児への参画を目的に「図書館かしきり!お父さんといっしょにたんていになろう」と題したさぬき市男女共同参画セミナーを開催し、9組21名が参加した。なお、開催にあたり、市内小学校、広報誌、ホームページ、公共施設へのポスター掲示等の広報活動を広く行った。</div>		
成果とその評価	<div>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</div> <div>セミナーを通じて、父親と子どもたちが同じ目標をクリアすることで、親子がふれあい、楽しみ、喜びを共有できたことに加え、父親が子どもの個性や好みにあらためて気づくことで、今後の育児参画のきっかけとなる成果を得たことが評価できる。</div> <div><div>低い ←</div><div>取組の評価</div><div>→ 高い</div><div>12345</div></div>		
課題と改善策	<div>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</div> <div>現在は、父親の育児参加のきっかけ作りとして成果があるが、将来的に、家族のかたちの多様化に合わせて、母子家庭、同性婚家庭、また祖父母の参加希望に対する実施方法を考えておく必要がある。</div>		
次年度の計画	<div>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</div> <div>令和7年度においては、前年度同様に休館日を利用して図書館貸し切りイベント「お父さんといっしょにたんていになろう!」を開催する予定である。なお、広報活動の一環として、市のLINEを活用することを予定している。</div>		

【参考】体系図（基本目標1）

【基本方針】

【基本施策】



【基本目標 2】 誰もがあらゆる分野で活躍できるまちづくり（女性活躍推進計画）

【基本方針 4】 政策・方針決定の場における男女共同参画の推進

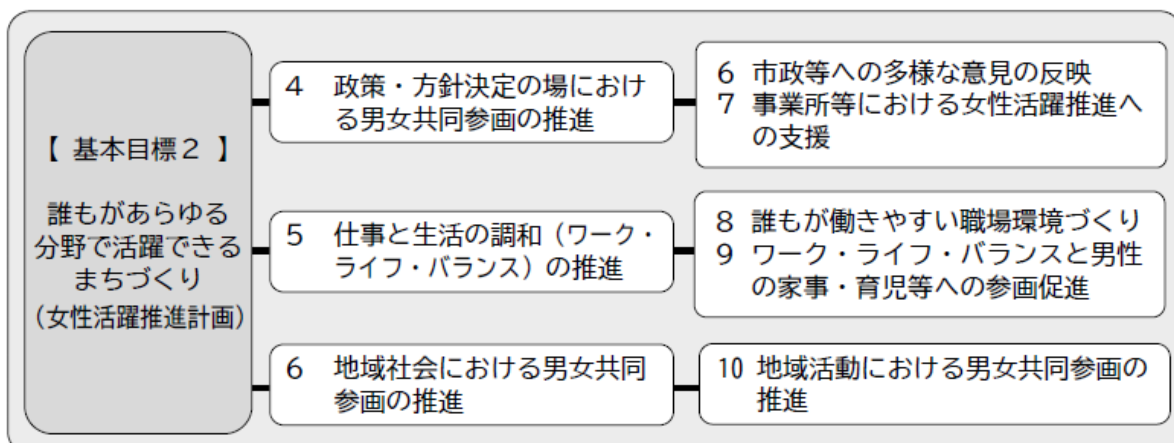
【主要施策 6 市政等への多様な意見の反映】

取組名	取組内容	担当課
政治への関心を高める広報・啓発(1)	誰もが政治や選挙を身近に感じられるような広報啓発活動に取り組みます。	議会事務局
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市政への関心を高める市議会情報の発信 ○ 政治の場への女性参画推進のための啓発 ○ 市議会議員を対象とした研修等の実施 ○ 議員活動と家庭生活との両立支援にかかる環境整備、運用 	
R6年度		
実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ及び文字放送において、本会議及び委員会の傍聴案内をはじめ、議会の日程、審議情報等を掲載した。(年6回、定例会:4回、臨時会:2回) ・市公式LINEにおいて、本会議及び委員会の傍聴案内、会議の日程等を掲載した。(年2回、定例会:2回) ・広報紙において会議結果報告を掲載した。(年6回、定例会:4回、臨時会:2回) ・コミュニティ放送において議会報告番組(手話通訳あり)を放送した。(年2回、5月中旬・11月中旬) 	
1 成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>令和6年度の延べ傍聴者数は22名となっており、広報啓発活動による一定の成果が得られたと考えるが、令和5年度の延べ傍聴者数31名と比較すると3割程度減少している。しかしながら、議題に直接関係する個人や団体の傍聴により、一時的に傍聴者数が大きく増加することがあるため、傍聴者数のみを評価の指標とすることは適当でなく、当該年度の取組は今後も継続するべきものであると評価する。</p> <p>低い ← 取組の評価 → 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>「政治への関心を高める広報・啓発」として、これまで市政に興味を持たなかった層へのアプローチが課題であるとする。この課題を改善する取組として、令和7年9月より、インターネットを通じて本会議の映像配信を予定している。市政への関心の向上を見込めるほか、配信の視聴者数は、取組の評価に係る新たな指標になり得ると考える。まずは「さぬき市議会が映像配信を開始する」ということを早急に市民へ周知していきたい。</p>	
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>市政への関心を高めるため、ホームページ、文字放送及び公式LINEでの情報発信、コミュニティ放送による議会特集番組の放送を継続して実施する。 また、より多くの市民が市政に関心を持てるよう、本会議の映像配信を実施する。</p>	

【参考】 体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



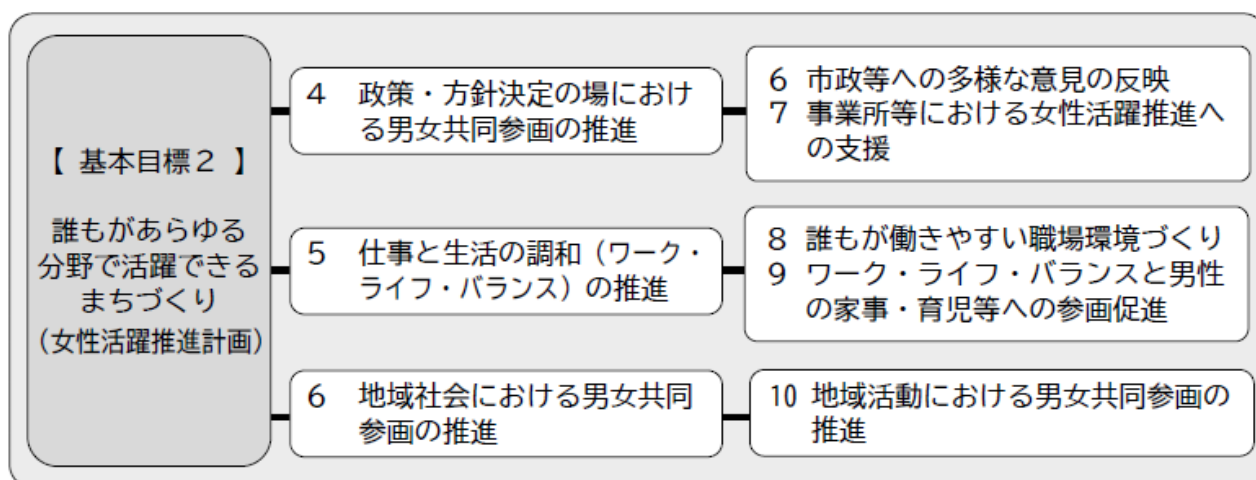
[主要施策 6 市政等への多様な意見の反映]

取組名		取組内容	担当課
政治への関心を高める広報・啓発(2)		誰もが政治や選挙を身近に感じられるような広報啓発活動に取り組みます。	選挙管理委員会
主な取組	○ 投票率向上につながる意識啓発活動の実施 ○ 市内園所等の保護者に対する啓発活動の実施 ○ 若年世代に向けた広報啓発		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
	令和7年1月22日(水)に県立香川東部支援学校において高等部生徒38名を対象に、また、令和7年2月13日(木)に県立津田高等学校において2年生74名を対象に、それぞれ選挙啓発出前授業を実施した。		
1成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	クイズ形式等親しみやすく工夫した座学に加え、実際の資機材を使用した模擬投票の時間を設けることで、生徒に投票行動を自分ごととして考えさせ、選挙への関心向上に一定の効果があったものと思われる。特に、選挙権が18歳に引き下げられたことにより、高校生に対する啓発の重要性は高まっており、適切なタイミングで本取組を実施できていることについては一定程度評価できる。		
	<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
	50分程度の授業時間に模擬投票を組み込むと、必要最小限しか座学の時間が確保できず、やや物足りなさを感じる。最優先目標は選挙に親しみを持ってもらい、投票行動のハードルを下げることはあるが、それに合わせて必要かつ適切な深度の知識が提供されるよう、事前学習や教材の配布等により対応・改善したい。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)		
	定期的に実施している上記2校に加え、市内小学校・中学校にも働きかけ、より早い段階から選挙に興味を持ってもらえるような施策に取り組みたい。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



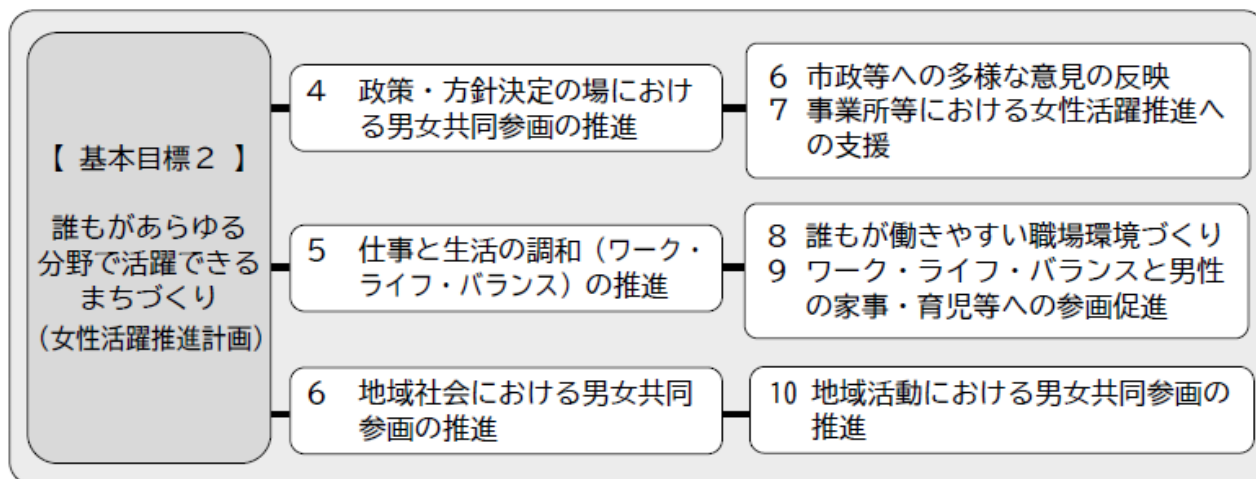
[主要施策6 市政等への多様な意見の反映]

	取組名	取組内容	担当課
	附属機関等への女性の登用	男女が対等な立場で参画し、意見を市政に反映できるよう、附属機関等に占める女性委員の割合を高めます。	人権推進課
	主な取組	○「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づく女性委員登用の働きかけの実施 ○ 女性委員比率の公表	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・男女共同参画週間パネル展での市民への啓発(6/22～28) ・庁内掲示板を活用した附属機関等への女性委員登用を促す職員への啓発(1/6～)	
2	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 附属機関等での女性委員の登用については、毎年度継続して委員改選の時期に庁内掲示板での啓発を行っているほか、改選後となる夏には各附属機関の女性委員割合の調査を実施しており、市職員の意識及び附属機関の女性委員の割合は年々高まってきている(令和2年度26.7%、令和3年度30.5%、令和4年度31.2%、令和5年度31.6%、令和6年度32.3%)。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 組織内で多様性が生まれ、女性が十分な力を発揮できる「クリティカル・マス」の割合とされる30%には達しているものの、令和10年度の目標35%には依然2.1%の開きがあるため、継続して啓発を行うことが必要である。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引続き、庁内掲示板等を活用した市職員への啓発及び附属機関の女性委員割合の調査を重点的に行うとともに、女性活躍の推進に関する市民の認識を深めるためパネル展等の啓発を実施する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



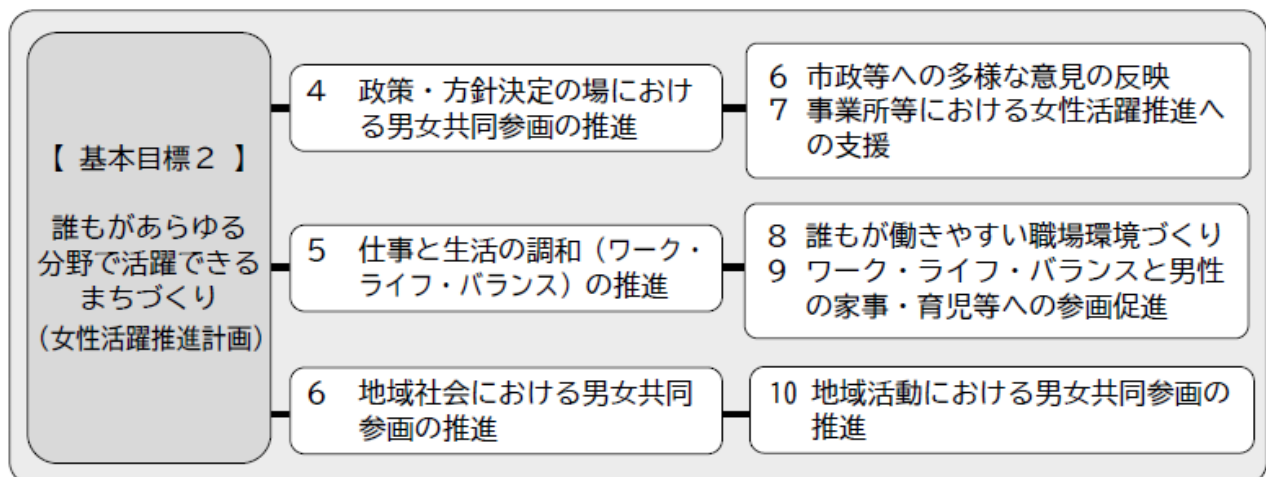
【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名	取組内容	担当課
	事業所等への啓発(1)	女性が活躍できる職場環境の整備が事業所にもたらす効果を理解し実践してもらえるよう、関係機関と連携した啓発活動に取り組みます。	人権推進課
	主な取組	○ 女性活躍推進に関する情報提供及び周知啓発	
	R6年度		
3	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 男女共同参画週間パネル展にてポスター掲示(6/22～6/28)、関連冊子等展示、パンフレット配布、人権・同和問題企業研修(1/14 約70名)、女性活躍推進セミナー(3/6 12名)	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 企業研修やセミナーでは、女性活躍を推進する県内企業の会長を講師に招き、講演やセミナーの内容をより実践に活かせるよう質疑応答の時間を多く設けるなどの工夫を行った。参加者からは「具体的で話がよくなり、働きやすい職場づくりの必要性を感じた」などの感想が寄せられ、事業主等の理解を深めるのに一定の効果があったと考えられる。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 女性活躍推進法により、常時雇用する従業員数が101人以上の事業主を対象に女性活躍推進行動計画の策定・公表が義務付けられており、特に都市部の大企業では積極的な取組がなされているが、地方の中小企業においては推進の機運が高まりにくいことが問題とされていることから、パネル展のほか、研修やセミナー等で実践的な内容を継続的に伝えていく必要がある。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 国・県が実施する事業について引続きホームページへの掲載等の周知を行うとともに、事業所を対象とした研修の開催やパネル展等での積極的な周知啓発に取組んでいく。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



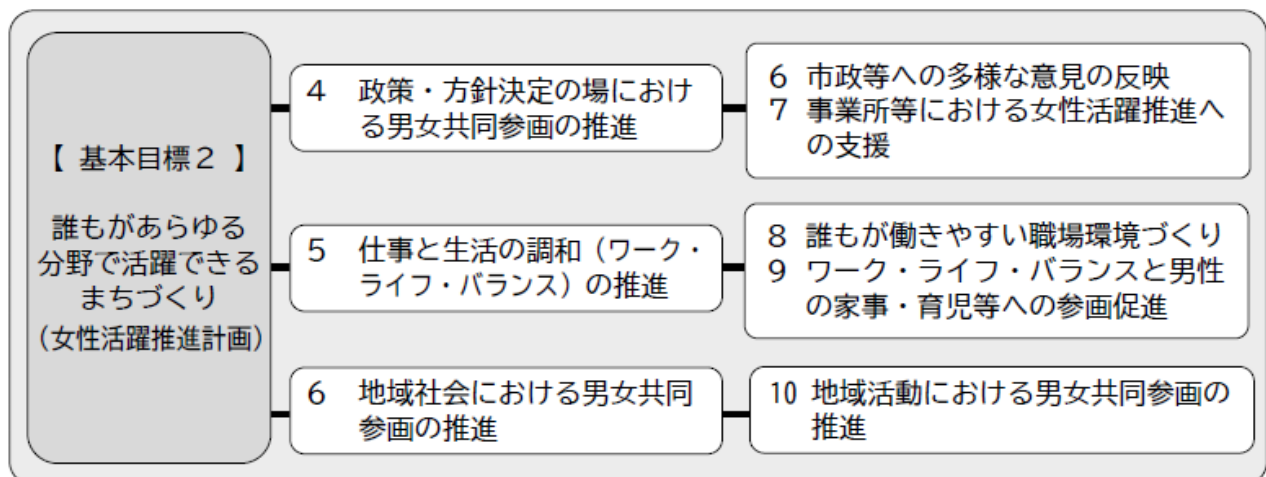
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名	取組内容	担当課
	事業所等への啓発(2)	女性が活躍できる職場環境の整備が事業所にもたらす効果を理解し実践してもらえるよう、関係機関と連携した啓発活動に取り組みます。	商工観光課
	主な取組	○ 国や県の制度等についての情報提供	
3	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
		地域就職サポートセンターに登録している市内事業所のうち、求人票についてのやり取りのあった65社に対してチラシやリーフレットを送付し、女性の活躍・両立支援総合サイト等の情報提供をした。また、窓口において関連チラシ・リーフレットを配架し、閲覧できるようにしている。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
		従来から情報提供している企業に加え、人権研修に参加した企業にも配布したことで、より多くの企業に情報提供することができた。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
	求人票のやり取りがある企業を啓発対象としていることから、啓発範囲が限定的となることが課題である。国・県・労働関係機関から送付される資料を啓発ツールとして利用しているが、必ずしも企業のニーズに合わせた情報提供が難しい。より効果的な啓発活動をするため検討したい。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)		
	地域就職サポートセンターに登録していて、求人票についてのやり取りのある事業所に対して、チラシやリーフレットを送付し、女性の活躍に関わる情報提供を継続して実施する。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



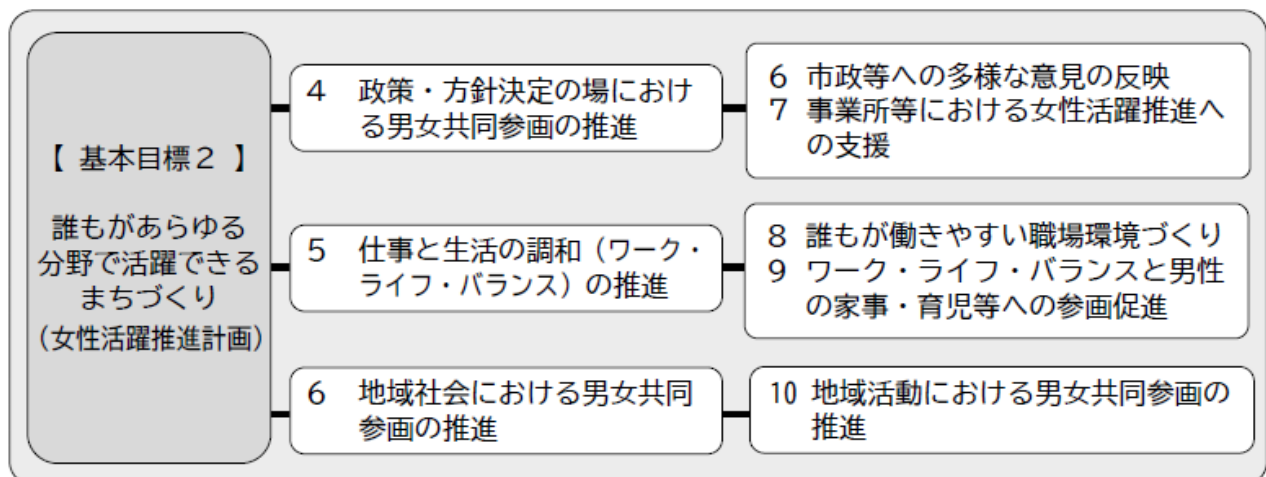
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

取組名		取組内容	担当課
女性の職業能力開発への支援 (1)		働く場での活躍を望む女性が多様な選択肢の中で自分に合った働き方を選択できるよう、支援に取り組みます。	人権推進課
主な取組	○ 女性のキャリア形成支援に関する情報提供及び周知啓発		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
	ホームページを活用した国・県等の情報周知		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	<p>女性のキャリア形成支援に関する情報は、男女共同参画局ではなく厚生労働省から発せられることが多く、商工観光課(労働政策担当部局)からの情報提供を元にホームページに情報を掲載している。</p> <p>低い ← 1 2 3 4 5 → 高い</p> <p style="text-align: center;">取組の評価</p>		
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>女性のキャリア形成支援と、近年大きな問題となっている若年女性の地方流出は密接に関わっている。就業機会の限定や賃金格差、ライフスタイルの選択肢や地方に根強く残る性別役割意識など課題は多岐にわたるため、全庁的に取り組む必要があり、男女共同参画担当部署としては、男女共同参画週間等の機会を活用し、性別役割意識の解消に向けた周知啓発も併せて行う必要がある。</p>		
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>女性のキャリア形成支援に関する情報提供及び周知啓発を行うとともに、地域の子どもがさぬき市で暮らし続けたい、あるいは一度県外に出てもまた戻って暮らしたいと思うきっかけになるような、地域で活躍する人を紹介する壁新聞を作成し、市内の各小中学校に配布する。</p>		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



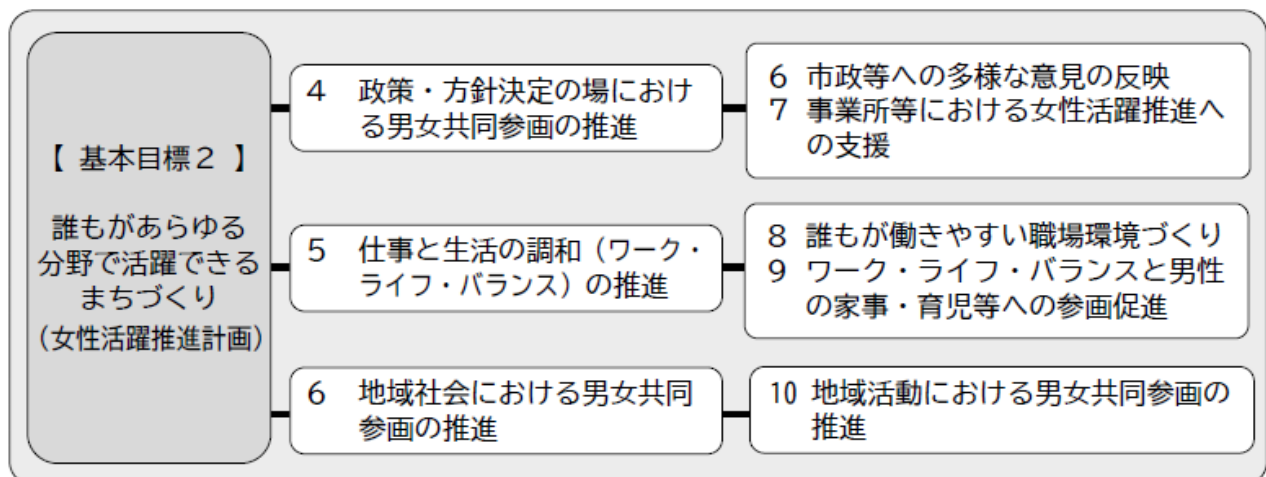
【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

4	取組名		取組内容	担当課
	女性の職業能力開発への支援(2)		働く場での活躍を望む女性が多様な選択肢の中で自分に合った働き方を選択できるよう、支援に取り組めます。	商工観光課
	主な取組	○ オンライン就職相談、子育て支援センター等への出張就職相談の実施 ○ 国や県の制度等についての情報提供		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・窓口にて国・県の職業訓練や技能検定のポスター掲示及びチラシを配架した。 ・就職支援員が子育て世代に対する出張相談を行った。(相談実績:22回) ・オンライン相談できる環境を整えて周知した。(相談実績:0件)		
	成果とその評価	さぬき市地域就職支援センターにおいて、「地方版ハローワーク」として、求職者が一人ひとりに寄り添った丁寧な相談業務を実施することができた。求職者の希望や状況に応じて、子育て支援課や社会福祉協議会と連携し、相談支援を実施することができた。なお、採用内定者13名のうち女性は9名であった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 現時点で目立った課題はないが、関係機関と連携しながら実施することが重要であるとする。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 国や県が行う職業能力開発(職業訓練)は、キャリアの形成につながることから、ポスター掲示及びチラシ配布を継続して実施する。引き続き関係機関と連携して、子育て世代へのニーズに合わせた出張相談を実施する。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



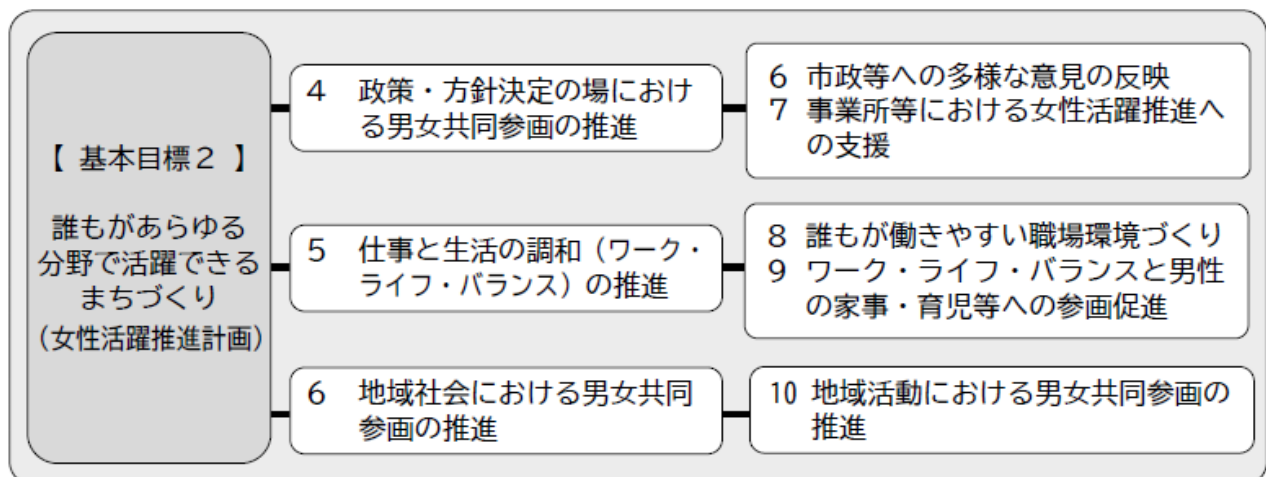
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

取組名		取組内容	担当課
農林水産業や商工自営業への支援(1)		個人事業主やその従事者が正当に評価されるような仕組みについて、関係機関と連携し、各種経営支援に関する情報の提供を充実し、市内の中小企業の経営基盤の強化や誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげます。	人権推進課
主な取組	<input type="radio"/> 国や県の事業等についての情報提供 <input type="radio"/> 女性活躍推進に関する研修等の実施		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 事業所等における女性活躍推進の支援として、人権・同和問題企業研修会及び商工会青年部と連携した女性活躍推進セミナーを開催したほか、市ホームページに「女性活躍推進法について」のページを設け、情報提供を行った。		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	企業研修やセミナーでは、実践に生かせるテーマとした。アンケート結果も好評だったことから、事業主等の理解を深めるのに一定の効果があったと考えられる。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 低い ← 取組の評価 → 高い </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 </div>		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 研修やセミナーの参加者からは好評であるものの、参加者は数に限られており、より多くの事業主へどのように情報を届けるかが課題である。公式LINEや商工会への依頼など、プッシュ型の周知を行う必要がある。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 実践的なテーマでの研修やセミナーを開催するとともに、関係部署と連携し、より積極的な周知啓発に取り組む。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



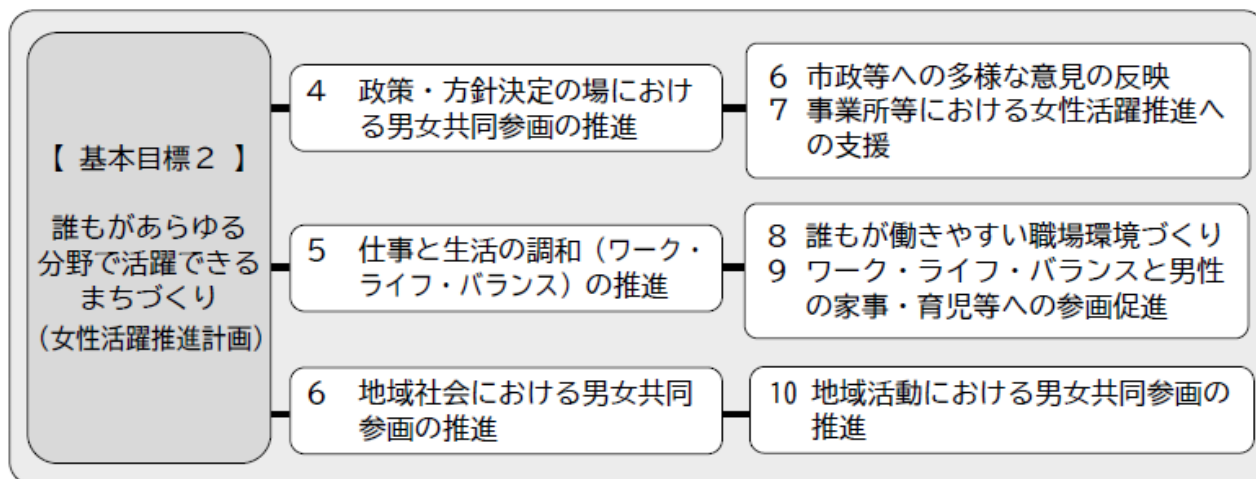
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

取組名		取組内容	担当課
農林水産業や商工自営業への支援(2)		個人事業主やその従事者が正当に評価されるような仕組みについて、関係機関と連携し、各種経営支援に関する情報の提供を充実し、市内の中小企業の経営基盤の強化や誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげます。	農林水産課
主な取組	<input type="radio"/> 家族経営協定の締結促進 <input type="radio"/> 農業委員会等各種団体における女性委員登用の促進		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
	家族経営協定調印式を行った。 日 時 令和7年1月9日(木) 目 的 夫婦で認定新規就農者の認定を受けお互いの役割と責任を明確にするため		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	夫婦で認定新規就農者を目指している農業者に、家族経営協定について説明した上で協定を締結できたことは評価できると思う。		
		低い ←————— 取組の評価 —————→ 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 家族経営協定とは、夫婦や家族で農業に取組む方に、農作業の役割分担を明確にするとともに、収益の配分についても相互に話し合いのうえ協定を締結するもので、対象者が限られることから大幅な増加は見込めないで、今後も夫婦等で農業を始めようとする農業者には積極的に説明していく。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 今後、夫婦や家族で農業経営を始めようとする農業者へ丁寧な説明をして、制度の理解をより深めてもらうとともに協定の締結者を増やしていく。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



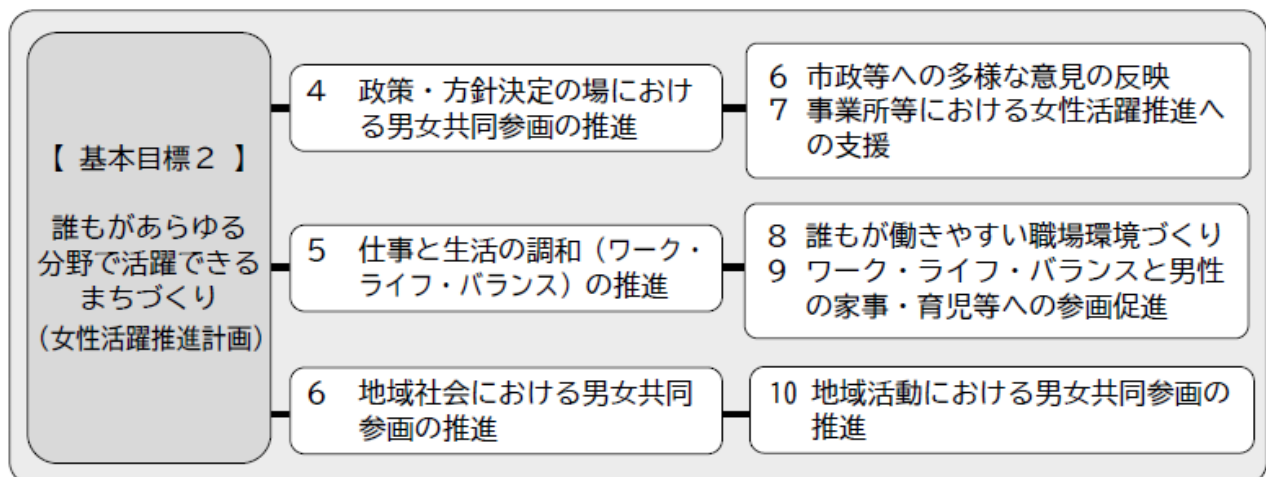
【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名		取組内容		担当課
	農林水産業や商工自営業への支援(2)		個人事業主やその従事者が正當に評価されるような仕組みについて、関係機関と連携し、各種経営支援に関する情報の提供を充実し、市内の中小企業の経営基盤の強化や誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげます。		農業委員会事務局
	主な取組		○ 家族経営協定の締結促進 ○ 農業委員会等各種団体における女性委員登用の促進		
	R6年度				
5	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
			農業委員会の委員の任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日で、定数18名のうち、女性委員は3名となっている。 毎月、農業委員会定例会を実施するとともに、9月から10月にかけて農地パトロールを実施し、農業委員として地域の農業者の相談を受けている。		
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
			毎月、農業委員会定例会において、第3条・第4条・第5条申請、非農地申請等、農地に関する各種申請の現地確認及び審議を実施するとともに、9月から10月にかけて実施する農地パトロールにおいて、農地の管理状況を確認し、農業委員として適正に業務を実施したことは評価できる。		
			低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
			農業委員の改選は、各地域の農業者からの推薦が主な応募方法であり、女性の推薦が増え、女性委員の登用が増えることが望ましいが、市が女性委員の登用を強制するものではなく、農業委員の選考については、原則として、地域の農業者からの推薦を尊重すべきものと考えている。		
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
		農業委員の改選は、3年ごとに実施され、今回は、令和8年7月に改選されることから、次年度である令和7年度は、改選の準備を進め、令和8年2月頃より、ホームページ・広報等で募集を実施し、令和8年4月には面接等による選考を行い、令和8年6月議会にて承認を得たうえで、令和8年7月で改選するスケジュールを予定している。			

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



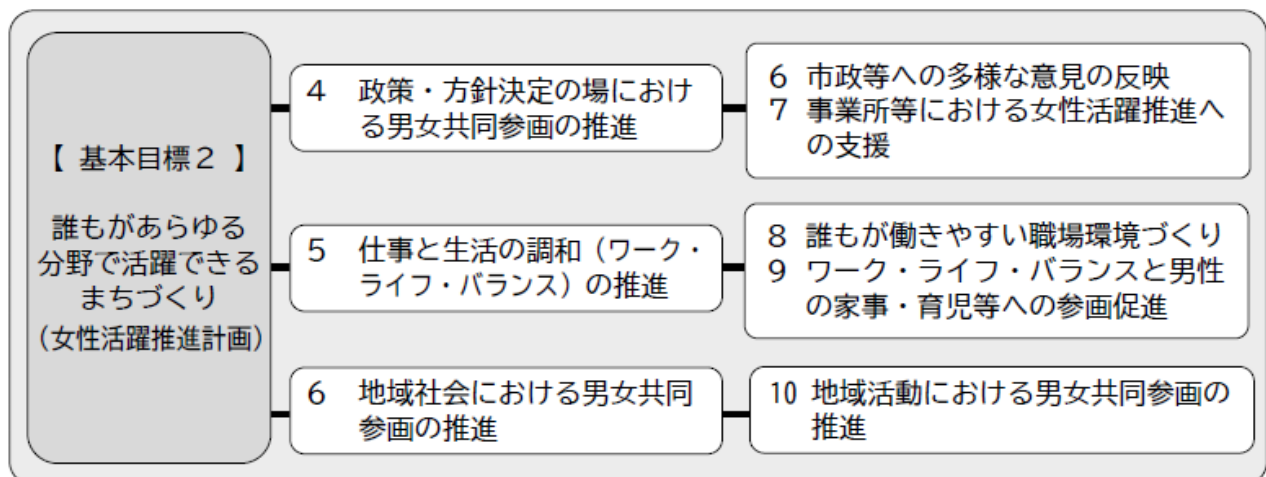
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名		取組内容		担当課
	農林水産業や商工自営業への支援(3)		個人事業主やその従事者が正當に評価されるような仕組みについて、関係機関と連携し、各種経営支援に関する情報の提供を充実し、市内の中小企業の経営基盤の強化や誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげます。		商工観光課
	主な取組		○ 関係機関に対する情報提供		
	R6年度				
5	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
			さぬき市商工会と連携し、市内中小企業等に対して国・県・市等からの各種経営支援等の情報提供を実施した。		
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
			各種経営支援等を通じて経営基盤の強化や誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげるための情報提供をすることができた。 中小企業当振興支援補助金において、経営革新(働き方改革に係る取組などを専門家の支援を受けて行う事業)への補助を対象メニューの一つとして周知した。		
			低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
国・県・関係機関から送付される資料を啓発ツールとして利用しているが、必ずしも企業のニーズに合わせた情報提供が難しい。より効果的な情報提供をするため、他市町の取組等を参考に検討する。					
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
		さぬき市商工会と連携し、市内中小企業等に対して国・県・市等からの各種経営支援等の情報提供を継続して実施する。			

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

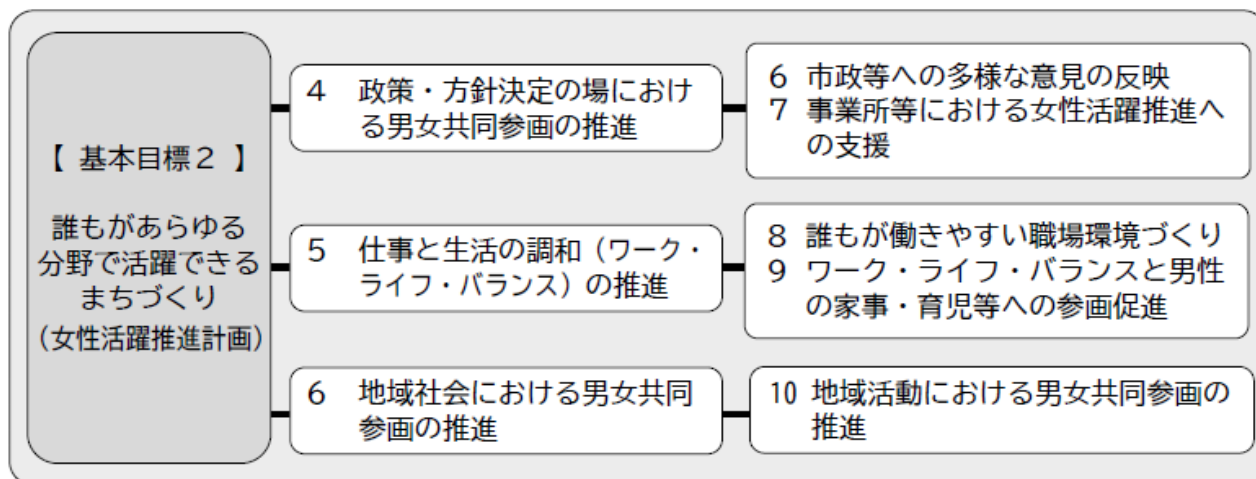
6

取組名		取組内容	担当課
市女性職員へのキャリア形成支援		偏見や慣習にとらわれない、より良い職場づくりや職員自身の意識の向上のための研修を実施し、市の女性職員のキャリア形成を支援します。	秘書広報課
主な取組	○ 女性職員のキャリア形成に向けた支援の実施 ○ 女性活躍推進等に関する職員研修の実施 ○ 能力と適性に応じた計画的な人員の配置		
	※関連計画:さぬき市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
	R7.2.17 令和6年度女性活躍推進研修 演題 「約40年の公務員生活を振り返って」 ～公務員女性が組織でやりがいを持って生き抜く術～ 講師 香川県政策部男女参画・県民活動課 課長 宮崎芳子 氏 参加者 27名(女性21人、男性6人)		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	令和6年度に新しく課長となった講師から、女性職員に期待される役割や、仕事への取り組みとキャリア形成について聞くことができた。職員の意識向上を図るとともに、管理職に対するイメージを話し合うことで、「管理職とは・・・」「キャリア形成とは・・・」を考えるきっかけを得ることができた。参加者のアンケートでは、満足度、今後の業務への影響等で、高評価の結果となった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
	参加者の範囲として、主査を含めたものとしたが、「管理職とは・・・」のイメージがつきにくかったとの感想がいくつかあったことから、対象とする職員の範囲を考える必要があると感じた。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)		
	女性が働きやすい職場環境を考えることが、全職員が日々の仕事を前向きに捉えてキャリアを築き、職場においてのより一層の活躍につながるように、職員の意識向上や持続可能な成長を支援する研修を継続して実施する。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



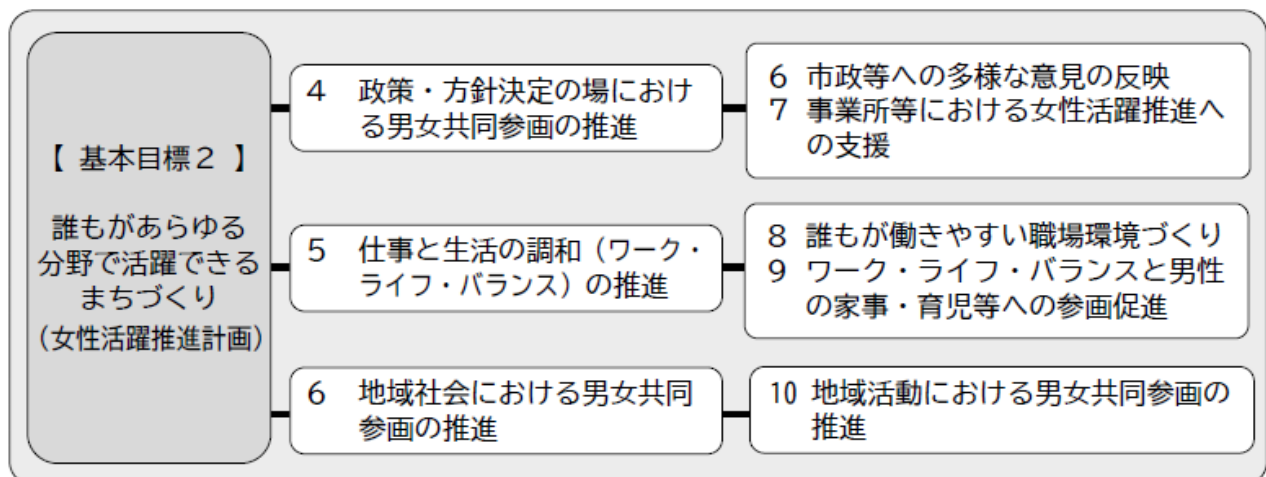
【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

7	取組名		取組内容	担当課
	ハラスメントの防止啓発(1)		差別やハラスメントについて正しく理解し、当事者や関係者のスムーズな相談につながるよう、相談窓口の周知及び啓発活動の充実に努めるとともに、意識の向上を図ります。	人権推進課
	主な取組	○ 男女共同参画週間等の機会を活用した相談窓口の周知啓発 ○ ハラスメント防止月間における周知啓発		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・男女共同参画週間パネル展にてポスター掲示、関連冊子等展示、パンフレット配布 ・ハラスメント防止啓発(8月 ケーブルネットワーク) ・ハラスメント防止啓発(広報紙(12月号)) ・市施設でのポスター掲示		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 男女共同参画週間等の機会や市の広報媒体を活用し、ハラスメント防止啓発を実施した。厚生労働省によると、総合労働相談件数は高止まりしており、その中で職場のいじめ・嫌がらせに関する相談は約5万5千件で、前年度から8.5%下がっているものの、全ての相談項目の中でトップとなっていることから、継続して窓口の周知啓発に取り組むことは重要であるとする。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ハラスメントの種類や加害の形は様々で、法律の改正についての情報や定義、加害・被害の構造について市民への周知が十分とはいえない。ハラスメントが起こる背景には、根深く残る固定的性別役割分担意識があると考えられ、男女共同参画週間等の機会を通し、正しい知識を身につける機会や、相談窓口の周知等、ハラスメント防止、被害者救済の両面から考えていく必要がある。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き市広報媒体における相談窓口の周知の強化に取り組むとともに、ハラスメント防止や固定的性別役割分担意識の解消について啓発を行う。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



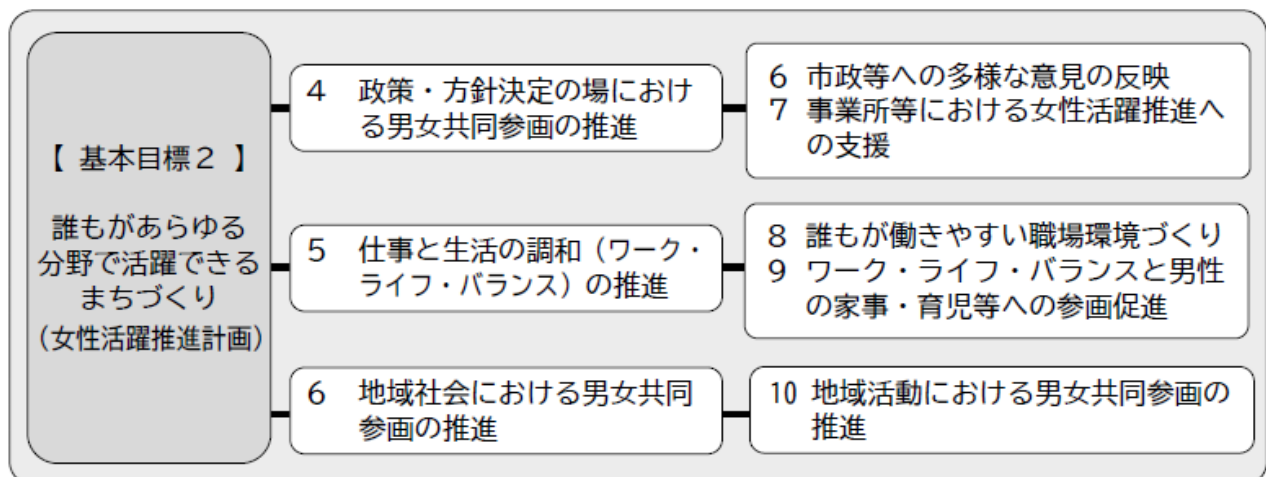
【主要施策7 事業所等における女性活躍推進への支援】

7	取組名		取組内容		担当課	
	ハラスメントの防止啓発(2)		差別やハラスメントについて正しく理解し、当事者や関係者のスムーズな相談につながるよう、相談窓口の周知及び啓発活動の充実に努めるとともに、意識の向上を図ります。		学校教育課	
	主な取組		○ ハラスメント防止に向けた教職員への注意喚起			
	R6年度					
	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 市内園長・校長研修会で、各学校においてハラスメントの防止に努めるよう周知した。 実施日 4/5、5/24、7/11、8/22、11/19、1/6、2/18(年7回) 参加者 公立小・中学校長10名			
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 各校で、ハラスメント防止に対する意識の向上が図られた。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5			
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ハラスメントの定義、発生した場合の具体的な対応等、さぬき市立学校の教職員を対象としたマニュアル等がない。			
	次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) さぬき市立学校の教職員を対象としたハラスメントに関するガイドラインや規則等の策定に向け情報収集を行う。			

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



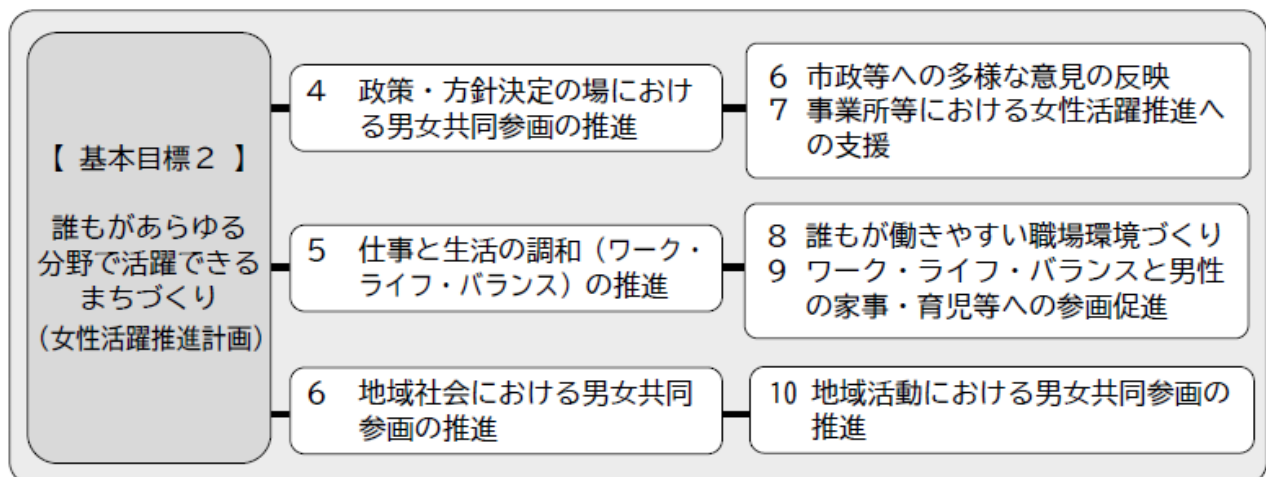
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名	取組内容	担当課
	ハラスメントの防止啓発(3)	差別やハラスメントについて正しく理解し、当事者や関係者のスムーズな相談につながるよう、相談窓口の周知及び啓発活動の充実に努めるとともに、意識の向上を図ります。	商工観光課
	主な取組	○ 関係法令や相談窓口等についての周知	
	R6年度		
7	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・職場のハラスメントに関するリーフレット等を配架し、相談窓口を継続して案内した。 ・11月の過労死等防止啓発月間にあわせて、窓口で国からの「しごとより、いのち」(職場のハラスメント相談窓口の案内を含む)に関するリーフレット等を配架し、相談窓口を案内した。 ・香川県労働委員会が開催する「無料労働問題相談会」(実施日：R6.10.7、参加者：2名)の会場提供や広報活動に協力した。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 窓口でのリーフレット配架や無料労働相談会(パワハラなどを含む職場でのトラブル等を専門家に相談できる)を実施することで、企業における健全な組織風土の醸成やハラスメントの未然防止や従業員の生産性向上や離職率の低下につながると考えている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ハラスメントの相談窓口については、厚生労働省や香川労働局のホームページで案内されているところであるが、市のホームページにおいてもリンクを貼る等、効果的に案内できるように検討する。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ・窓口において、職場のハラスメントに関するリーフレット等を配架し、相談窓口を継続して案内する。また広く周知するためホームページ上での掲載を検討する。 ・香川県労働委員会が開催する「無料労働問題相談会」の会場提供や広報活動に協力する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



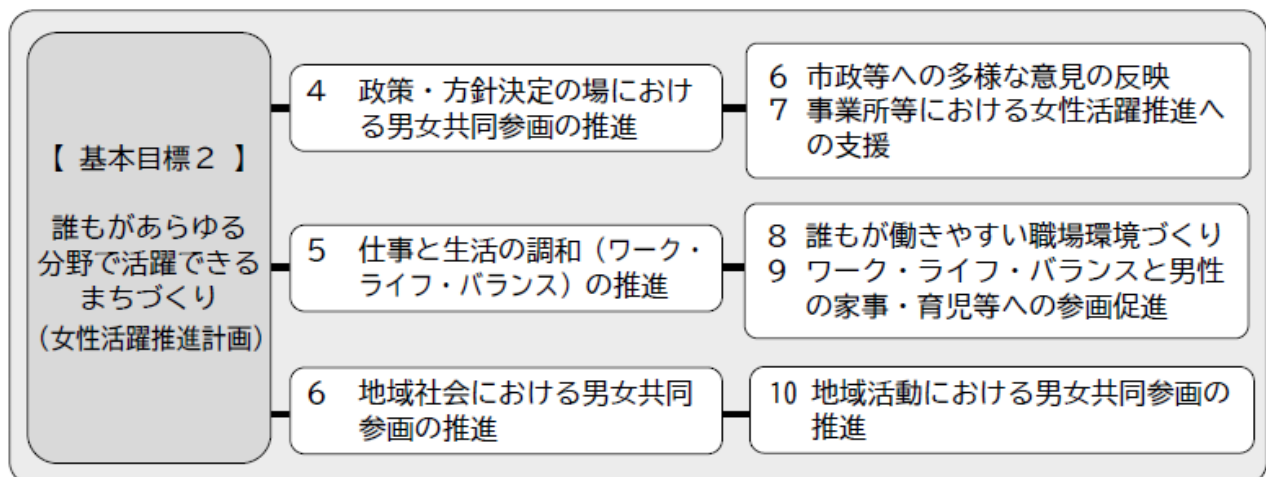
【主要施策 7 事業所等における女性活躍推進への支援】

	取組名	取組内容	担当課
	ハラスメントの防止啓発(4)	差別やハラスメントについて正しく理解し、当事者や関係者のスムーズな相談につながるよう、相談窓口の周知及び啓発活動の充実に努めるとともに、意識の向上を図ります。	秘書広報課
	主な取組	○「さぬき市職員ハラスメント防止の指針」の周知 ○ ハラスメント防止に向けた市職員研修の実施 ○ 相談員の配置、相談窓口の周知	
7	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 R7.1.17 令和6年度さぬき市職員カスタマーハラスメント研修 講 師 FPM-α 吉海江 久実代 氏 参加者 安全衛生推進員(安全衛生委員会委員)及び受講を希望する職員 41名	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 職場環境の改善を図る安全衛生委員会の委員や受講を希望する職員を対象に実施しており、全体的な評価は高く、実例を使った演習やグループワークを盛り込んだことで受講しやすい研修となった。カスタマーハラスメントに対する初期対応を含んだ対処方法を学んだこと、及び組織や部署全体で対応すべき問題であることを認識できたことから、成果があった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 カスタマーハラスメント対策を含む接遇やハラスメント対応については、定期的に学ぶ機会を持ち、話し方や姿勢から始まる接遇スキルの向上とハラスメント問題に組織として取り組み、一部の職員が不調をきたすことのないようにしなければならない。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 市民満足度の向上についての理解を深めるとともに、接遇マナーを再認識する研修や多様なハラスメント対策等により、職場環境の改善につながる研修を継続して実施する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



【基本方針5】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

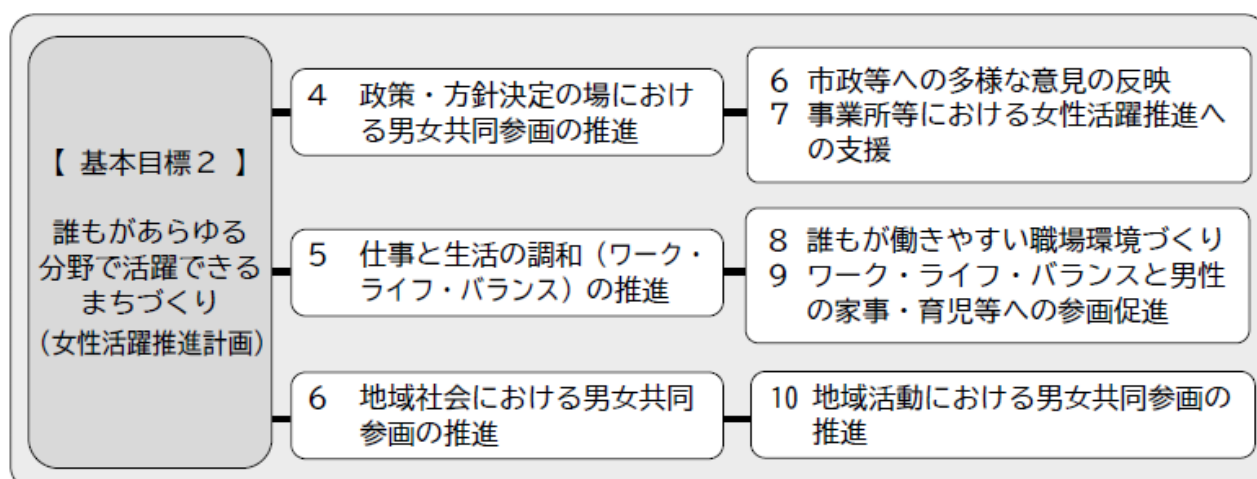
【主要施策8 誰もが働きやすい職場環境づくり】

8	取組名		取組内容		担当課	
	働きやすい職場環境整備への理解促進(1)		誰もが働きやすい職場環境への理解を促すとともに、多様な媒体を活用して、関連制度の周知と啓発に向けた広報に努めます。		人権推進課	
	主な取組		○ 働きやすい職場づくりに関する制度等の周知啓発			
	R6年度					
	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 男女共同参画週間セミナー、男女共同参画週間パネル展での啓発周知、市職員研修の実施、企業研修の実施、女性活躍推進セミナーの実施、ホームページを活用した国・県等の情報周知			
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 制度等については、商工観光課からデータの提供があったものをホームページに掲載するとともに、事業所を対象とした研修等の機会を通じ、国や県のリーフレットを活用した周知を行っている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 ④ 5			
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 日々の報道やSNS等の影響もあり、個人や社員側の「働きやすい職場を選ぶ」という意識は高まってきていると感じるが、事業所側からは「人材不足で対応が難しい」等の声も聞かれる。離職率の低下や生産性向上など、働きやすい職場づくりの事業所側のメリットをわかりやすく提示するとともに、国や県の制度周知を積極的に行う必要がある。			
	次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き商工観光課と連携し、事業所等への周知啓発に取り組む。			

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



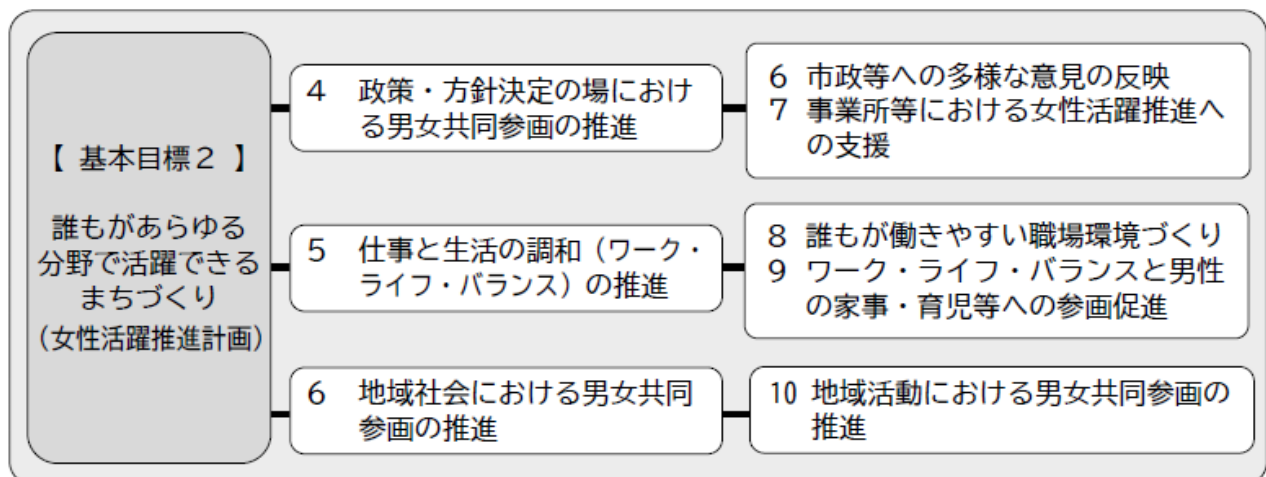
【 主要施策 8 誰もが働きやすい職場環境づくり 】

	取組名		取組内容		担当課
	働きやすい職場環境整備への理解促進(2)		誰もが働きやすい職場環境への理解を促すとともに、多様な媒体を活用して、関連制度の周知と啓発に向けた広報に努めます。		商工観光課
	主な取組		○ 労働関係法令や制度の周知		
	R6年度				
8	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
			地域就職サポートセンターに登録している市内事業所のうち67社に対し、求人票をやり取りする機会を活用し、県の働き方改革環境助成金等のチラシを用いて情報提供を実施した。		
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
			登録事業所への連絡の機会を利用し周知を行った。地域就職サポートセンターに登録している市内事業所の働きやすい職場環境づくり推進のため、今後も継続して情報提供を行う。		
			<div>低い ←----- 取組の評価 -----> 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>		
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
			求人票のやり取りがある企業を啓発対象としていることから、啓発範囲が限定的となることが課題である。国・県・労働関係機関から送付される資料を啓発ツールとして利用しているが、必ずしも企業のニーズに合わせた情報提供が難しい。より効果的な啓発活動をするため、他市町の取組等を参考に検討する。		
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
		地域就職サポートセンターに登録していて、求人票についてのやり取りのある事業所に対して、チラシやリーフレットを送付し、働きやすい職場づくりに関わる情報提供を継続して実施する。また、窓口において関連チラシ・リーフレットを配架し、有益な情報はホームページへの掲載を検討する。			

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



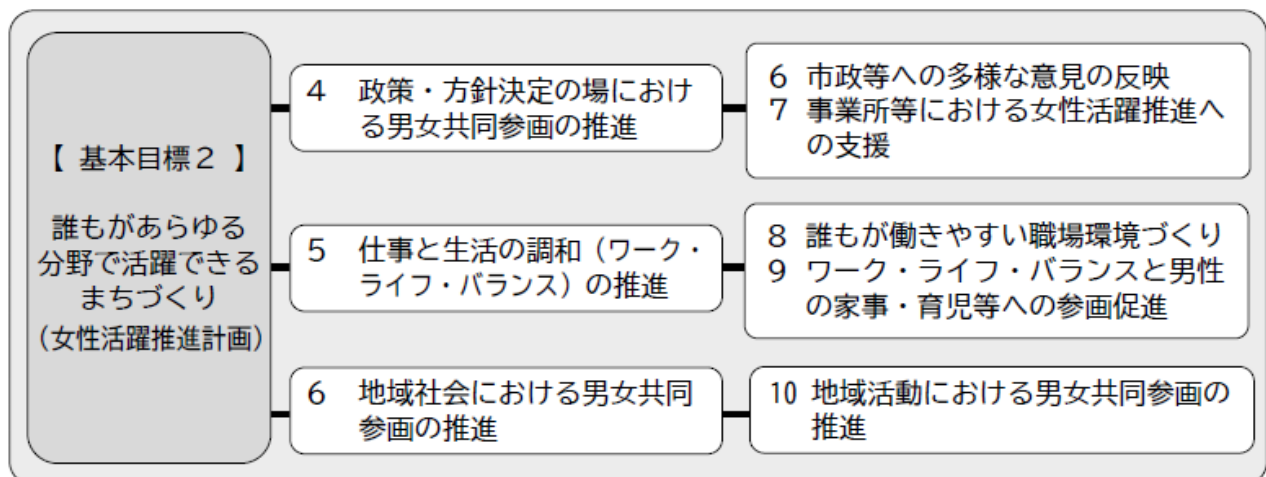
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

	取組名		取組内容		担当課
	多様な働き方への理解促進(1)		多様な働き方に関し市民・事業者へ啓発するとともに、市職員自身も意識の向上を図り、仕事と生活の調和に向けた多様な働き方を選択できる社会への理解を促進します。		人権推進課
	主な取組		○ ワーク・ライフ・バランスを推進する啓発活動の実施 ○ 国、県の制度等に関する情報提供や制度の周知		
	R6年度				
9	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 市職員初任者研修講話、男女共同参画週間パネル展にてポスター掲示、関連冊子等展示、パンフレット配布、人権・同和問題企業研修、女性活躍推進セミナー、女性活躍推進職員研修、ホームページに国、県の関連情報を掲載		
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 ワーク・ライフ・バランスの推進を阻害する一因であるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についてパネル展特別展示による市民への啓発のほか、職員研修で職員自らも多様な人材による多様な働き方の重要性について理解を深めることができました。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 事業所においては、代替要員の確保難、制度整備のための財源不足がワーク・ライフ・バランス推進の課題となっている。また、個人により家庭の事情や働き方の希望が異なる中で、幹部をはじめとした意識改革も必要である。相談窓口や県の働き方改革推進アドバイザー派遣制度等のより一層の周知が必要である。		
	次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ワーク・ライフ・バランスやアンコンシャス・バイアスについて、パネル展やセミナー、研修等を通し、引続き啓発活動を実施するとともに、国、県の制度周知を行う。		

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



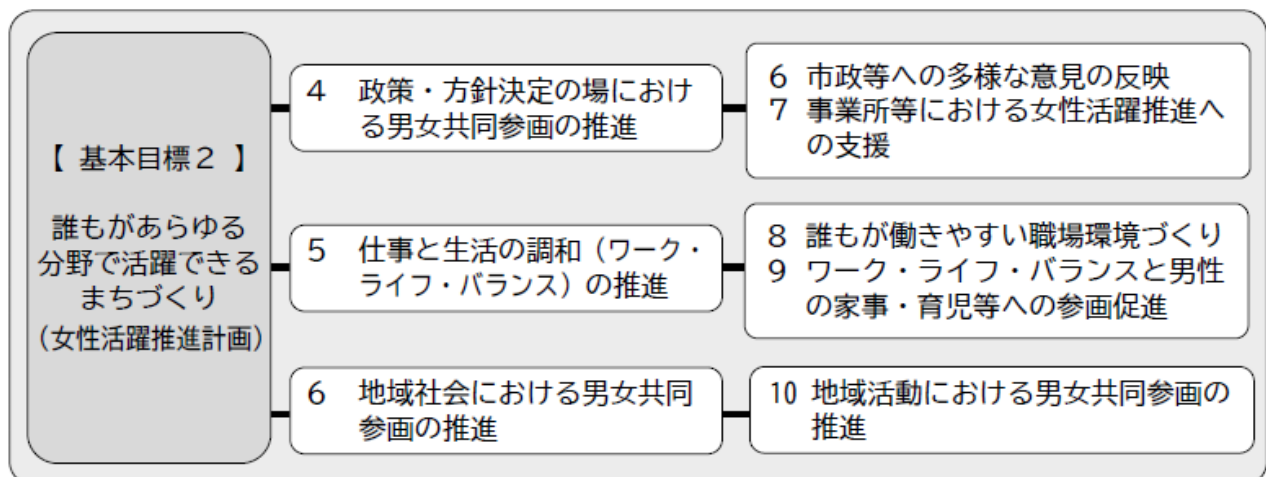
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

	取組名	取組内容	担当課
	多様な働き方への理解促進(2)	多様な働き方に関し市民・事業者へ啓発するとともに、市職員自身も意識の向上を図り、仕事と生活の調和に向けた多様な働き方を選択できる社会への理解を促進します。	商工観光課
	主な取組	○ 関係法令、国や県の制度等の周知	
	R6年度		
9	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 地域就職サポートセンターに登録している市内事業所のうち44社に対し、求人票のやり取りをする機会を活用し、国や県の休暇取得促進や働き方改革の啓発資料等を用いて情報提供を実施した。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 登録事業所への連絡の機会を利用し周知を行った。地域就職サポートセンターに求人登録している市内事業所に情報提供をすることができた。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 求人票のやり取りがある企業を啓発対象としていることから、啓発範囲が限定的となることが課題である。国・県・労働関係機関から送付される資料を啓発ツールとして利用しているが、必ずしも企業のニーズに合わせた情報提供が難しい。より効果的な啓発活動をするため、他市町の取組等を参考に検討する。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 地域就職サポートセンターに登録していて、求人票についてのやり取りのある事業所に対して、チラシやリーフレットを送付しワーク・ライフ・バランスに関わる情報提供を継続して実施する。また、窓口において関連チラシ・リーフレットを配架し、有益な情報はホームページへの掲載を検討する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



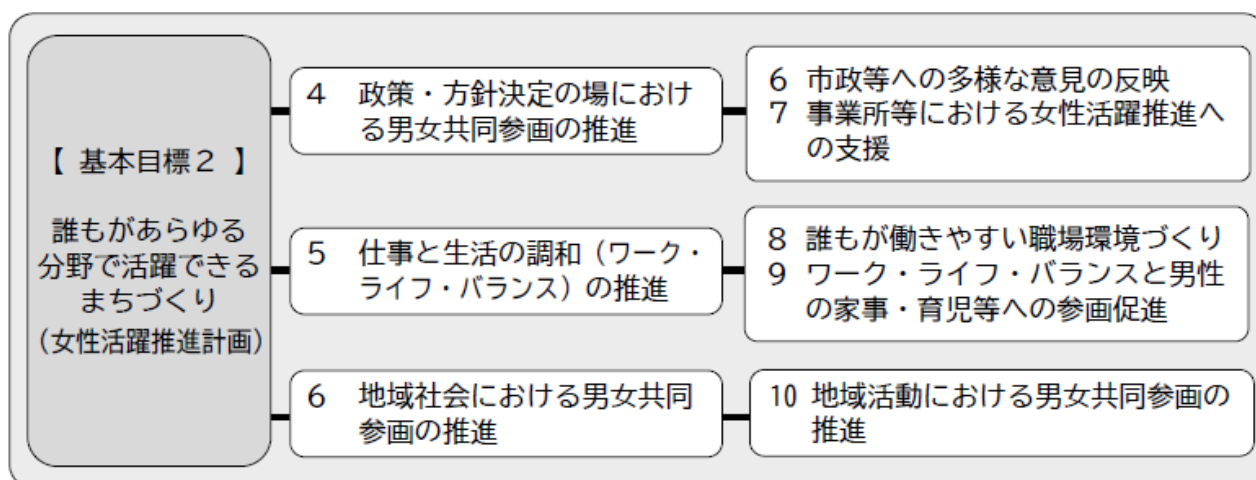
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

取組名	取組内容	担当課
多様な働き方への理解促進(3)	多様な働き方に関し市民・事業者へ啓発するとともに、市職員自身も意識の向上を図り、仕事と生活の調和に向けた多様な働き方を選択できる社会への理解を促進します。	秘書広報課
R6年度		
主な取組	○ ワーク・ライフ・バランスに関する職員研修の実施 ○ 職員に対する休暇取得の促進や時差出勤、在宅型テレワークの推進 ※関連計画：次世代育成対策さめき市特定事業主行動計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・ワーク・ライフ・バランスを推進するため、5つの共通目標の達成度を所属長の業績評価に反映した。 ・働き方改革を推進するため、モデル部署(国保・健康課)を選定し、コンサルによる業務の効率化等に向けた支援を行った。また、副主幹昇任者等の11名を対象にマネジメントや業務改善等に関する研修を3回行った。 ・夏季休暇と年次休暇を組み合わせた長期の休暇取得を促した。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 5つの共通目標の達成度を所属長の業績評価に反映させることで、意識の向上が見られた。また、業務効率化に向けたモデル部署での取り組みや、副主幹昇任者等への研修は、職員の業務負担軽減に寄与した。また、休暇取得の促進に関する啓発活動を行うことで、職員の休暇取得意識が高まった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 管理職や一般職員の意識向上は見られたものの、業務量が減少しているわけではないため、実際に休暇を取得しづらいという意見が寄せられた。この状況を踏まえ、業務の効率化をさらに推進し、職員が業務を円滑に進められる環境整備に努める。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 業務プロセスの見直しや、ITツールの活用を進めることで、業務負担を軽減し、休暇取得を可能にする体制を構築するため、業務効率化のコンサル事業を継続する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



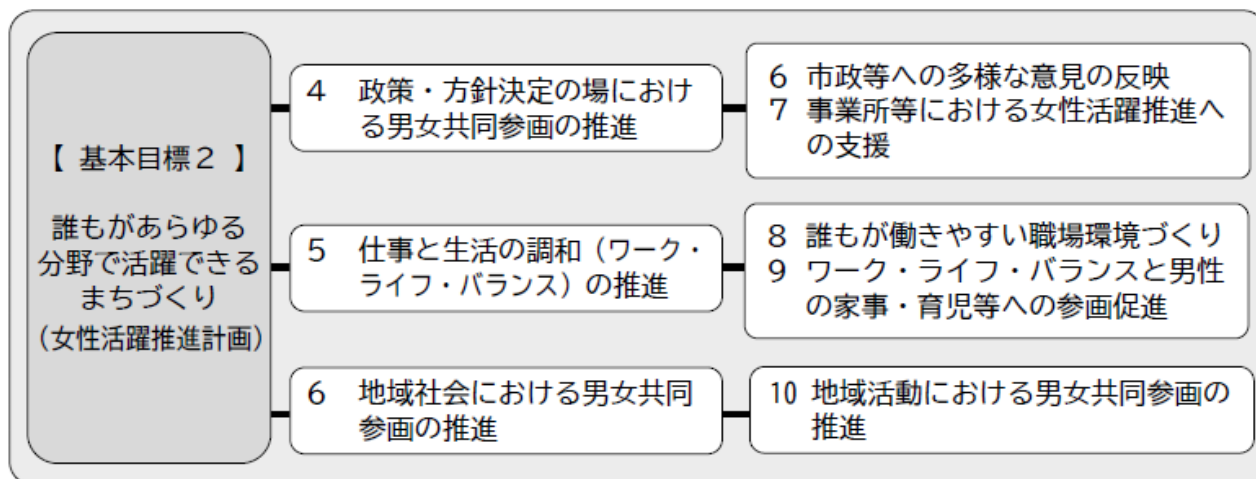
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

	取組名	取組内容	担当課
	仕事と子育ての両立支援	仕事と子育てが両立できる環境の整備に積極的に取り組みます。	子育て支援課
10	主な取組	○「さぬき市子ども・子育て支援計画」に基づく取組の推進 ○ ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ、病児・病後児保育事業の実施 ※関連計画:「さぬき市子ども・子育て支援計画」 R6年度	
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・放課後児童クラブ入会児童数 751 人 ・ファミリー・サポート・センター事業 おねがい会員234人、まかせて会員142人、どっちも会員7人 ・病児・病後児事業の年間利用者人数の累計は、2事業所で実施しており、326人が利用。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 ・放課後児童クラブについては、放課後児童支援員の安定的な確保及び運動場・体育館等の学校施設の活用により児童の受入体制の充実を図った。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、まかせて会員養成講座、会員スキルアップ講座、子育て支援センターでの出張登録などを実施し会員の獲得を図った。 ・子育て世代の保育負担の軽減を図り、働きやすい環境を確保するように取り組んだ。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ・放課後児童クラブについては、共働き家庭の増加に伴い利用児童数も増加しており、充分な活動スペースの確保に苦慮している。また、研修による資質向上及び処遇改善に努め、児童支援員の人材を確保する必要がある。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、お願い会員、まかせて会員ともに新規登録は微増に留まっていることから、事業周知方法の工夫が必要である。 ・R5年度と比較して、減少している為、周知啓発が必要である。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ・長尾放課後児童クラブについては、令和7、8年度にかけて改築工事を計画している。この改築により、「放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準」で定められている「児童1人につきおおむね 1.65 m ² 以上」の広さを確保できる見通しである。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、SNSの活用など多様な媒体を通じて活動を発信する。 ・次年度も同様の内容で継続していく。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



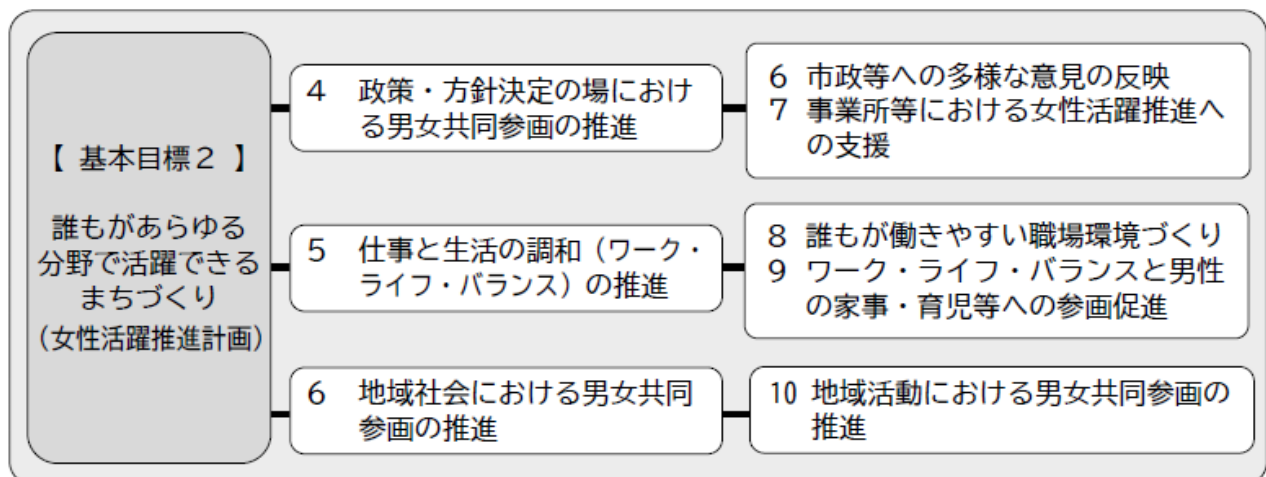
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

	取組名	取組内容	担当課
	仕事と介護の両立支援	仕事と介護を両立できる環境を整備するため、多様な高齢者福祉・介護保険事業を実施します。	長寿介護課
	主な取組	○「さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」に基づく両立支援の実施	
		※関連計画:さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
	R6年度		
11	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
		要介護被保険者の状態維持・改善を目的とした、適切な介護知識・技術の習得や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を目指し、家族介護教室を開催した。市内5事業所の在宅介護支援センターのうち、4事業所で年9回実施し延べ155名が参加した。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
		コロナ禍の影響で縮小していたが、感染症対策等実施の在り方を工夫しながら取組み、実施回数、参加人数ともに前年度より増加した。1事業所のみ実施できなかった。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
		今年度は全事業所で実施ができなかったが、担当者会等で実施の在り方や教室内容等情報を共有し全事業所で実施を目指す。今後も家族介護者に適切な介護知識や技術、外部サービスの利用方法などを習得できるように支援する。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)	
		年10回以上の教室開催を目指すとともに、本取組について周知し、参加者を募ることでより広く支援できるよう図りたい。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



	取組名	取組内容	担当課
	男性の家事・育児等への参画促進(1)	男性の家事や育児への参画を促進するとともに、意識啓発や知識、スキルを習得する機会を提供します。	人権推進課
	主な取組	○ 男性の家事、育児への参画について理解を深める啓発活動の実施 ○ 男性の育児休暇取得促進のための広報啓発	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 男女共同参画週間パネル展にて啓発、男女共同参画セミナー「図書館かしきり！お父さんといっしょにたのびたいになろう」開催、市の広報媒体を活用し国・県の制度等の情報提供	
12	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 催しは毎回大変好評で、新規の申込者も多い。参加者からは、「子どもの成長を感じられた」「親子の信頼関係が強くなったと感じる」といった感想が寄せられ、本プランに定める男性の育児参加のきっかけや男性の育児への参画促進に一定の効果があるものと考えられる。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">低い</div> <div style="flex-grow: 1; border-top: 1px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: -5px;">←</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: -5px;">→</div> <div style="position: absolute; left: 10%; top: -5px;">1</div> <div style="position: absolute; left: 35%; top: -5px;">2</div> <div style="position: absolute; left: 55%; top: -5px;">3</div> <div style="position: absolute; left: 75%; top: -5px;">4</div> <div style="position: absolute; right: 10%; top: -5px;">5</div> <div style="position: absolute; left: 45%; top: -10px;">取組の評価</div> </div> <div style="text-align: center;">高い</div> </div>	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 男性の家事育児参画促進は男女共同参画の一つの重要なテーマであるが、参加者(子)からは、「次回は家族みんなで参加したい」という声や母親からの参加したいという声も聞かれる。ニーズを探りながら、母親等を対象にした催しの開催についても今後検討していく必要がある。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 催しを開催するとともに、幅広い世代を対象とした男性の家事・育児等への参画促進のための周知啓発を行う。また、情報の収集にあたり、より効果的な啓発方法についても検討する。	

【基本施策】



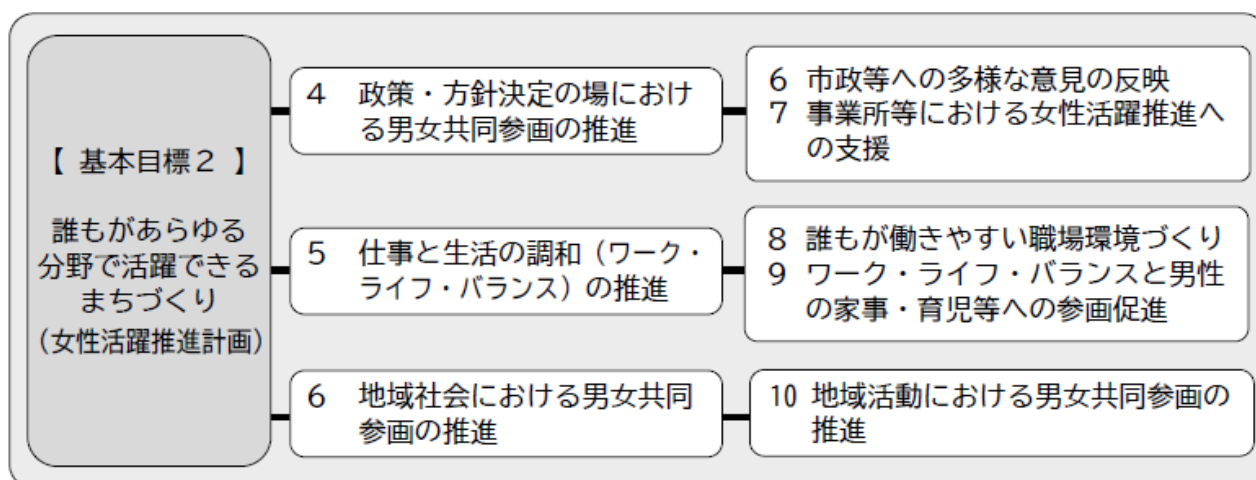
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

取組名	取組内容	担当課
男性の家事・育児等への参画促進(2)	男性の家事や育児への参画を促進するとともに、意識啓発や知識、スキルを習得する機会を提供します。	国保・健康課
R6年度		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男性料理教室、親子クッキング教室の実施 ○ 両親学級の実施 ○ 男性の育児参画等に関する情報の提供、啓発活動の実施 	
	※関連計画:さぬき市健康増進計画、さぬき市食育推進計画	
R6年度		
実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <p>さぬき市食生活改善推進協議会の協力により、食生活の自立や生活習慣病の予防を目的として、男性料理教室を市内4カ所、計27回実施し、延372人が参加、食の体験を通じて、食の大切さを伝える食育を目的として、親子料理教室を市内5カ所、計17回実施し、延442人の参加があった。</p>	
成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>参加者の満足度が高く、継続して参加する方も多い。男性の家事への参加にもつながっている。</p> <p>低い ← 取組の評価 → 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>男性料理教室は、継続して参加する方が多く、新規参加者の確保が難しいこと、また、参加者の高齢化が課題となっている。</p> <p>民生委員会や老人会、親子料理教室など、様々な場面での参加勧奨を実施する。</p>	
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>引き続き、さぬき市食生活改善推進協議会に協力し、男性料理教室や親子料理教室などの地域住民が参加できる料理教室を実施する。</p>	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

【基本施策】



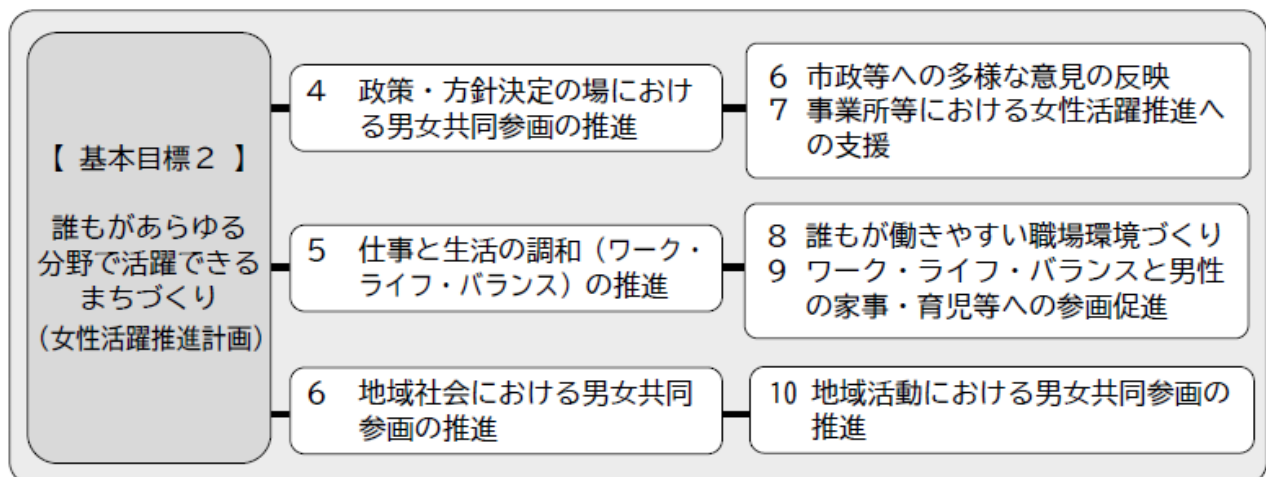
【 主要施策 9 ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進 】

12	取組名	取組内容	担当課
	男性の家事・育児等への参画促進(3)	男性の家事や育児への参画を促進するとともに、意識啓発や知識、スキルを習得する機会を提供します。	秘書広報課
	主な取組	○「次世代育成支援対策さぬき市特定事業主行動計画」の周知 ○ 男性職員の育児休暇取得促進のための情報提供 ※関連計画：次世代育成支援対策さぬき市特定事業主行動計画	
		R6年度	
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・休暇取得の促進に係る啓発 子ども夏休み時期に合わせて、夏季休暇と年次休暇を組み合わせた長期の休暇取得を促した。 ・毎週水曜日のノー残業デーや毎月19日の育児の日を周知し、定時での退庁と子育て参加を喚起した。・対象者の把握に努め、該当職員には、育児休業制度の周知や意思確認を行うとともに、配偶者の出産に伴う特別休暇の取得促進と育児への参加を喚起した。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 休暇取得率としては、横ばいの状況となっているが、イントラ掲示板での周知に合わせて、所属長からの声掛けをすることにより、一定の効果があった。 育児休業や休暇制度の周知については、対象となった全職員対して、実施することができている。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 定期的な周知は、継続することの利点と恒常化することの懸念があるため、イントラ掲示板の掲載方法を見直す必要がある。 また、休暇が取得しやすい環境づくりとして、取得率の高い部署の取り組み状況を情報共有したい。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 休暇取得促進の啓発や子育て世代への育児や子育てへの参加を促進するための休暇や育児休業等の制度周知の継続に加え、休暇が取得しやすい環境づくりを検討する。	

【参考】体系図（基本目標2）

【基本方針】

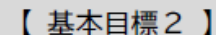
【基本施策】



〔主要施策９ ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児等への参画促進〕

13

【基本施策】



【基本目標3】 誰もが安心して暮らせるまちづくり

【基本方針7】 あらゆる暴力の根絶（DV防止基本計画）

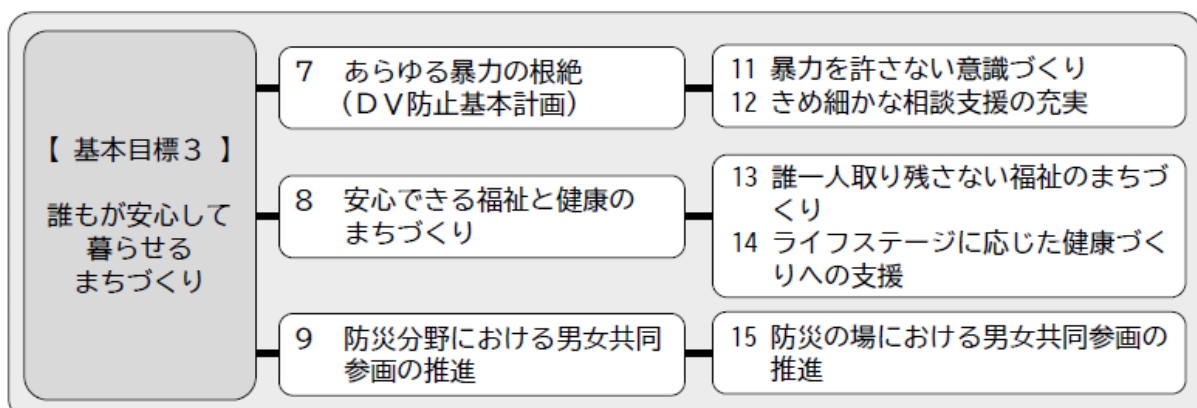
【主要施策11 暴力を許さない意識づくり】

取組名	取組内容	担当課
暴力根絶に向けた広報・啓発(1)	幅広い年齢層に対して、暴力をなくす意識を共有できるよう、関係各課と連携し、啓発に向けた広報に積極的に取り組みます。	人権推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画週間等の機会を活用した広報啓発 ○ DV防止に関する啓発活動の実施 ○ 市の広報媒体を活用した相談窓口の周知 	
R6年度		
実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <p>男女共同参画週間パネル展での啓発、広報紙(11月号)に啓発記事掲載、市民文化祭パネル展示での啓発、はたちのつどいにてDV・児童虐待相談窓口掲載チラシを配布、ケーブルネットワークで相談窓口啓発、市内中学校への情報提供、市内公共施設にポスターを掲示</p>	
成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>市の広報媒体等を活用しDV防止啓発を行った。また、有志の男女共同参画推進協議会委員及び男女共同参画推進市民サポーターも参加し、福祉総務課・子育て支援課と連携したDV・虐待防止街頭キャンペーンを行い、市民に直接呼びかける機会を得ることができた。パネル展の展示もインパクトがあるため、参加者からも印象に残ったという声があった。</p> <p>低い ← 取組の評価 → 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>男性のDV被害は潜在化しがちだと言われている。この背景には「男性は強くあるべき」「家庭を守る側」などといった性別固定観念があると考えられる。令和5年度の男女共同参画局の調査によると、配偶者からの暴力被害について誰かに相談した割合は女性が約60%なのに対し、男性は約40%と性別によって差がある。DV被害者には性別を問わずなりうるということ、性別固定観念の解消に向けた周知啓発を進める必要がある。</p>	
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>引き続き国等のリーフレットを活用し、市の広報媒体のみならず、街頭キャンペーンやセミナー等の催しにおいても関係各課と協力し積極的に広報啓発に取り組む。</p>	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



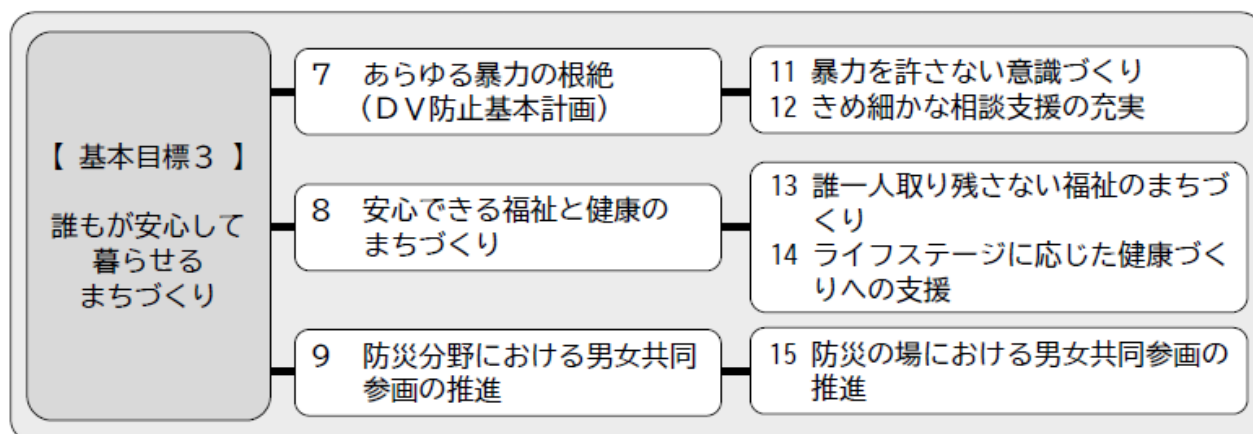
[主要施策 1 1 暴力を許さない意識づくり]

取組名		取組内容	担当課
暴力根絶に向けた広報・啓発 (2)		幅広い年齢層に対して、暴力をなくす意識を共有できるよう、関係各課と連携し、啓発に向けた広報に積極的に取り組みます。	子育て支援課
主な取組	○ デートDV防止に関する啓発活動の実施 ○ デートDV防止啓発講演会の実施 ○ 児童虐待防止に関する啓発活動の実施		
	※関連計画:さぬき市子ども・子育て支援計画		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
	・若者に向けたデートDV予防研修会 開催日:11月13日、対象:志度中学校生徒(332人)教職員 ・デートDVに関する展示(6月、男女共同参画パネル展) ・はたちの集いにおけるDV防止啓発(1月、リーフレット・啓発グッズの配布) ・児童虐待防止に関する啓発活動(13回)		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	デートDV予防研修会については、中学校の協力により全生徒を対象に対面で講義を行った。事後に生徒にアンケート調査を実施し、その結果について中学校と共有した。		
	<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
	・デートDV予防研修会の実施、また事後のフォローにおいては、中学校の理解と協力が必要である。生徒に関わる教員や支援者がデートDVについて知識を得る機会が今後必要となる。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)		
	次年度は、さぬき南中学校においてデートDV予防研修を実施する。また、啓発展示、リーフレット配布など啓発活動を継続して実施する。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



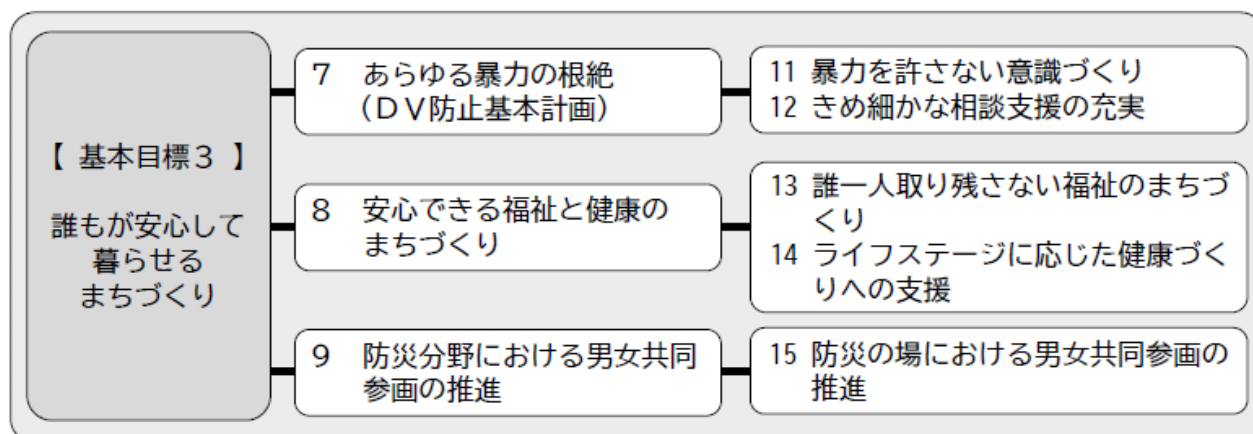
[主要施策 1 1 暴力を許さない意識づくり]

取組名		取組内容	担当課
暴力根絶に向けた広報・啓発 (3)		幅広い年齢層に対して、暴力をなくす意識を共有できるよう、関係各課と連携し、啓発に向けた広報に積極的に取り組みます。	学校教育課
主な取組	○ 発達段階に応じた「生命(いのち)の安全教育※」の実施 ○ 関係機関と連携したデートDV防止啓発講演会の開催 ○ 児童虐待防止に関する対応マニュアル等の配布及び活用		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・香川県教育委員会が主催する「いのちのせんせい」事業を小学校6校、中学校2校で実施し、計462名の児童生徒が参加した。講師は助産師や介護福祉士で、生きることの意味や命の大切さについて考えを深めるものであった。 ・子育て支援課と連携し、11月に志度中学校の全校生徒(332名)を対象に、「デートDV予防研修会」を実施した。年度当初の市内園長・校長研修会において、すべての園と学校に対して対応マニュアルを配布し、共通理解を図った。		
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
	全ての事業が児童生徒の興味・関心を持つように工夫され、子どもたちが自分の命をもちろんのこと、周りにある命についても理解を深め、大切する思いを育むことができた。 また、対応マニュアルの共通理解により、有事の際に迅速な対応を取ることができた。		
	低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 ④ 5		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 児童生徒全般に向けた取組は充実しているが、真につらい思いをしている子どもたちに対する対応や、保護者に対する啓発は十分であるとは言えない。そのため、今年度の取組を次年度も継続するとともに、対象者や内容を見直し、現代の課題に合わせる形で、更なる充実に努めたい。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 「いのちのせんせい」「デートDV予防研修会」事業の継続と未実施校に対する実施の呼びかけを行う。さらに、市内園長・校長研修会等における情報提供や共通理解に関する取組について、更なる充実を図る。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



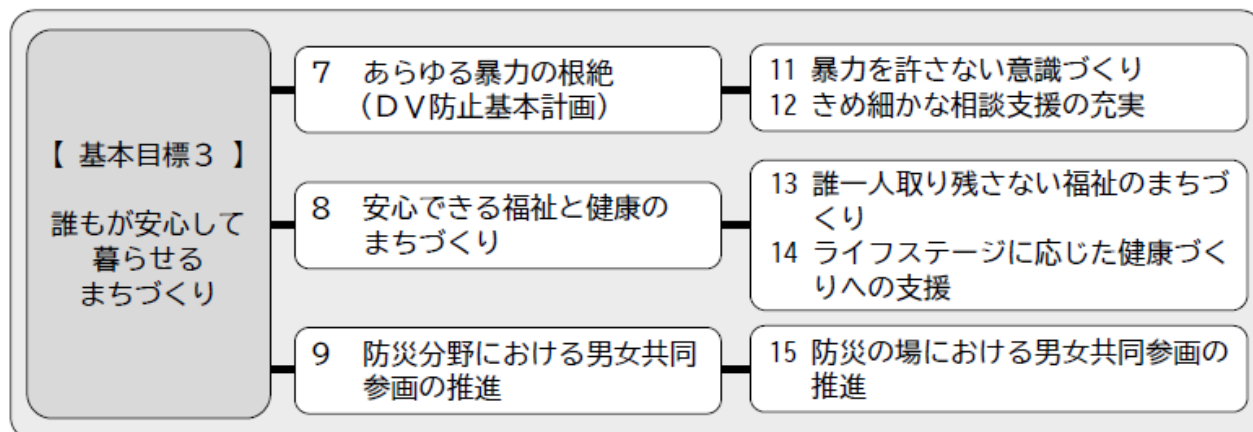
【主要施策 1 2 きめ細かな相談支援の充実】

2	取組名		取組内容	担当課
	女性相談の充実(1)		早期に相談につなげることができるよう、関係各課と連携し、啓発に向けた活動を推進するとともに、相談員の資質の向上を図ります。	人権推進課
	主な取組	○ 男女共同参画週間等の機会、市広報媒体等を活用した相談窓口の周知啓発		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 男女共同参画週間パネル展での啓発、広報紙(11月号)に啓発記事掲載、市民文化祭パネル展示での啓発、はたちのつどいにてDV・児童虐待相談窓口掲載チラシを配布、ケーブルネットワークで相談窓口啓発、市内小中学校への情報提供、市内公共施設にポスターを掲示		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 市の催しの機会及び広報媒体等を活用しDV防止啓発を行った。DV防止についての市民の意識は高まってきていると感じる。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 R4年度実施の市民アンケートでは、DV被害者でどこにも相談しなかった人の約20%が「どこに相談したらよいかわからなかったから」と答えているため、市民のDV(デートDV)防止についての意識を高め、いち早く相談につなげられる啓発を引き続き実施する必要がある。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き国等のリーフレットを活用し、市の催し及び広報媒体において関係各課と協力し積極的な広報啓発に取り組む。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



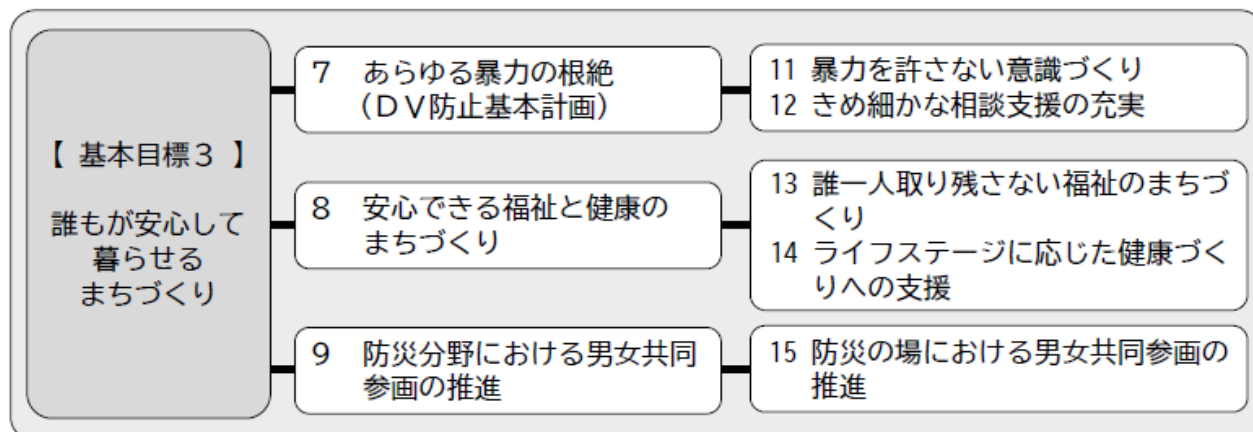
[主要施策 1 2 きめ細かな相談支援の充実]

2	取組名		取組内容	担当課
	女性相談の充実(2)		早期に相談につなげることができるよう、関係各課と連携し、啓発に向けた活動を推進するとともに、相談員の資質の向上を図ります。	子育て支援課
	主な取組	○ 家庭児童相談室の周知及び相談の実施 ○ 相談員の資質向上 ○ 県等関係機関との連携強化		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 家庭児童相談室に、女性相談の研修を受けた女性相談員を1名配置しており、子育てや家庭問題、DVなどの相談に対応した。(相談対応形態:来所相談や電話相談。令和6年度実績:DV相談実人数11件、延人数42回)		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 相談員が研修を受講し資質向上を図ることで、専門的な相談内容にも対応することができている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 今後も、専門性の高い相談内容に対応するため、女性相談員を継続して配置する。DVや家庭問題の背景として貧困、疾病、障害などを抱えるケースも増えており、複合的な課題に対応できるよう相談員の資質向上を図る。また、香川県子ども女性相談センターと連携を図る。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 女性相談の広報周知を継続して実施する。 女性相談に関する研修に参加する。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



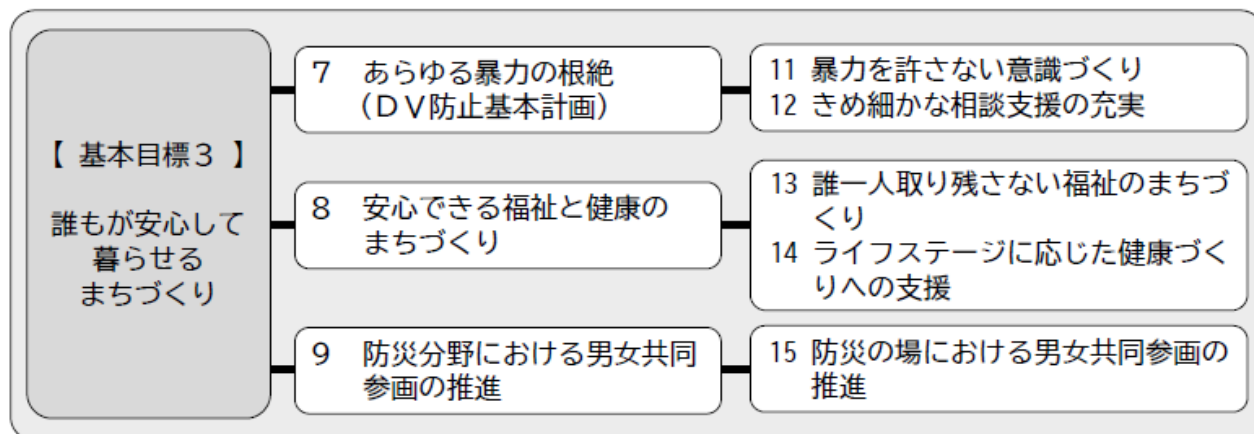
[主要施策 1 2 きめ細かな相談支援の充実]

3	取組名		取組内容	担当課
	被害者等への支援(1)		二次被害の防止や自立した生活につながる、切れ目のない支援に取り組みます。	子育て支援課
	主な取組	○ 被害者保護に向けた相談員の配置 ○ 関係機関と連携したより専門的な視点での支援 ○ 相談員の資質向上		
		※関連計画:さぬき市子ども・子育て支援計画		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
		被害者支援としては、DVの被害者への緊急対応及び自立に向けた支援を行った。また児童虐待の被害児童への緊急対応及び家庭への相談支援を行った。関係機関との情報共有としてケース検討会議を実施し、支援方針の検討を行っている。令和6年度は3回開催し、支援の見直し等実施している。		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
		適時ケース検討会議を開催し、他機関連携のもと被害者支援を実施した。		
		<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。			
	貧困や疾病など被害者やその家族が抱える課題は複雑化している。被害者支援に携わる全ての関係機関が守秘義務のもと組織的に支援を行うために、ケース検討会議にて支援方針を共有することが必要である。			
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
	被害者への支援は今後も必要であり、医師や弁護士等にも助言を得ながらケース検討を行い、より専門的視点で被害者支援ができる体制を継続していく。			

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



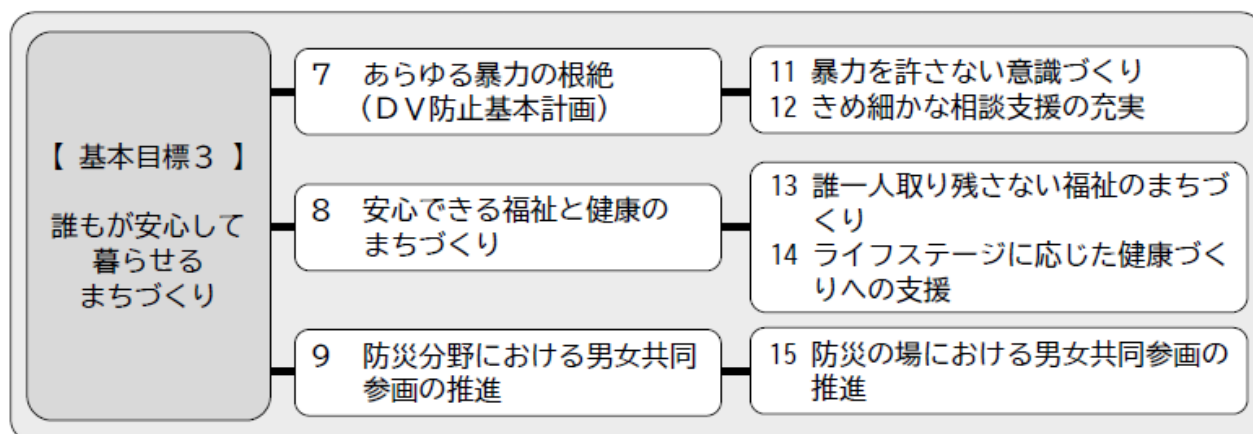
[主要施策 1 2 きめ細かな相談支援の充実]

取組名	取組内容	担当課
被害者等への支援(2)	二次被害の防止や自立した生活につながる、切れ目のない支援に取り組みます。	市民課
主な取組	○ 住民基本台帳事務におけるDV等の支援措置	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
	住民基本台帳事務等における支援措置として、DV及びストーカー行為、児童虐待等の被害者の所在地が加害者に伝わらないよう、申出により関係自治体並びに本市関係各課と連携し、住民基本台帳の閲覧や交付の制限を行った。	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
	支援措置申出書に基づいた被害者情報を庁内で迅速に共有するとともに、関係市区町村への通知を適切に実施することで、被害者の居住地に係る情報を適切に管理することができた。	
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">低い</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: -5px;">←</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: -5px;">→</div> <div style="position: absolute; left: 10%; top: -5px;">1</div> <div style="position: absolute; left: 40%; top: -5px;">2</div> <div style="position: absolute; left: 60%; top: -5px;">3</div> <div style="position: absolute; left: 80%; top: -5px;">4</div> <div style="position: absolute; right: 10%; top: -5px;">5</div> <div style="position: absolute; left: 50%; top: -10px;">取組の評価</div> </div> <div style="text-align: center;">高い</div> </div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
	近年、DVやストーカー行為など以外の、様々なケースが見受けられるようになり、支援措置への理解や柔軟な対応が求められることから、担当者以外の職員も支援措置の重要性を理解し、個人情報の取り扱いについて、より注意を払う必要がある。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)	
	引き続き関係機関と連携し、申出者の安全確保につながるよう、申出者の個人情報の管理を徹底していく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



【基本方針 8】安心できる福祉と健康のまちづくり

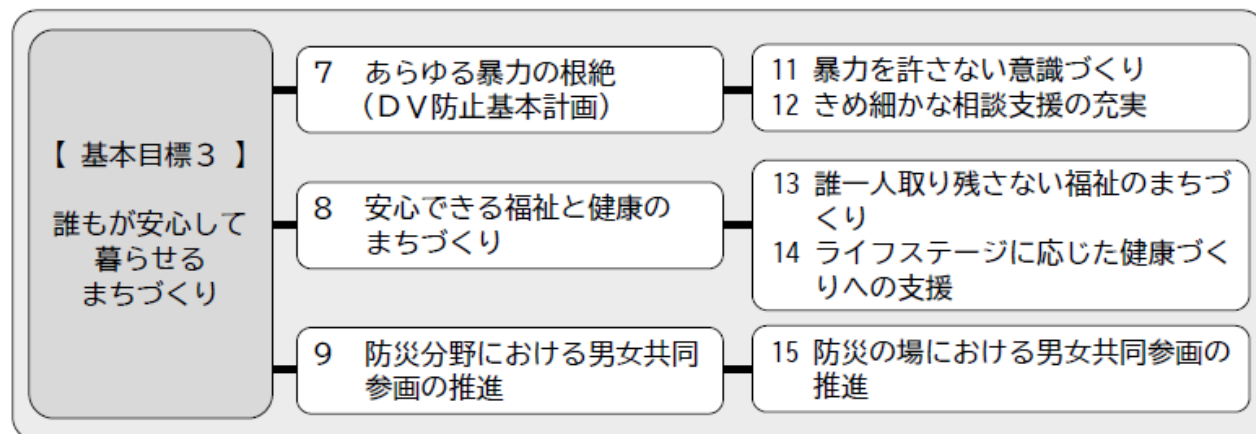
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

取組名	取組内容	担当課
地域支え合い活動への支援	地域で支え合う仕組みづくりの支援及びネットワークの強化に取り組みます。	福祉総務課
主な取組	○「さぬき市地域福祉計画」に基づく地域福祉の充実 ○ 地域におけるボランティア人材の育成 ○ 地域見守り活動の実施 ※関連計画：さぬき市地域福祉計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・地域見守り隊37チーム(昨年度比2チーム増加) ・みんなの力で見守り隊(民間企業等と協定) 16隊 計 53隊	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 結成数は、さぬき市社会福祉協議会の事業報告書で把握。前年度と比較して、地域見守り隊は2隊、結成数が増えた。個別支援から地域での支援につなぐかたちで新規の結成に成功した。 低い ← 1 2 3 4 5 → 高い 取組の評価	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 見守り活動の重要性を周知し、新たな地域見守り隊の結成に取り組む。 そのために、ふれあいサロン代表者、福祉委員等に対して、研修会、各種会議等を通じ、見守り活動の必要性を理解していただき、災害時を切り口にネットワークの仕組みを強化していく。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 引き続き新規見守り隊の結成を支援し、既存の見守り隊が継続していけるよう支援や提案を行っていく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



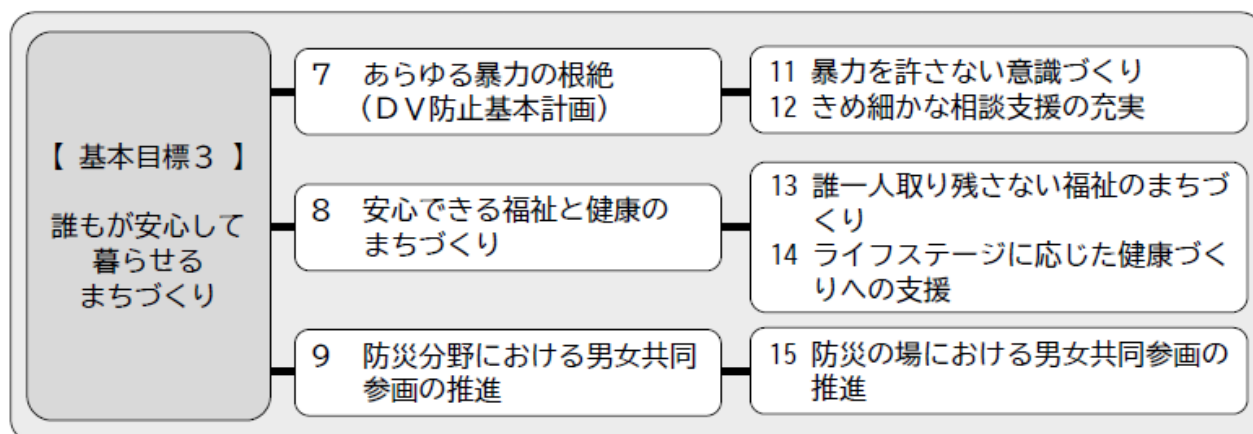
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

取組名		取組内容	担当課
子育て支援の推進(1)		地域で安心して子育てできるよう、子育て支援の充実に取り組みます。	子育て支援課
主な取組	○「さぬき市子ども・子育て支援計画」に基づく子育て支援の充実 ○ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブの充実 ○子育て世代包括支援センターの周知啓発 ○地域子育て支援センターの周知啓発 ○関係機関と連携した相談事業の実施		
R6年度			
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・地域子育て支援センターの周知啓発のため、毎月各園の支援センターだよりを窓口に設置した。 ・ファミリー・サポート・センター事業 おねがい会員234人、まかせて会員142人、どっちも会員7人 ・放課後児童クラブ入会児童数 751人		
5 成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 各園の支援センターだよりには、各園が運営するInstagramのQRコードが記載されており、SNSを利用した効果的な周知ができています。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、まかせて会員養成講座、会員スキルアップ講座、子育て支援センターでの出張登録などを実施し会員の獲得を図った。 ・放課後児童クラブについては、放課後児童支援員の安定的な確保及び運動場・体育館等の学校施設の活用により児童の受入体制の充実を図った。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、お願い会員、まかせて会員ともに新規登録は微増に留まっていることから、事業周知方法の工夫が必要である。 ・放課後児童クラブについては、共働き家庭の増加に伴い利用児童数も増加しており、十分な活動スペースの確保に苦慮している。また、研修による資質向上及び処遇改善に努め、児童支援員の人材を確保する必要がある。		
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ・支援センターだよりやSNSを利用した周知を継続して行う。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、SNSの活用など多様な媒体を通じて活動を発信する。 ・長尾放課後児童クラブについては、令和7、8年度にかけて改築工事を計画している。この改築により、「放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準」で定められている「児童1人につきおおむね1.65㎡以上」の広さを確保できる見通しである。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

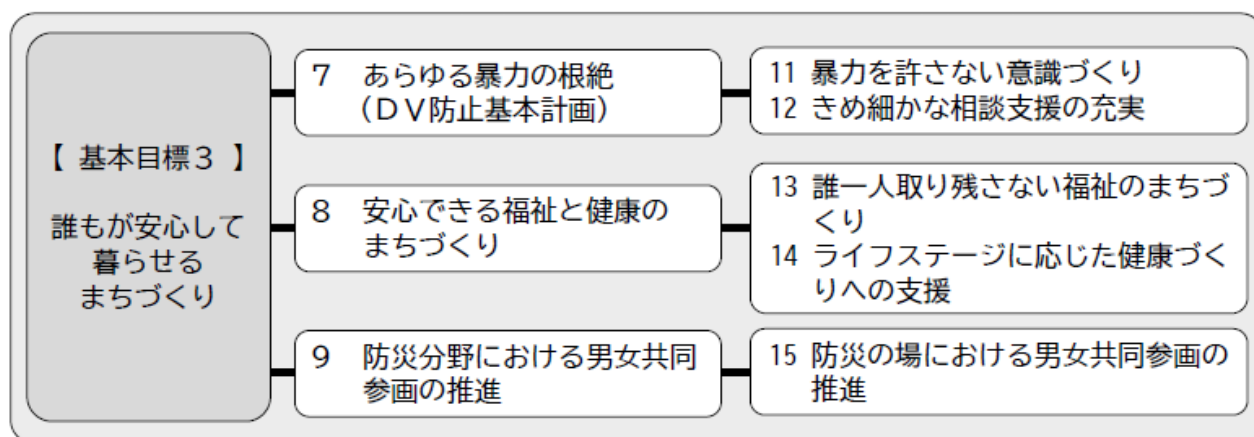
5

取組名	取組内容	担当課
子育て支援の推進(2)	地域で安心して子育てできるよう、子育て支援の充実に取り組みます。	生涯学習課
R6年度		
主な取組	○ 放課後子ども教室の活用及び参加促進	
	※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
	市内7小学校で放課後子ども教室を実施 実施日:令和6年6月4日～令和7年3月12日 実施回数:188回 参加人数:延べ3, 557名	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
	学校と地域ボランティア、保護者と情報共有を行い、子どもが安心安全に過ごすことができる居場所づくりを行っている。子どもたちは異学年や地域の方との交流し、様々な体験を経験している。	
	<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
	少子化や保護者の就労形態の多様化、女性の社会進出により、子どもたちの放課後の安全な居場所づくり・活動場所の確保し、活動場所の提供を目指す。地域の方や学校、関係団体と連携を強化し放課後子ども教室の充実と推進、ボランティア確保を図る。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)	
	継続:次年度も市内全ての小学校で実施。子どもたちに放課後の安全安心な居場所づくりを確保し、地域のボランティアや関係団体等と協力し実施する。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



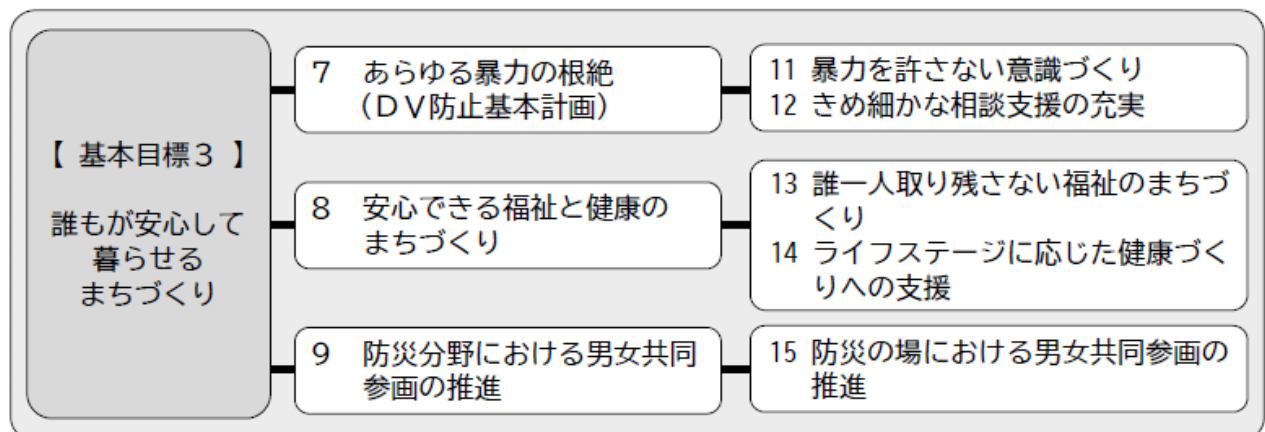
[主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり]

	取組名	取組内容	担当課
	高齢者福祉の推進	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生活支援や生活環境の向上、権利擁護の推進など高齢者福祉の充実に取り組みます。	長寿介護課
	主な取組	○「さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」に基づく多様な高齢者福祉施策の推進 ○ 関係機関と連携した相談支援の充実 ○ 高齢者の社会参加の促進 ○ 高齢者虐待防止啓発活動の実施	
	R6年度		
6	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 広報紙掲載(年2回)図書館啓発展示(年1回2か所)、虐待防止啓発のチラシ配布(3か所60枚)、虐待防止啓発のポケットティッシュの配布(1回258個)、計8回実施。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 広報誌での周知、チラシ、ポケットティッシュの配布により、高齢者虐待や介護に関する相談窓口の周知等を行った。チラシ、ポケットティッシュは、市主催の研修会で配布しており、地域住民に向けた啓発の機会となっている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ふれあいサロンなど、住民による活動の場が減少傾向であり、地域における啓発活動の機会は減少している。金融機関や医療機関、介護サービス事業所などの機関と連携し、啓発機会の拡充を図っていく。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 今後も各種媒体や地域活動・研修会を通じ、虐待予防・早期発見を目的とした啓発活動に取り組む。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



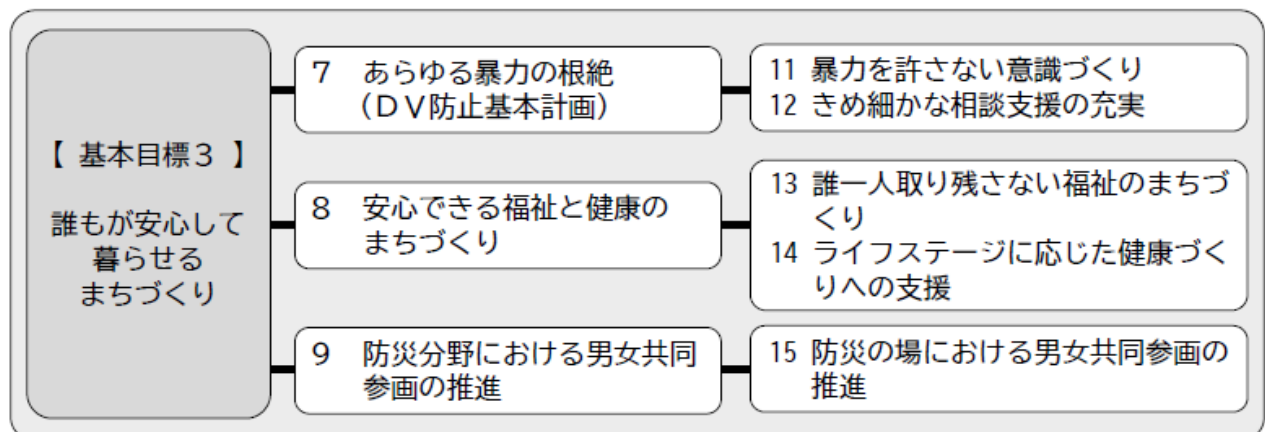
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

	取組名	取組内容	担当課
	障害者福祉の推進	障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、社会参画支援、生活環境の向上、権利擁護の推進等、障害者福祉の充実に取り組みます。	障害福祉課
	主な取組	○「さぬき市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」に基づく取組の推進による障害者支援体制の充実 ○ 関係機関と連携した相談支援の充実 ○ 障害者・障害児の社会参加の促進 ○ 障害者虐待防止啓発活動 ※関連計画:さぬき市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・8月号、3月号の広報誌に記事を掲載した。 ・R7.2.19障害者支援施設において職員を対象にした研修会を実施し、約60名が参加した。	
7	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 広報誌に記事を掲載することによって、虐待の相談窓口を明確化し、広く周知することができたが、障害者虐待の相談件数が増加するといった実績はみられていない。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 相談経路は関係機関からの相談が多いが、家族や近隣住民からの相談も一定数みられているため、地域住民に向けた相談窓口の周知を継続的に行う。本人や家族の状況を把握しやすい相談支援専門員や障害福祉サービス事業所に向けて研修会等の方法で啓発を行う。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 今後も虐待の未然防止、早期発見に向けた周知・啓発を継続する。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



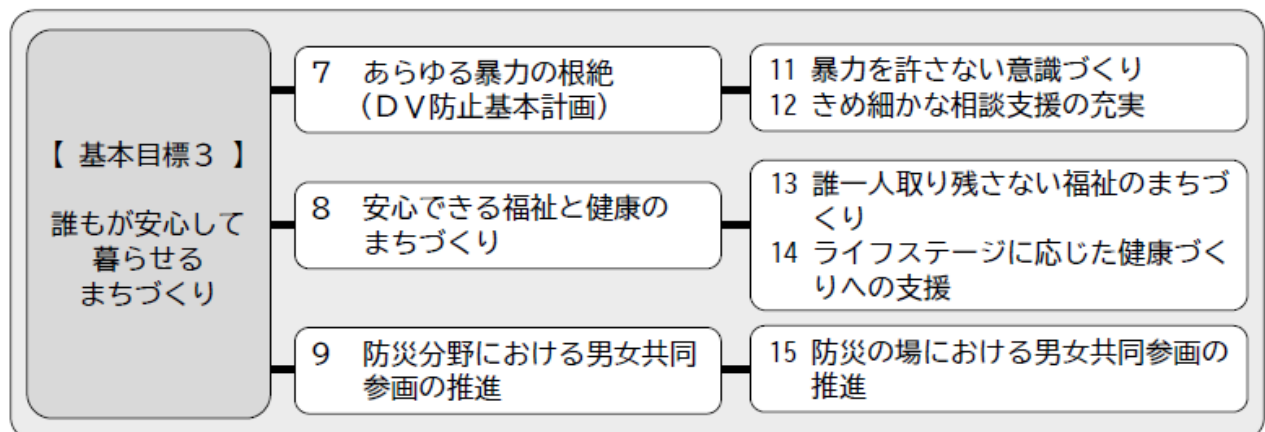
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

	取組名	取組内容	担当課
	ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭の経済的な自立に向けて、家庭の状況に応じた子育てや就労支援に取り組めます。	子育て支援課
	主な取組	○「さぬき市子ども・子育て支援計画」に基づく総合的な支援の充実 ○ 母子・父子自立支援員の配置 ○ 関係機関と連携した相談事業の実施 ○ 生活の自立に向けた職業能力開発に対する支援の実施	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 母子・父子自立支援員を配置:1名 ハローワーク出張相談:1回 相談回数(就労関係):74回 自立支援教育訓練給付金支給:1件 高等職業訓練促進給付金支給:2件	
8	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 ハローワークと連携することで、ひとり親家庭の父または母のニーズに即した求人情報の提供を行うことができた。その結果、就職にまで至ったケースも多く、信頼を得ることでの後のスムーズなフォローにもつながっている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 ひとり親家庭の母に対しては一定の認知度があるため相談件数も多いが、父からの相談件数は低い。児童扶養手当現況届時に併せてさらなる事業周知に取り組む。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ひとり親の中には、短期間で転職を繰り返す方も見受けられるため、ひとり親家庭の経済的な自立を促すため、適切な相談対応を継続して実施する。ハローワークとより緊密に連絡を取るなど、ひとり親の就職に効果的な資格取得についてもアドバイスをしていく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



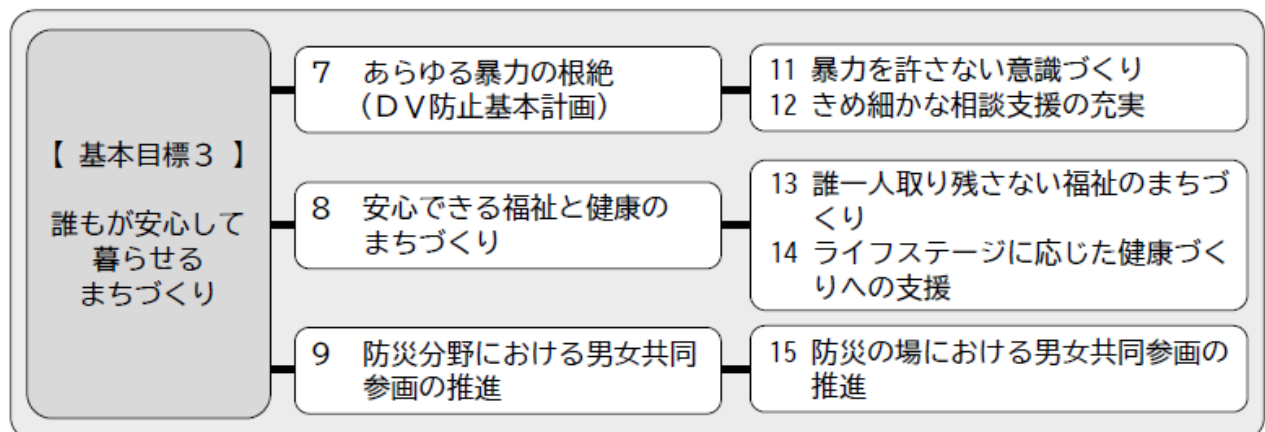
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

9	取組名		取組内容	担当課
	生活上の困難を抱える人への支援(1)		社会生活を営む上で困難を抱える人へ、男女共同参画の視点を踏まえた相談等の支援に取り組みます。	福祉総務課
	主な取組	○「生活困窮者自立支援法」に基づく総合的な相談支援の実施		
		※関連計画:さぬき市地域福祉計画		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・「自立相談支援事業」「生活困窮者家計改善支援事業」「生活困窮者就労準備支援事業」の3事業をさぬき市社会福祉協議会に委託して実施。 ・自立相談支援の相談件数は94件。家計改善支援事業については相談件数が18件となり、うち14件が実際に支援を受けている。就労準備支援事業については相談件数が15件となり、うち8件が実際に支援を受けている。		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
		社会福祉協議会のみでの対応だけでなく他機関とも協同して支援が実施できており、困窮状態に陥っている方に対して長期間での支援も行っている。		
		<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。		
社会問題の複雑化に伴い相談員のスキルアップや、専門機関との連携による更なる支援体制の充実が必要である。				
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
	困窮されている方の問題解決をスムーズに行うために支援体制の充実を行う。			

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



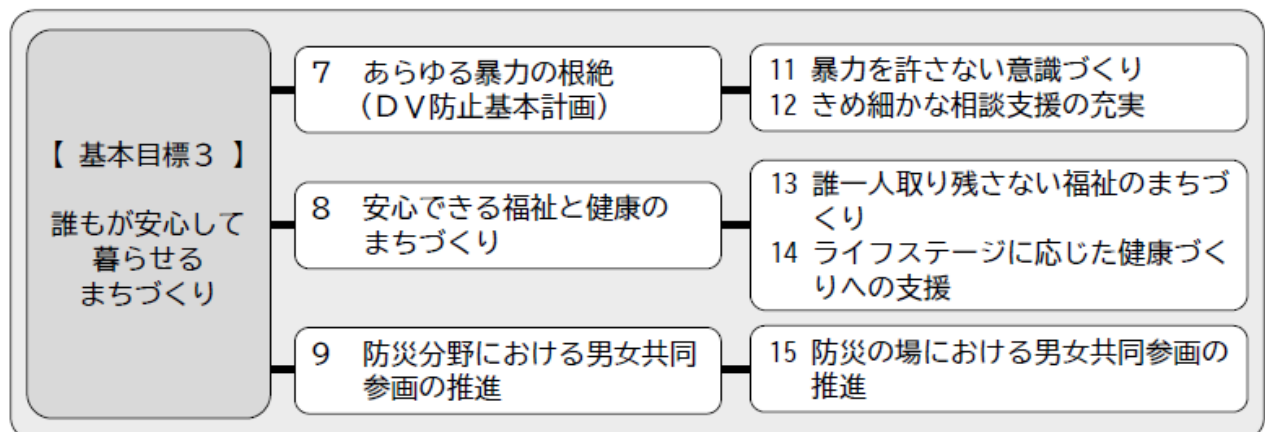
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

	取組名	取組内容	担当課
	生活上の困難を抱える人への支援(2)	社会生活を営む上で困難を抱える人へ、男女共同参画の視点を踏まえた相談等の支援に取り組みます。	子育て支援課
	主な取組	○「さぬき市子ども・子育て支援計画」に基づくひとり親家庭等に対する相談体制の充実	
		※関連計画:さぬき市子ども・子育て支援計画	
	R6年度		
9	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
		母子・父子自立支援員を配置し、生活、就労、子育てなど様々な相談を受け、必要な支援を行った。また、相談の内容により、福祉総務課やハローワーク、社会福祉協議会など関係部署へ繋げた。 総相談件数:320件	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
		児童扶養手当現況届受付時など、ひとり親家庭の父母に直接面接する機会を利用して聞き取りを行い、必要な支援を行った。	
		<div>低い ← 取組の評価 → 高い</div> <div>1 2 3 4 5</div>	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
		1度の相談・支援では問題が解決しないこともある。支援後も聞き取りを行い、継続してフォローすることが必要である。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)	
		今後も児童扶養手当の現況届受付時などを利用し、ひとり親家庭のニーズを聞き取り必要な支援を行う。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



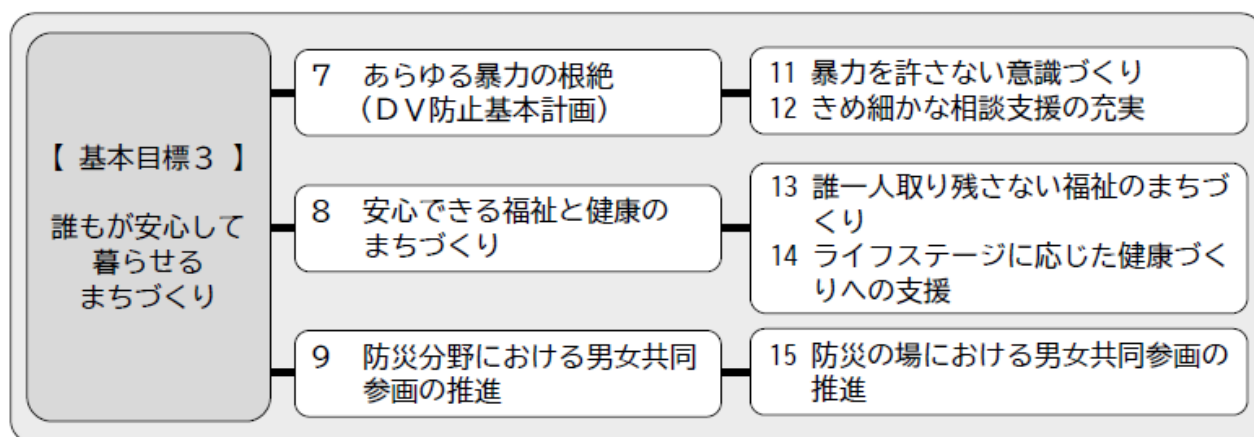
[主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり]

取組名	取組内容	担当課
生活上の困難を抱える人への支援(3)	社会生活を営む上で困難を抱える人へ、男女共同参画の視点を踏まえた相談等の支援に取り組みます。	学校教育課
R6年度		
主な取組	○ 経済的理由により就学が困難な児童生徒に対する就学・進学支援 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度		
実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費として年3回(7.25、12.25、3.25)支給した。 対象者(令和7年3月31日現在) 小学校(要保護者)2人(準要保護)247人 中学校(要保護者)3人(準要保護)136人	
成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 新入学児童生徒の世帯については、入学前の2月に支給することにより、保護者負担の早期解消に努めることができた。 <div style="text-align: center;"> ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5 </div>	
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 さぬき市に住所がある支援の必要な全ての児童生徒に援助が行き届くよう、市内外小中学校就学者に制度の周知を図る必要がある。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 今後も関係機関と連携を図り、窓口で手続きをされた来庁者に対して就学援助制度の案内をし、支援の必要な全ての児童生徒に援助が行き渡るよう取り組んでいく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



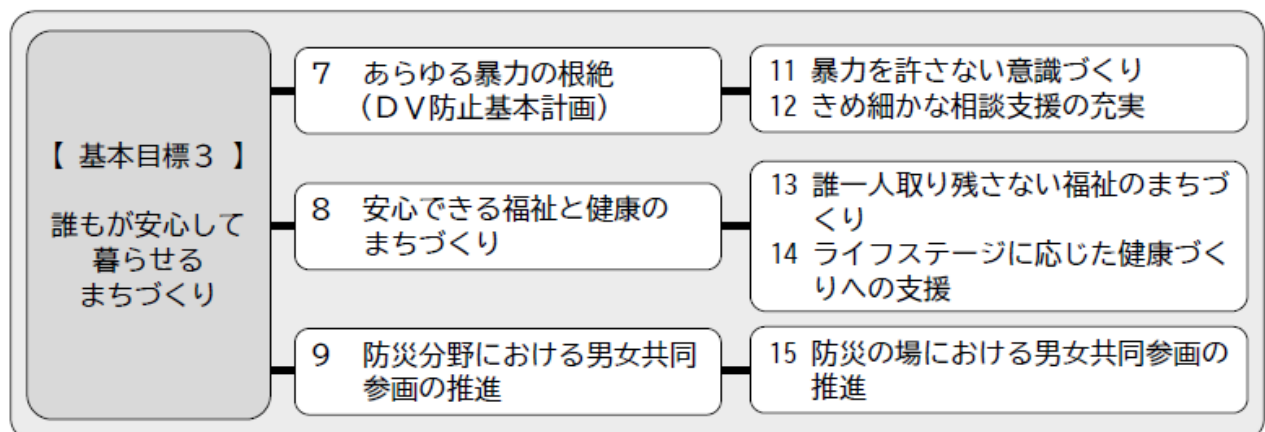
【主要施策 1 3 誰一人取り残さない福祉のまちづくり】

9	取組名		取組内容	担当課
	生活上の困難を抱える人への支援(4)		社会生活を営む上で困難を抱える人へ、男女共同参画の視点を踏まえた相談等の支援に取り組めます。	幼保こども園課
	主な取組	○ 経済的に困難を抱えた家庭への相談支援の実施 ○ 幼稚園における生活補助員の配置		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 幼稚園に生活補助員を16名配置し、特別な支援や配慮を要する園児に応じた支援を行った。		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 生活補助員が、無理なく個に応じた関わりをすることで、園児の安心感や自己肯定感につながった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5		
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それぞれに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 一人一人の特性に応じた特別支援教育を推進するため、必要な人材の配置と保育者の資質向上が重要である。		
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 特別な配慮を要する園児に適切な支援ができるよう、各幼稚園の実態に応じた職員配置を行うとともに、専門的な関係機関との連携を図り効果的な研修や指導を行い、専門性の向上を図る。また、各園において、担任と生活補助員が短時間であっても日々の保育を振り返り、保育者間での支援方法等の意見交換を行う時間を設けることで共通理解を図る。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



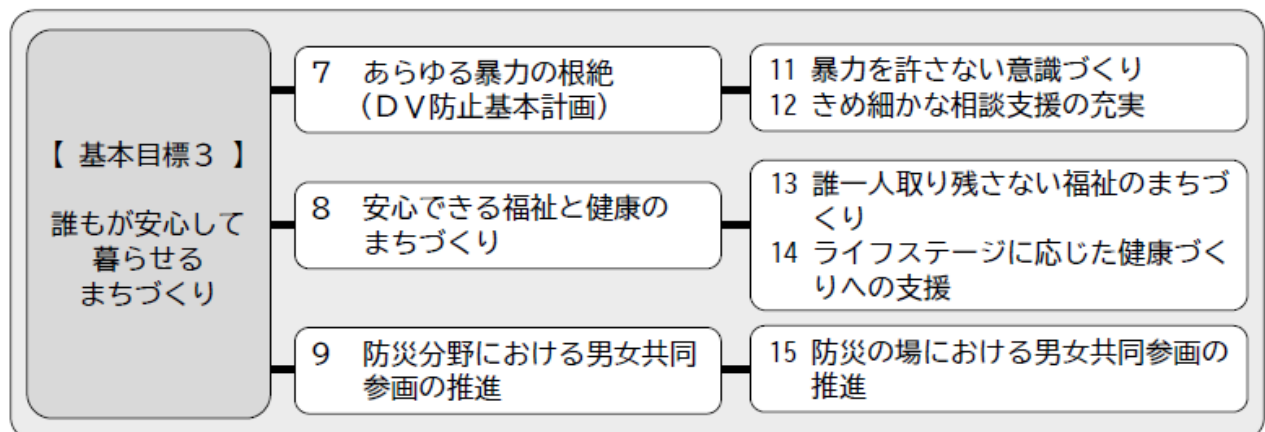
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

	取組名	取組内容	担当課
	市民の健康づくりの推進(1)	生涯を通じた市民の健康づくりを推進します。	国保・健康課
10	主な取組	○「さぬき市健康増進計画・さぬき市食育推進計画」に基づく健康の保持、増進に向けた取組の推進 ○ 各種健康診断や健康教室、相談事業の実施 ○ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)や母性保護に関する理解の促進及び啓発活動の実施 ※関連計画:さぬき市健康増進計画・さぬき市食育推進計画	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 生活習慣病の予防や重症化を予防し、住民の健康の増進を図るため、健康診査結果から、生活習慣病予備群以上の方に個別案内を送付し、疾病の理解と生活習慣の改善のための教室や個別での相談を行った。 集団健康教育の実施:21回/年実施、参加者 延477人 健康相談の実施:相談者 延284人	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 健康教室参加者へのアンケートでは、参加満足度は高く、疾病に対する理解と食事や運動に対する気づきがあり、健康な生活を送るための意識づけや行動変容につながっている。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 40歳～65歳の働く世代の参加者が少ない。 紙による通知だけでなく、LINEやホームページを活用した情報発信を継続する。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 健康づくりに関心が持てる教室運営となるよう、引き続き健康教室を実施する。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



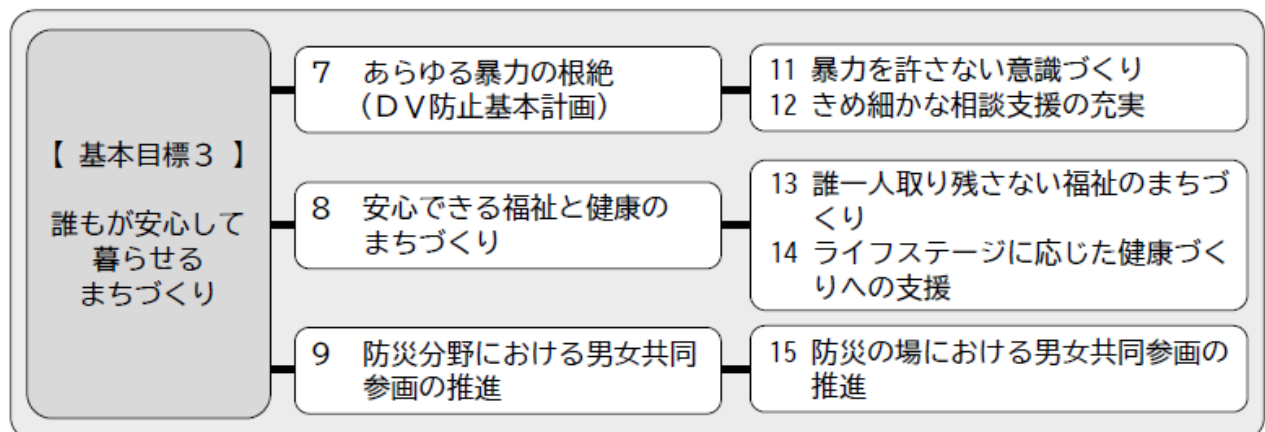
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

	取組名	取組内容	担当課
	市民の健康づくりの推進(2)	生涯を通じた市民の健康づくりを推進します。	市民病院
10	主な取組	○「さぬき市民病院経営強化プラン」に基づく適切な医療に向けた取組の推進 ※関連計画: さぬき市民病院経営強化プラン	
		R6年度	
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 コロナ禍につき開催を休止していた健康出前講座・市民公開講座を開催した。 健康出前講座:開催回数 15回、参加人数 737人 市民公開講座:開催回数 1回、参加人数 12人 合計:開催回数 16回、参加人数 749人	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 当年度は、コロナ禍に休止していた健康出前講座・市民公開講座を再開した。開催した講座内容については、市民ニーズに十分お答えできたと評価するものの、広報活動の不十分さから、再開したことが市民の皆様には十分周知できておらず、目標回数(33回)を大幅に下回る開催回数となった。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 講座メニューを刷新し、病院内のパンフレット棚に設置したり、ホームページでトピックとして掲載するなど広報活動を充実させる。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) この事業については、開催回数、参加人数ともに減少したものの、市民の皆様の需要は高く、次年度についても継続的に運用を続けるものとする。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

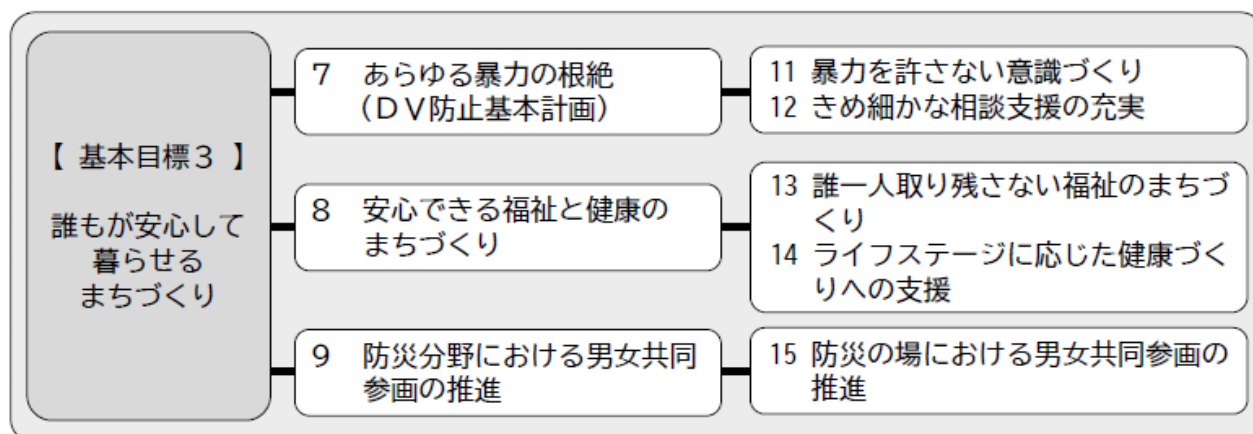
11

取組名		取組内容	担当課
児童生徒の健康教育の推進(1)		性や健康について自ら正しい判断ができるよう、児童生徒の発達段階に応じた健康教育と保護者の意識啓発に取り組みます。	学校教育課
主な取組		○ 小児生活習慣病予防健康診断の実施 ○ 思春期の保健対策と健康教育の推進 ○ 性に関する授業、生命の安全教育、「いのちのせんせい」派遣事業※、薬物乱用防止教室等の機会を活用した健康教育の実施 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
R6年度			
実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・小児生活習慣病予防健康診断受診率:81.2%/再検査受診率:48.8% 保健師による事後指導実施:2校(中学校2校) 栄養教諭・養護教諭による事後指導実施:7校(小学校6校・中学校1校) ・思春期の保健対策として「いのちのせんせい」派遣事業や「薬物乱用防止教室」を活用した。 ・「いのちのせんせい」派遣事業実施:8校(小学校6校・中学校2校) 「薬物乱用防止教室」実施:10校(派遣講師を依頼:中学校3校、小学校5校)	
成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 学校医の判定により有所見者(要再検者)となった児童については、希望する児童その保護者に対して栄養教諭と養護教諭による生活改善等(おやつ の取り方、特に長期休業中の生活について)事後指導を行い、個人カルテや資料等を保護者にお知らせした。また、有所見者(要再検者)となった生徒 について、今年度初めて個別指導を実施した。それにより、一人ひとりの課題に沿った指導ができ、安心して相談できる雰囲気を作り出すことがで き、生徒及び指導者の双方にとって利点があった。また、「いのちのせんせい」派遣事業では、助産師、介護福祉士の方から直接話を聞くことで、命の 尊さや相手を思う支援の仕方等、一人一人が考えを深めていくことにつながった。また「薬物乱用防止教室」では学教員や薬剤師、警察の職員の方々 から話を聞き、薬物乱用の危険性について正しい知識を得ることができた。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 学校だけでなく、家庭や医療機関とも連携しながら継続的に生活改善に取り組んでいく必要があり、継続 的なフォローアップ体制が重要である。また、指導方法や指導時間を工夫する等、指導を受けやすい環境 づくりの改善に取り組む必要がある。	
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 指導方法を工夫したり派遣事業を活用したりして継続的に実施していく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



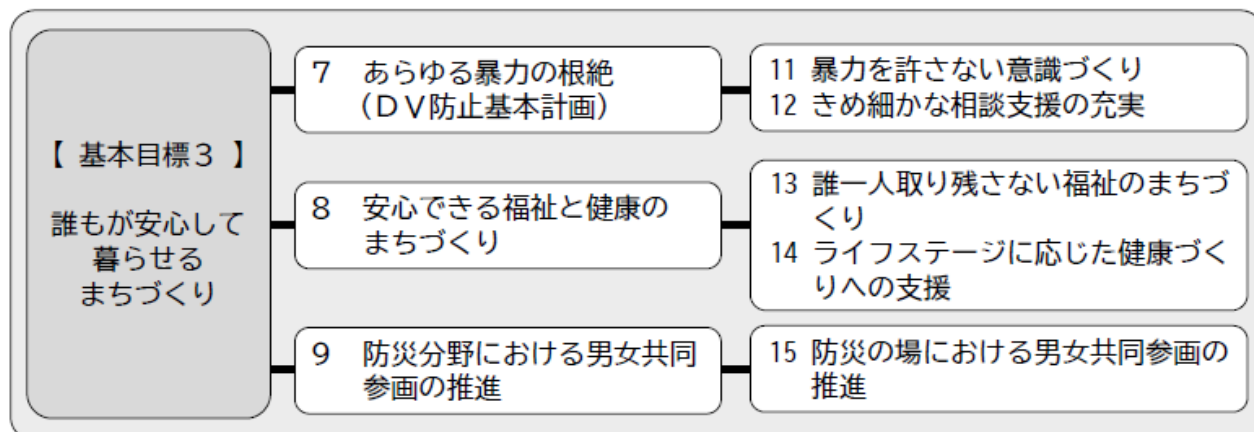
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

11	取組名		取組内容	担当課
	児童生徒の健康教育の推進(2)		性や健康について自ら正しい判断ができるよう、児童生徒の発達段階に応じた健康教育と保護者の意識啓発に取り組みます。	国保・健康課
	主な取組	○ 小児生活習慣病予防健康診断の事後指導の実施		
		※関連計画:さぬき市健康増進計画		
	R6年度			
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。		
		中学校2校の生徒8名を対象に、各生徒に応じた、生活習慣改善や目標を自己決定できるよう、養護教諭と連携して、個別の健康教育を実施した。		
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。		
		目標を保護者と共有し、指導後 1 週間取り組むことで、本人の生活習慣の改善と、保護者の意識啓発に繋がった。		
		<div>低い ← 1 2 3 4 5 → 高い</div> <div>取組の評価</div>		
課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。			
	事後指導後も、学校からの継続的な働きかけができるよう、必要に応じて養護教諭と連携する。			
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)			
	引き続き、中学校2校と連携し、個々に応じた健康教育を実施する。			

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



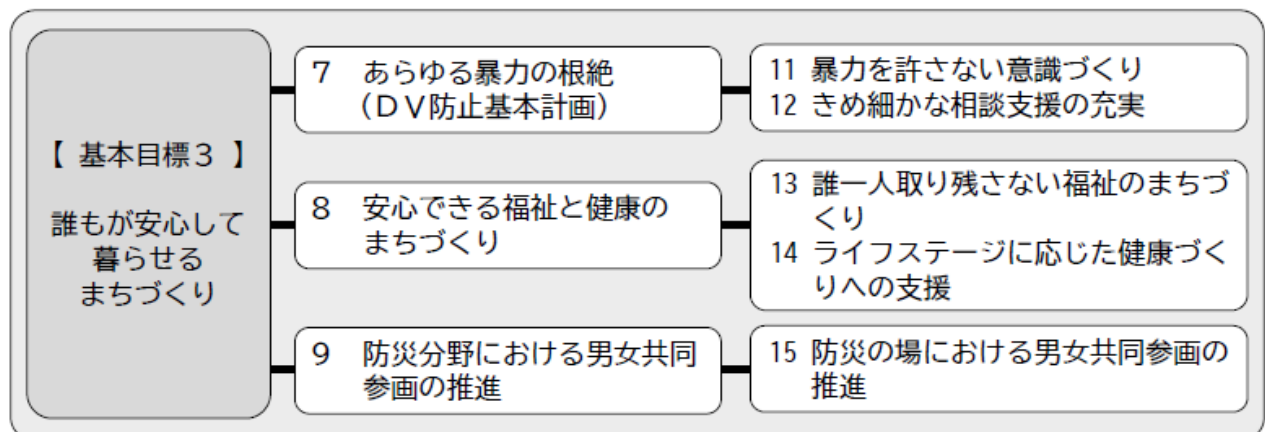
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

	取組名	取組内容	担当課
	教育相談の充実	児童生徒の健やかな発達を支援する教育相談の充実に取り組みます。	学校教育課
12	主な取組	○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー※、心の教室相談員の配置 ○ 地区別、職種別情報交換会における課題や支援方法の協議の実施 ○ 適応指導教室の教育相談 ○ 課題について知識を深めるための研修の実施 ※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
		R6年度	
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・SC5名(さ南中学校区2名、志度中学校区2名、長中学校区1名)、SSW4名(さ南中学校区2名、志度中学校区1名、長中学校区1名)、心の教室相談員5名(さ南中学校区2名、志度中学校区2名、長中学校区1名)を配置した。 ・年2回(7月・1月)教育相談担当者合同研修会を開催し、1回目24名、2回目32名が参加した。 ・少年相談…来所相談・電話相談・訪問相談・専門機関紹介…相談件数年間179件 ・臨床心理士(年間10回)とのカウンセリング…相談件数38件、公認心理師(年間20回)とのカウンセリング…相談件数31件 ・FINE「親の会」(年間2回)…相談件数31件	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 ・各校区にSC、SSW、心の教室相談員を配置したことで、早期に対応・支援できた事例が増えた。 ・教育相談担当者合同研修会では、校区別、職種別情報交換会の時間を設定し、日頃の悩みや、児童生徒に対する支援方法について協議し、共通理解を図ることができた。 ・令和6年度の少年相談件数179件のうち114件、臨床心理士への相談件数38件のうち29件が不登校についての相談だった。 ・令和6年度から始まった公認心理師による通級生やその保護者対象のカウンセリングは、通級生の様子を踏まえて保護者と話ができた。 ・FINE「親の会」は同じような悩みをもつ保護者が、話し合える貴重な機会となっている。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 小・中学校やSC・SSWとの情報交換を密にすることで、通級生に対してより早期支援・対応ができるようにしていく。	
	次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) ・教育相談担当者合同研修会は令和7年度も年2回実施し、教職員、SC、SSW、心の教室相談員等のさらなる連携強化を図っていく。 ・少年相談や臨床心理士によるカウンセリング、FINE「親の会」は継続していく。 ・令和7年度は公認心理師の勤務日数が増えたので、より一層教育相談を充実させていく。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



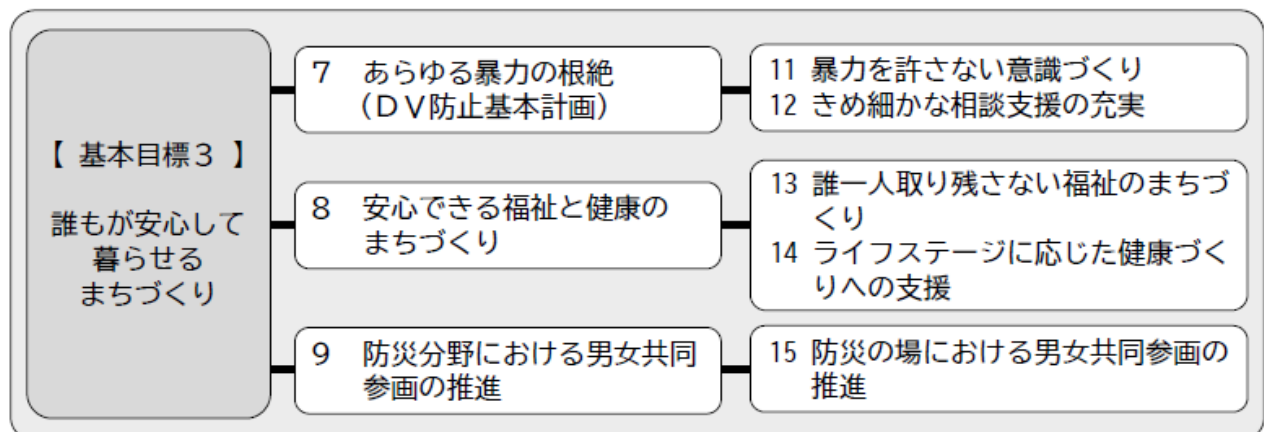
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

13	取組名		取組内容	担当課
	母子保健の充実		関係機関と連携し、妊娠、出産、育児を通じた切れ目ない子育て支援の充実に取り組めます。	国保・健康課
	主な取組		○ 妊娠・子育て支援制度等についての情報提供、相談事業の実施 ○ 健診未受診者への受診の勧奨 ○ 不妊に悩む方への相談事業や治療費助成の支援の実施 ○ さぬき市子育て世代包括支援センターの周知 ※関連計画:さぬき市健康増進計画	
	R6年度			
	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 ・保健指導延件数2364件、妊産婦・乳幼児相談延件数215件 ・生殖補助医療費助成件数46件 ・さぬき市子育て世代包括支援センターちらし配布(さぬき市民病院、地域子育て支援センター、乳幼児健診等)	
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 全ての妊婦に対して、妊娠届出時に全件面接・相談支援を行うと共に、出産後は分娩機関と連携を図る等し、妊娠期から子育て期にかけて切れ目ない支援を実施した。 低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。 家族背景の多様化や生活困窮家庭等、支援内容が複雑化しているため、関係機関との連携がより必要となってきた。母子や子育て世代のニーズを捉え、時代に即した事業展開を検討しながら、現在の教室や相談事業を継続していく。	
	次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化) 子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の両機能を一体化した「こども家庭センター」を令和7年度に設置し、切れ目のない支援を児童福祉と一体的に行い、子育て支援の充実を図る。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



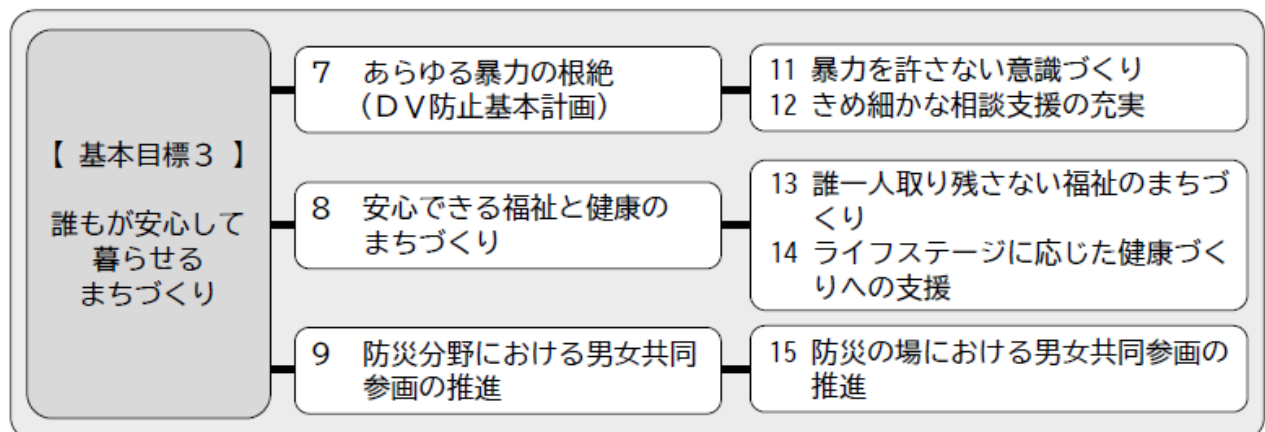
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

14	取組名		取組内容		担当課	
	小児医療の充実		地域の中で子どもが健やかに安心して暮らせるよう、小児医療の充実に努めます。		市民病院	
	主な取組		○ 小児医療、小児夜間救急医療体制の充実 ○ 病児・病後児保育の充実			
			※関連計画:さぬき市民病院改革プラン			
			R6年度			
	実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。 大川地区小児夜間急病診療室を365日開院した。(受診者数: 857人)			
	成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。 予定どおり年間を通じて365日の診療を実施することができた。 医師の働き方改革などの新たな法改正が施行されたが、その基準に基づき、適正な医療提供体制を維持することができた。 低い ←————— 取組の評価 —————→ 高い 1			

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



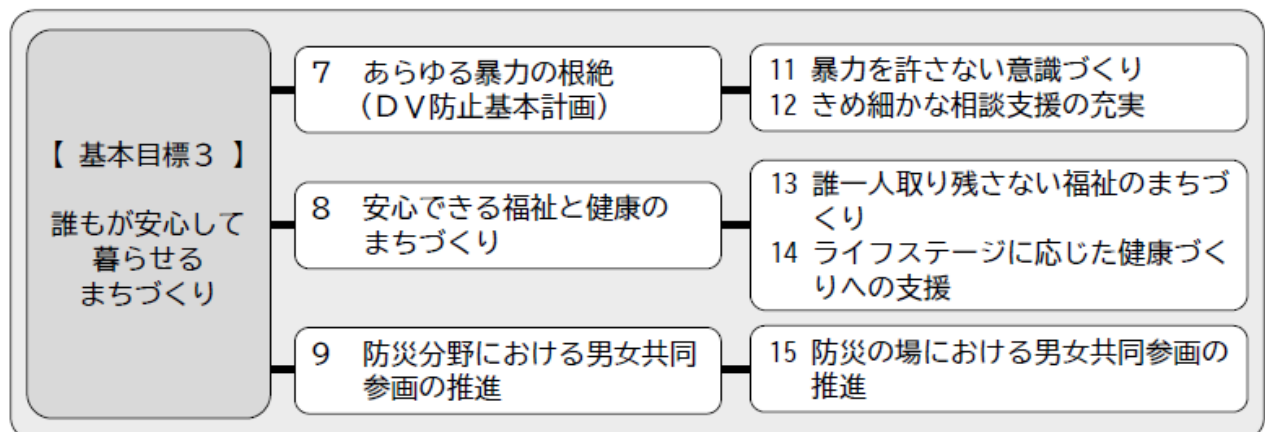
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

取組名		取組内容	担当課
性差に応じた健康づくり(1)		生涯を通じて地域で健やかに暮らせるよう、身体的性差に応じた心と体の健康づくりに取り組めます。	国保・健康課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> ○「さぬき市健康増進計画」に基づいた健康を維持・推進する取組の実施 ○ 女性・男性それぞれ特有の疾病に関する情報の提供 ○ ライフステージに応じた健康相談、健康教育の充実 ○ 健康診断等の受診率の向上に向けた取組の実施 ○ 相談体制の整備 	
		※関連計画：さぬき市健康増進計画	
R6年度			
実績		具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
		乳がん・子宮頸がん検診について、集団検診を乳がん6日、子宮頸がん7日実施した（各がん2日は休日に実施）。個別検診では乳がん8か所、子宮頸がん6か所の委託医療機関で、約5か月間受診できる体制を整備した。県補助事業を活用し、対象年齢の方に無料クーポン券を発行、がん罹患率が高くなる年代に受診勧奨案内を送付した。乳幼児健診等の機会に若年層や子育て世代への啓発、受診勧奨を実施した。	
成果とその評価		当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
		受診率は乳がん検診19.9%、子宮頸がん検診15.2%であった。休日実施や同日受診、また市外でも受診できる機会を設け、希望者が選択できる体制を整備している。乳がん検診では個別勧奨者の受診者数も増加しており、受診勧奨の効果を認めた。	
		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 低い ← 取組の評価 → 高い </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> 1 2 3 4 5 </div>	
課題と改善策		取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
		昨年度の受診率と比較して、乳がん検診はほぼ横ばい、子宮頸がん検診は0.5%増加した。若年層や子育て世代が継続した受診につながるよう、啓発や受診勧奨方法について検討する必要がある。	
次年度の計画		取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。（継続・修正・新規のポイントの明確化）	
		引き続き検診を実施し、受診しやすい体制づくりに取り組む。	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



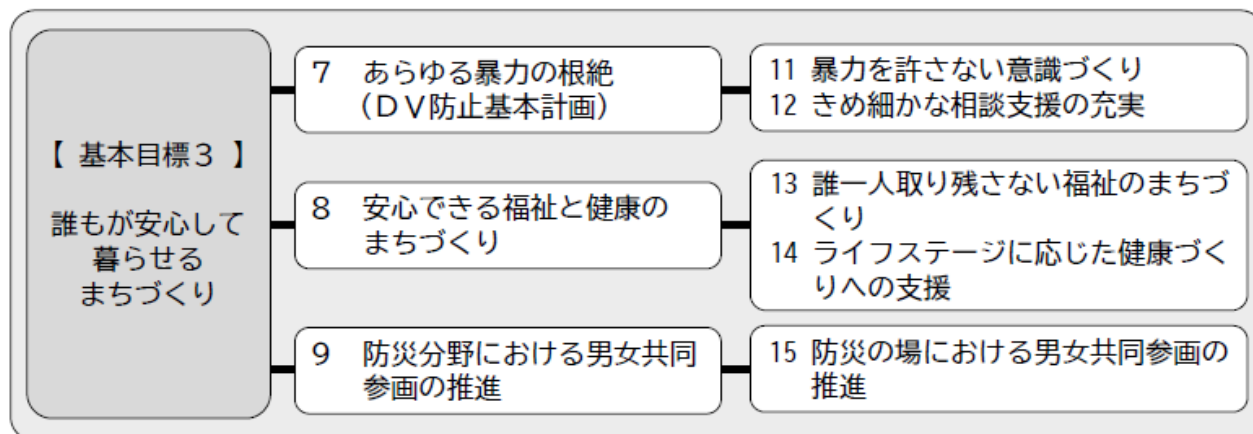
【主要施策 1 4 ライフステージに応じた健康づくりへの支援】

	取組名	取組内容	担当課
	性差に応じた健康づくり(2)	生涯を通じて地域で健やかに暮らせるよう、身体的性差に応じた心と体の健康づくりに取り組みます。	学校教育課
15	主な取組	○ 発達段階に応じた正しい性に関する教育、指導	
		※関連計画:さぬき市教育振興基本計画	
	R6年度		
	実績	具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。	
		小2生活科「あしたへジャンプ」、小4保健体育「体の発育・発達」の学習と関連付けて、県の「いのちのせんせい」派遣事業を活用した。(小2:1校、小4:3校)また、中学校2校も、県の「いのちのせんせい」派遣事業を活用し、「命のつながり」や「いのちと性」について派遣された助産師から講話を聞いた。	
	成果とその評価	当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。	
		「いのちのせんせい」派遣事業では、助産師から直接話を聞くことで、命の尊さや医学的な体の変化、性的な発達への対応等、一人一人が考えを深めていくことにつながった。また生活科や保健体育の授業を行う際にも意識をつなげていくことができた。	
		低い ← 取組の評価 → 高い 1 2 3 4 5	
	課題と改善策	取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。	
		今後も派遣事業等を活用しながら、発達段階に応じた正しい性に関する教育、指導に取り組んでいく。家庭へも啓発し、学校・家庭がともに指導していけるようにしていくことが必要である。	
次年度の計画	取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)		
	養護教諭と連携して指導方法を工夫したり、派遣事業を活用したりして継続的に指導していく。		

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



【基本方針 9】防災分野における男女共同参画

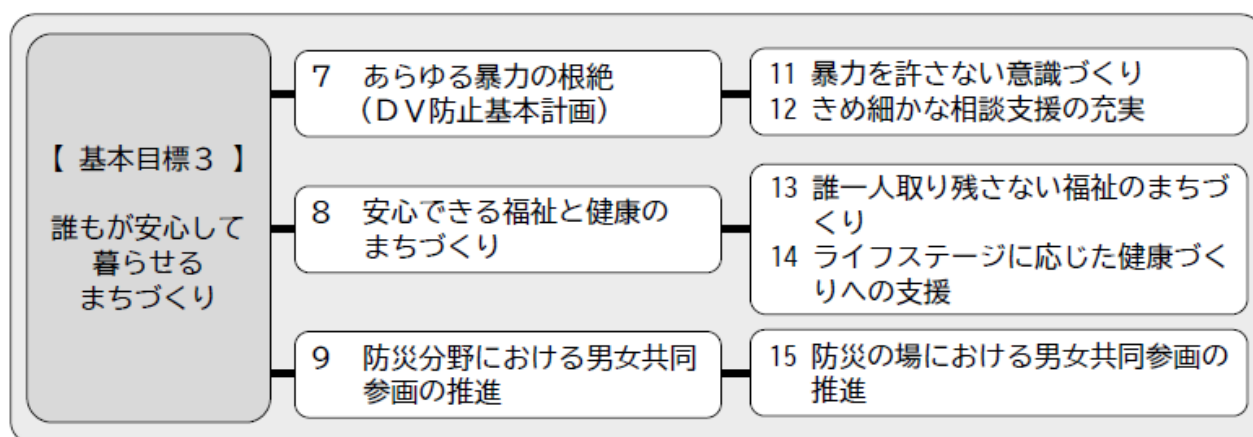
【主要施策 15 防災の場における男女共同参画の推進】

取組名	取組内容	担当課
防災対策への女性の参画促進	地域防災に男女共同参画の視点を明確に位置付けるとともに、防災にかかる意思決定の場への女性の参画拡大を推進します。	危機管理課
R6年度		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「さぬき市地域防災計画」や避難所運営等への男女共同参画の視点の反映 ○ 防災会議における女性委員の登用促進及び女性の自主防災組織や消防団員への加入促進 ○ 女性の防災士資格取得の促進 ○ 出前講座等における啓発 	
	※関連計画：さぬき市地域防災計画	
R6年度		
実績	<p>具体的な取組の内容、実施日、実施回数、参加者数などを記入ください。</p> <p>香川大学で開催される防災士養成講座にさぬき市から8名の受講希望者を推薦し、7名が防災士資格を取得した。うち、3名が女性。</p> <p>住警器の普及促進活動に併せ、消防団員及び女性消防団員の募集活動を実施。</p> <p>29回の防災出前講座のうち、21回において女性目線での備蓄方法や多様な視点の避難所運営について啓発した。</p>	
成果とその評価	<p>当該年度の取組でどのような成果が得られましたか。また、当該年度の取組をどう評価しますか。</p> <p>女性防災士の増加により防災活動の参画拡大が図られた。 女性消防団員の増加とはならなかったが、女性消防団員の役割について広く周知できた。 防災出前講座を通して多様な視点での防災活用の重要性を啓発できた。</p> <p>低い ←————— 取組の評価 —————→ 高い</p> <p>1 2 3 4 5</p>	
課題と改善策	<p>取組を進める中で感じた課題それに対して今後どのように対応・改善していくかを記入ください。</p> <p>防災活動等への参加者は依然男性が多く、女性の参加は限定的であるが、防災士資格の取得を機に地域防災活動へ参画してもらえるよう継続的に防災士資格の取得を推進する。 女性消防団員の拡充のため、様々な機会を捉えて募集活動を実施する。 防災出前講座に多様な視点の防災対策についての内容を盛り込み啓発を継続する。</p>	
次年度の計画	<p>取組の評価等を踏まえ次年度の計画について記入ください。(継続・修正・新規のポイントの明確化)</p> <p>市独自の防災士養成講座を開催し、積極的な女性の受講を推進する。 女性消防団員の拡充に向け、地域のお祭りやイベントに積極的に参加し、女性消防団員の役割等について啓発するとともに、団員の獲得を図る。 全ての防災出前講座において、一定、多様な視点での防災活用を盛り込んだ内容とする。</p>	

【参考】体系図（基本目標3）

【基本方針】

【基本施策】



『第3次さぬき市男女共同参画プラン』 数値目標と実績

基本目標1 誰もが認め合えるまちづくり

★…重点項目

項 目	現状値（※1） （令和4年度）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標値 （令和10年度）	担当課
社会全体において「男女平等」と感じる市民の割合★	13.2%	－	－	－		－	20%以上	人権推進課
人権尊重の意識を啓発する講座等の実施回数	10回	11回					10回以上	人権推進課
男女共同参画の意識を啓発する講座等の実施回数	7回	8回					8回以上	人権推進課
子どもを対象とした男女共同参画講座等の実施回数	3回	3回					3回以上	人権推進課
社会全体において「男女平等」と感じる中学生の割合★	28.3%	－	－	－		－	35%以上	人権推進課
男女共同参画につながる生涯学習講座等の実施	1回	1回					1回以上	生涯学習課

基本目標2 誰もがあらゆる分野で活躍できるまちづくり

★…重点項目

項 目	現状値（※1） （令和4年度）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標値 （令和10年度）	担当課
附属機関等（※2）の女性委員の割合	31.2%	32.9%					35%以上	人権推進課
家族経営協定の締結数	27経営体	27経営体					30経営体以上	農林水産課
ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市内企業への啓発数	35社	44社					35社以上	商工観光課
市役所の女性管理職の割合（※3）	16.7%	15.9%					17%以上	秘書広報課
職場において「男女平等」と感じる市民の割合★	32.0%	－	－	－		－	40%以上	人権推進課
市役所男性職員の育児休業取得率（※3）	33.3%	50.0%					35%以上	秘書広報課
両親学級の男性参加率	48.8%	45.2%					45%以上	国保・健康課
男女共同参画推進市民サポーターの登録数	16人	18名					20人以上	人権推進課

『第3次さぬき市男女共同参画プラン』 数値目標と実績

基本目標3 誰もが安心して暮らせるまちづくり

★…重点項目

項 目	現状値（※1） （令和4年度）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標値 （令和10年度）	担当課
DV被害を「どこ（だれ）に相談してよいかわからない」とする市民の割合★	20.0%	－	－	－		－	15%以下	人権推進課
児童虐待防止啓発の実施	11回	13回					10回以上	子育て支援課
子育て世代が安心して暮らせる支援において「満足（やや満足）できる」と感じる市民の割合★	50.8%	－	－	－		－	55%以上	人権推進課
高齢者等が安心して暮らせる支援において「満足（やや満足）できる」と感じる市民の割合★	52.1%	－	－	－		－	55%以上	人権推進課
地域見守り隊の登録数	44隊	53隊					48隊以上	福祉総務課
ファミリー・サポート・センターの登録会員数	おねがい会員 247人 まかせて会員 148人	おねがい会員 234人 まかせて会員 142人					おねがい会員 250人以上 まかせて会員 150人以上	子育て支援課
ライフステージに応じた心身の健康づくりに役立つ講座等の実施	0回	16回					33回以上	市民病院
高齢者虐待防止啓発の実施回数	23回	8回					25回以上	長寿介護課
障害者虐待防止啓発の実施回数	2回	3回					2回以上	障害福祉課
女性防災士の人数	27人	30人					42人以上	危機管理課

※1 現状値は、5年に1度のアンケートデータが取れる令和4年度の数値としている

※2 地方自治法第180条の5及び第202条の3に基づくもの

※3 市民病院を除く